hiroba

ひろば

Number 95
2022 December

ARC2022

作　品　集

建 築 士 事 務 所 憲 章

建築士事務所は、建築や環境が文化の形成に占める重要な意味を認識し、社会の健全な進歩と発展に寄与します。

一　誠意をもって設計と監理の業務を遂行し、建築主の期待に応えます。
一　健康で快適な生活環境の創造と、安全安心、持続可能で良質な資産の形成を図ります。
一　自己研鑽を怠らず、職業倫理を高め、法令遵守と公益の立場に立って最善を尽します。
一　設計意図の理解を施工者に求め、公正に工事を監理します。
一　互いに信頼を深め、連帯の精神をもって職務を全うします。

平成20年5月

一般社団法人　日本建築士事務所協会連合会
（平成25年4月1日一般社団法人に名称変更）

社団法人　北海道建築士事務所協会は、本憲章を誓約する建築士事務所を会員とする法定団体です。

平成21年1月

一般社団法人　北海道建築士事務所協会
（平成25年1月4日一般社団法人に名称変更）

〈一般社団法人　日本建築士事務所協会連合会シンボルマーク〉

“建築” の基本構成である “塊”、“面”、“線” の3つの普遍的要素をもとに構成し、
“屋根の建築” といわれる日本建築のイメージを取り込み、
柔らかな曲線によって、繊細な日本美を表現しました。

hiroba

一般社団法人 北海道建築士事務所協会 No.95

目次　CONTENTS

巻頭言　「建築士事務所協会の目的、役割、所属する意味」
一般社団法人北海道建築士事務所協会　副会長・札幌支部長　田所　裕司 …… 2

第 47 回「北の住まい」住宅設計コンペ「斜めとイエ」 …… 4

「移ろう波間に映るもの」　最優秀賞受賞者　北海学園大学 4 年　武者　凌平
北海学園大学 4 年　塩野谷基悟（共同作品） …… 13

令和 3 年度　北海道赤レンガ建築賞・北海道赤レンガ建築奨励賞 …… 15

令和 3 年度　高校生建築デザインコンクール …… 24

【設計会館】の竣工について …… 33

一般社団法人 北海道建築士事務所協会
創立 70 周年記念式典・祝賀会　設計会館竣工祝賀会 …… 36

第 44 回建築士事務所全国大会（熊本大会）の開催について …… 51

日事連建築賞 …… 53

栄誉を称えて …… 54

「ほっかいどう住宅フェア」への参加 …… 57

各支部からのおたより …… 59
札幌支部　西村　元　　旭川支部　大熊　博之

2022 アクションリポート
・建築士事務所登録等事務の業務について …… 63
・設計等の業務に関する報告書に係る事務について …… 64
・建築士定期講習 …… 65
・管理建築士講習 …… 66
・適合証明技術者講習及び既存住宅現況検査技術者講習 …… 67
・震災復旧のための震災建築物の被災度区分判定基準および復旧技術指針講習会 …… 69
・開設者・管理建築士のための建築士事務所の管理研修会 …… 70
・建築士事務所キャンペーンについて …… 71

令和 4 年度　委員会開催状況 …… 72

行政等への要望活動 …… 73

日本建築学会北海道支部　第 42 回北海道建築作品発表会
批判的地域主義の追求の視座　北海道大学大学院工学研究院准教授　小篠　隆生 …… 76

新入会員の紹介（令和 3 年 12 月～令和 4 年 11 月） …… 78

令和 4 年度　一般社団法人北海道建築士事務所協会　役員・支部長・委員会名簿 …… 80

ARC2022 建築作品集 …… 83

編集後記　広報委員会委員長　山田　修 …… 112

巻 頭 言

「建築士事務所協会の目的、役割、所属する意味」

一般社団法人北海道建築士事務所協会
副会長・札幌支部長　田所　裕司

北海道建築士事務所協会創立 70 周年を機に、建築士事務所協会の目的、役割を整理したいと思います。

会員皆様には釈迦に説法ですが、設計業界には大きく三つの団体があり、「建築士事務所協会」の他に「建築士会」、「建築家協会」があります。この二つは建築士や建築家等、個人に対しての団体で、私たちの加盟している建築士事務所協会は、建築設計や工事監理を業としている、会社や個人事務所が会員となっている団体です。

建築士事務所協会の会員である建築士事務所は、建築士または建築士を使用するものが建築の設計・監理を業として行う専門家組織で、事務所登録することで「業務独占」が認められており社会や消費者に対し非常に重要な責任ある立場に置かれています。

一般社団法人北海道建築士事務所協会は、1952 年 5 月 28 日に「社団法人北海道建築設計監理協会」として発足、その後 1985 年と 2004 年に 2 度の名称変更を経て、2006 年 12 月建築士法改正が 2009 年 1 月に施行され「社団法人北海道建築士事務所協会」の名称で法定団体としての役割を果たすことになりました。改正のポイントとしては「団体による自律的な監督体制の確立」があげられ、次の業務が定められています。

① 事務所の業務について開設者への指導、勧告等
② 事務所の業務に関する建築主等からの苦情の解決
③ 開設者や属する建築士への研修等

（これは法定団体としての責務で建築士法第 27 条 2-3 に記載されている）

建築士事務所協会の上部団体である日本建築士事務所協会連合会（日事連）には、創立時から、「業法の制定」「法定団体化」「全事務所の加入」という三つの目標がありました。

日事連ではこれまで何度か業法制定に取り組んできましたが、実現には至りませんでした。2005 年の構造計算書偽装事件を契機に建築設計の業の確立を目指し、2008 年に国交省主導で建築の質の向上に関する検討化等を経て、2011 年から日本建築士事務所協会、日本建築士会、日本建築家協会（建築設計三会）よるワーキンググループを設置し、関連団体とのヒアリング等も行い検討を行ってきまし

た。勉強会では、建築士法第 6 章を更に充実させ「建築士事務所法」という独立した新法を制定すべく議論を重ね、建築設計三会が合意し、2013 年に建築設計三会協同提案による要望書を国土交通大臣へ提出しました。翌 2014 年には自民党建築設計議員連盟にご尽力いただき、専門家を含めた勉強会による内容に基づき建築設計議員連盟の提言として採択されることになり、建築士法改正の実現により、更に近づきました。同年 6 月に、国会審議を経て参議院本会議にて建築士法改正案が可決し、建築士法の一部改正する法律が公布されました。

「建築士事務所法」は「業務」に責任を持つ建築士と「業」に責任を持つ建築士事務所の関連性が強いために、実現には至りませんでしたが、建築設計三会がまとまり要望事項を実現できたことは、設計業界にとり大きな前進となりました。最近では、建築設計三会による協同要望で 2020 年 3 月 1 日に施行された、建築士法改正で建築士試験の受験資格が見直され、建築に関する科目を履修したものは、大学卒業直後に、一級建築士受験が可能になり、受験機会の拡大により建築士の人材を継続的、安定的に確保できる可能性が広がり設計業界として大変期待するところです。

このように建築士事務所協会は、設計業界のさまざまな問題に対し検討を行い健全な経営発展を目指しており、業務報酬や設計者の選定、入札関連等についても国や道、地方自治体等の発注機関に要望書を提出し働きかけを行っています。その他、建築士事務所協会会員に向けた各種講習会、研修会、見学会、情報誌の発行、会員の連携を深めるため賛助会員を含めた研修旅行やゴルフ大会等の交流会を行い、事務所同士のネットワークを築いています。

また、日事連や建築士事務所協会を通じ、国や都道府県から迅速かつ正確な情報を得られ、情報の共有、提供など業務の幅を広げられるよう、多様な活用を行っています。

次に建築士事務所の責務である苦情処理については、法に基づき建築主等からの苦情の申し出に対し、助言や必要に応じて事情調査を行い、当該建築士事務所の開設者に苦情の解決を求め、消費者の観点から社会的地位を形成し信頼される事務所協会を築いております。

最後に、建築士事務所協会という職能団体に所属する意味ついて触れておきたいと思います。当協会に加入されている会員は「法定団体による自律的な監督体制の確立」ということで前述の苦情処理など解決の義務がありますが、法定団体の自律的な監督下に置かれていることで、消費者にとって信頼度はより高まるのではないでしょうか。

また、団体に所属することで、業界に対する問題や社会に対する問題などを提起し、他の団体と連携することで、より強力に行政に働きかけることが可能になります。自分たちの仕事、立場を守るためには、多くの建築士事務所に入会していただき健全な経営、発展につながるよう強い組織力を持つことが必要になると思います。

私たちは職能倫理を守り建築士事務所憲章である、社会の健全な進歩と発展に役立つ団体を志し「協会に入っているだけで価値がある」と言えるような魅力ある建築事務所協会が求められていると思います。

KITA SUMA　2022　第 47 回　北の住まい住宅設計コンペ募集要項

課題　「斜めとイエ」

函館、小樽等の坂のまちや美瑛の丘など、道内の至るところに傾斜地が存在します。敷地に高低差があることにより、アクセスのしにくさや、無駄な空間が発生しやすいなど課題がある一方で、住空間に様々な可能性がひろがります。

イエは傾斜地にあることで、周りとの関係が変化し、その見え方も変わってきます。そして、傾斜地にあることにより、住宅内部での垂直方向の「しつらえ」が大きく変化し、イエから見えるまちなみや空と大地の姿が大きく変わってきます。

まちなかや郊外を問わず、あなたの身近にある道内各地の斜めの土地を自由に想定し、今までにないイエのかたちを提案してください。

計画条件

・北海道内の地域と敷地、住戸形式、家族構成等は自由に設定してください。

賞　金

・最優秀賞　25 万円（1 点）
・優秀賞　　5 万円（2 点）
・奨励賞　　2 万円（4 点）

締　切（厳守してください。）

・2022 年 9 月 30 日㈮　持参の場合は 16 時必着。
郵送の場合も 9 月 30 日㈮必着。

参加資格

・一般、学生等を問いません。
・北海道内居住者とします（学生・生徒は北海道内の大学等に在籍している者に限ります）。
・個人参加、グループ参加は自由です。

提　出　物

(1)　図面

設計趣旨及び設計意図を表現する図面（縮尺は自由）。

図面には、氏名、記号などを記入しないでください。

A 1（841×594）サイズ一枚、横づかい（縦づかいは無効です）。表現は自由です。

ハレパネ又はスチレンボード（厚さ 5 mm 程度）などでパネル化してください。表面の貼付材がはがれないように作成してください。

(2)　返信用ハガキ

受付番号をお知らせするために使用しますので 63 円の官製ハガキに応募者の住所・氏名を記入して提出してください（官製はがき以外は、受付できません。）

(3)　応募用紙

応募作品の「作品名」と応募者の郵便番号、住所、氏名（フリガナ）、所属先名（学生は、学校名・学年）、電話番号を A 4 版縦づかいの用紙に記入して（形式は自由）応募作品とともに提出してください。

審査委員（委員は五十音順）

委員長　米　田　浩　志
北海学園大学工学部建築学科教授

委　員　赤　坂　真一郎
㈱アカサカシンイチロウアトリエ代表取締役

委　員　小　澤　丈　夫
北海道大学大学院工学研究院教授

委　員　小　西　彦　仁
ヒココニシアーキテクチュア㈱代表取締役

委　員　佐　藤　　孝
北海道科学大学工学部名誉教授

委　員　澤　田　貞　和
㈱日本工房会長

委　員　松　田　眞　人
㈱都市設計研究所代表取締役

選 考 経 過

①一次審査（2022 年 10 月 3 日～ 6 日）

一次審査通過者の受付番号は 10 月 14 日㈮頃に主催者ホームページ（www.do-kjk.or.jp）で発表します。

②二次審査（2022 年 10 月 26 日 10：30～）

一次審査通過作品から 10 作品を選出します。

③最終審査（2022 年 10 月 26 日 13：00～）

二次審査通過作品（10 作品）から各賞（計 7 作品）を決定します。

最終審査は「公開審査」とし、当協会 8 階 A 会議室で行います。

入賞者発表

・2022 年 10 月下旬

入賞者に直接通知するとともにホームページでも発表します。

入賞作品の公開

・2022 年 10 月下旬

主催者ホームページ（www.do-kjk.or.jp）で公開します。

・１次審査通過作品は、協会広報誌「ひろば」（12 月発行）に掲載します。

また、最優秀賞受賞の方には、同誌への寄稿をお願いしています。

応募作品の著作権等

・応募作品の著作権及び版権は、応募者のものとします。ただし、この事業の趣旨に基づいて、主催者が図書の出版や、新聞、雑誌、その他に掲載又は啓発宣伝などに利用する場合は無償で認めるものとします。

・応募作品は原則として返却しません（返却希望の場合は、事務局に相談してください）。

提出先
〒060-0806 札幌市北区北 6 条西 6 丁目 2 番地
設計会館　9 階
一般社団法人 北海道建築士事務所協会
TEL 0111-788-7650
ホームページアドレス http://www.do-kjk.or.jp

第 47 回「北の住まい」住宅設計コンペ 入 賞 者 名 簿

最優秀賞	武 者 凌 平	北海学園大学 4 年
（共同作品）	塩野谷 基 悟	北海学園大学 4 年
優 秀 賞	塩野谷 基 悟	北海学園大学 4 年
優 秀 賞	国 貞 佑 弥	室蘭工業大学大学院 2 年
奨 励 賞	三 浦 光 雅	フリーランス
奨 励 賞	奥 野 柊 也	北海道科学大学 4 年
奨 励 賞	尾 田 美 月	札幌市立大学 3 年
奨 励 賞	三 浦 光 雅	フリーランス

主　催

（一社）北海道建築士事務所協会

後　援（順不同）

北海道
（一財）北海道建築指導センター
（一社）北海道建築士会
（公社）日本建築家協会北海道支部
（一社）日本建築学会北海道支部
㈱北海道建設新聞社

最優秀賞

「坂二黄昏ル虚口船」

武　者　凌　平（北海学園大学４年）
塩野谷　基　悟（北海学園大学４年）

（共同作品）

小樽市朝里、国道５号線から北の石狩湾に下る急峻な坂地に建てられた住宅である。斜面の形状をトレースした２枚の曲面を、斜面と平行に浮かべ床と屋根とし、その間の空間に水平な床や個室のボリュームを差し込むことによって、日常の生活が営める空間に設えている。

屋根はミニマムサイズの柱で支持されているため、主空間は大きく海側に開放される。四季や一日の時間の流れを通して、様々な表情を見せる石狩湾の雄大なパノラマを堪能しながら、眼下に連なる家々の屋根や灯火、海外沿いを走る函館本線の列車にまちの営みを感じることができる。視覚だけでなく、海風が運ぶ潮の香り、斜面の草木が醸し出す匂い、茂みに棲む虫の音色など、穏やかな日常の情景を五感で楽しむことができる場がここにつくられている。

一方で、荒天時に大きくうねる海面や北から強く吹き付ける雨風は、斜面地という不安定な場に身を置く者に緊張感を強いることになる。しかしながら、自らが身を置く環境に直接身体を晒しながら、五感をフルに動員して様々な場面を感じとることは、現代に生きる私たちが失いつつある人間が本来もっていた鋭敏で豊かな感性を、呼び起こすことにつながるだろう。

坂の下から見上げると、建築とランドスケープが直結された住宅の姿が印象的に映る。現代の住宅が纏いがちな汎用的な価値観に囚われない、荒削りでダイナミックな解放感を味合わせてくれるであろうこの住宅を、全審査員が一致して最優秀賞に推挙した。

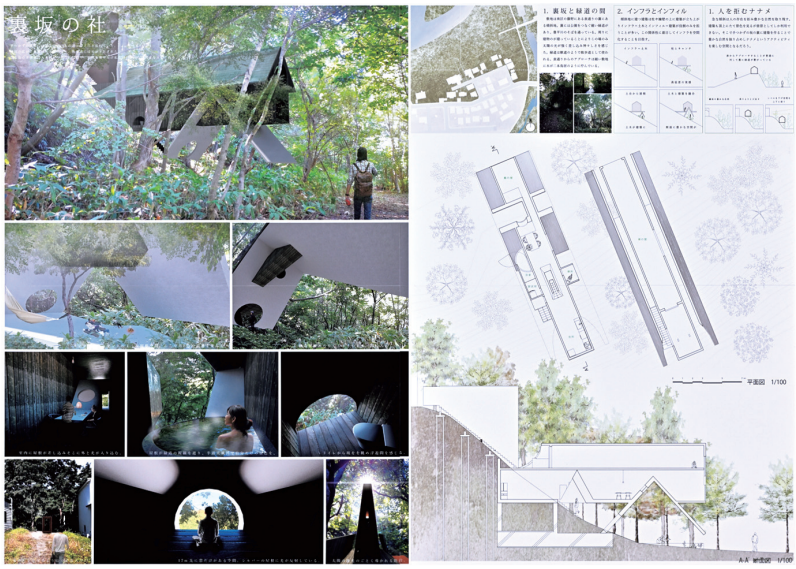
審査委員会委員　小澤　丈夫

優秀賞

「裏坂の社」

塩野谷　基　悟

北海学園大学４年



この作品は人を寄せ付けない急こう配の斜面に土木スケールのインフラを架け、このインフラ周りに建築空間をまとわりつかせようとする試みです。こうすることで、光や森が、様々な形で建築空間をとおして、住み手の五感に入り込んできています。

元々日本人が持っていた、自然の中のどこにでも神が宿るというアニミズムの精神を感じさせ、日本各地にみられる神々しい森の前面に位置する神社のような香りのする作品です。人を寄せ付けない斜面にあるからこそ、「ヒト」に自然がすり寄ってきて、宇宙（神）に近づくことができているように思えます。更に、階段を上って住宅内を進むプロセスも時間を感じさせ奥行を増しています。

コンセプトは、課題の問いかけに正面からこたえており、大きな可能性を感じさせてくれます。惜しむらくは、平面と断面の不整合や表現不足により最高位を逃しているのではないでしょうか。

審査委員会委員　松田　眞人

優秀賞

「斜と暮す｜平に住う」

国　貞　佑　弥

室蘭工業大学大学院２年

美瑛の緩やかな丘の牧草地に計画された住居は、傾斜する地面に対し少し潜らせた平らな床を住むための床とした。平家の家は斜面の高い方は軒が低く、斜面の低い方は軒が緩やかに高められている。家の床は斜面の低い方に合わせてあり、斜面は徐々に高くなり家の半分ぐらいが潜り込んでいる。また平面上はおおらかな中庭を持ち、室内では床と外の斜面が場所により変化する。斜面下の空間は天井が高く中庭に開放された開口部により斜面を抱擁し豊かな空間となっている。中庭を添うように奥に進むにつれ斜面に潜り込み寝室へと到達する。静と動の空間が外の斜面に関係しているのだ。

ミニマムな操作がより水平の床と自然の傾斜を強く関係づけたあたりは作者の力量を感じるが、開口部の操作にもう一考欲しかった。

審査委員会委員　小西　彦仁

奨励賞

「樽前ガローは輪廻を揺さぶる」

三　浦　光　雅

フリーランス

敷地は樽前山の南山麓に広がる森林地帯。人が近よらないような場所である。

ここに画家のためのアトリエ兼別荘を建てる計画。

ほとんど誰もいない自然環境に身を置く創作活動の場。間仕切はなく、曲面と変化する廊下幅が場を仕切るプラン。巾の広い部分に創作する場と生活する場があるが、対峙する広大な自然の取り込みを眺めるだけでなく、空間においても係って良かったのではないだろうか。川が流れ苔が生え、空気が湿潤で綺麗で澄んでいるはず。その自然を建築化して欲しかった。図面はとても綺麗に描かれているが中庭が退屈な空間になっている。下に降りて行けるなどの仕掛けがあるとより高い評価になると思う惜しい作品である。

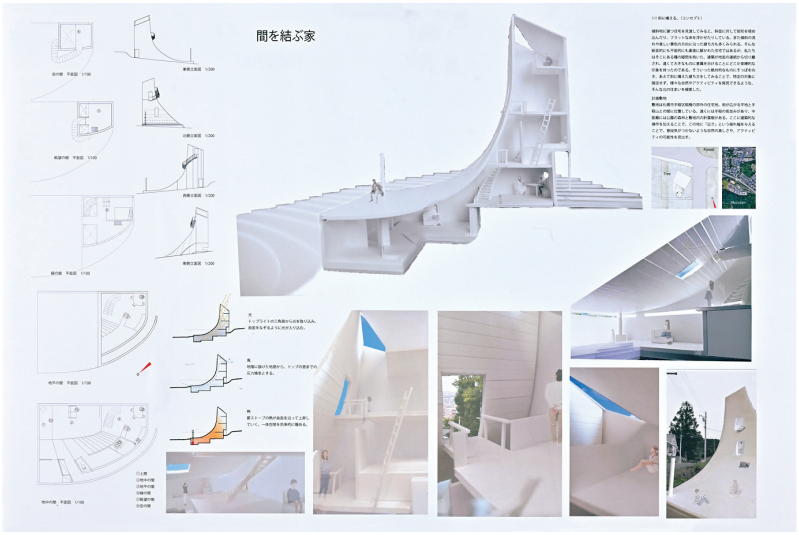
審査委員会委員　澤田　貞和

奨励賞

「間を結ぶ家」

奥　野　柊　也

北海道科学大学 4 年



傾いた地面の一部が隆起し、そのまま搭状に空へと伸びてゆくトポロジカルな提案である。

特徴的な断面を生かした空間構成に加え、光・風・熱といった要素が巧みにコントロールされ、「地中」のようなやや閉じた空間でありながら住まいとしての快適性が担保されていることが評価された。

しかしながら、地形、空、植物などのメタファーとも捉えられるこのダイナミックな提案には、住宅地の一角よりもふさわしい敷地が、道内に数多くあったのではないかと思われる。

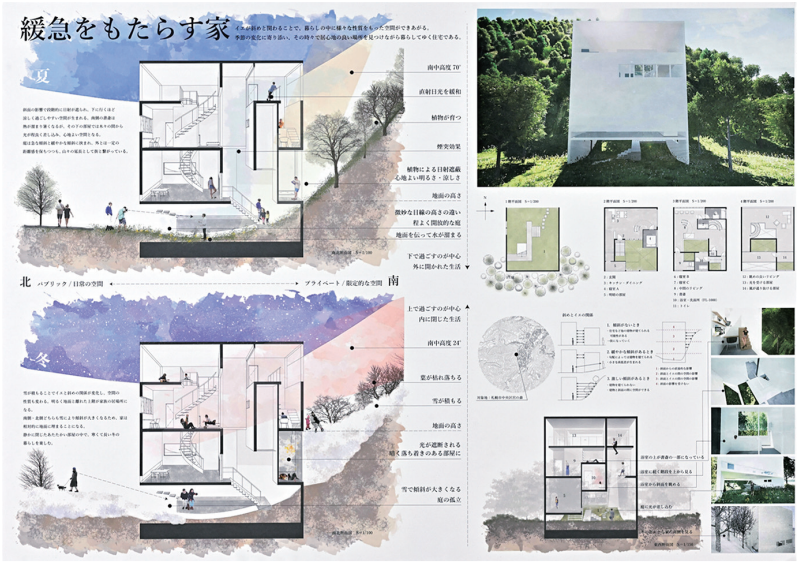
審査委員会委員　赤坂　真一郎

奨励賞

「緩急をもたらす家」

尾　田　美　月

札幌市立大学３年



この作品は、傾斜敷地とイエの関係について、分析的眼差しから生み出した空間であり、傾斜地面と人のアクティビティをもつ建築である。

低い地面に沿ってアプローチすると、いつの間にか家の内側の地面に立つ。見上げると圧倒的な高さの空間であり、季節の風の匂いが抜ける。冬になると傾斜地側の部屋の窓は、雪で埋まるが、積層した雪を透す光はクレバスのようなグラデーションを生む。

この作品には、傾斜地と北海道の四季を凝視した高い解像度がある。しかし基礎耐圧版により、置き土となった点は残念だ。上の賞を狙えた作品であった。

傾斜に建つことの分析とともに、建築空間を魅力とする優れた作品である。

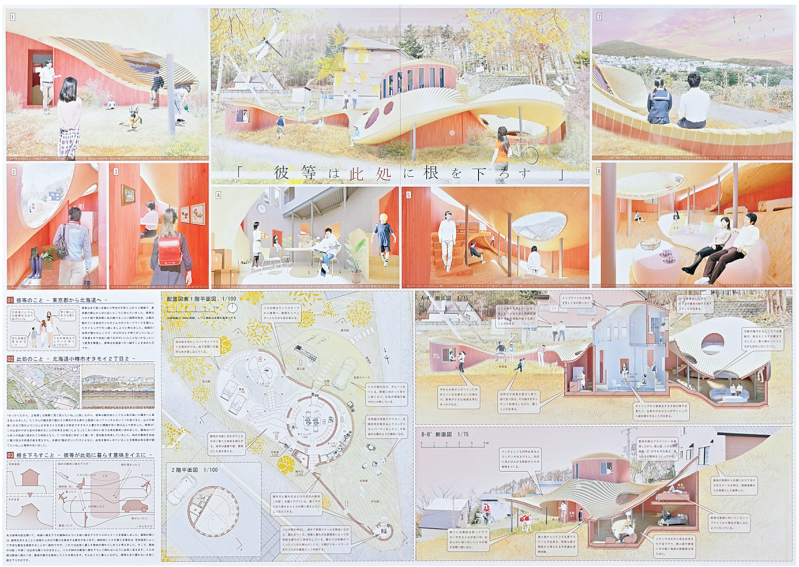
審査委員会委員　佐藤　　孝

奨励賞

「彼等は此処に根を下ろす」

三　浦　光　雅

フリーランス



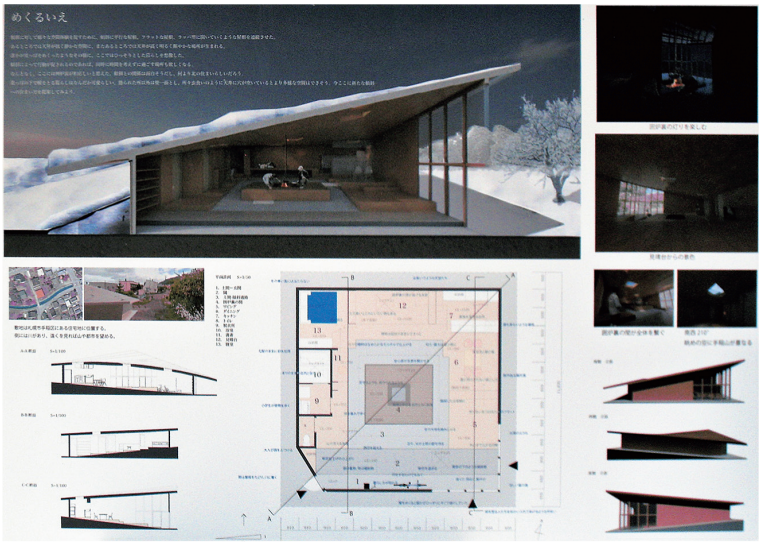
敷地の高低差に屋根を架け、その上を歩けるような湾曲した屋根を持つこのイエは、昆虫をも思わせる個性豊かな計画である。内部は傾斜地のまま床をつくっているため、高さの違う場所だらけである。大きな屋根を架けたことにより、内部は半地下のようになり外部との繋がりが少ない。そのためか団らんの空間はひろいが落着いて見えない。またダイニングの壁は光が降り注ぎ光を拡散する壁（開口）でも良かったのでは。曲面の壁や湾曲した屋根を持ちながらも、外部空間を取り込んだ場があれば、大切な居住空間をもっと生かせたのではないかと思われる。綺麗な図面でよく考え描かれているだけに、残念で惜しい作品である。

審査委員会委員　澤田　貞和

2 次審査通過作品

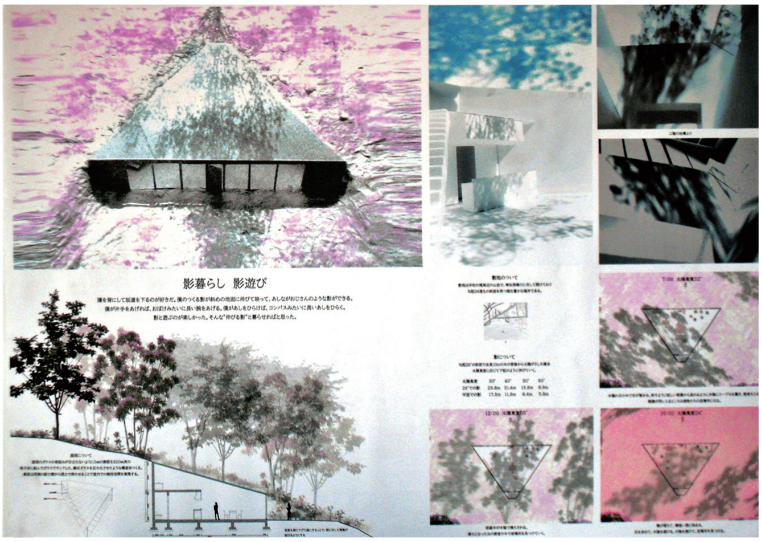
加　藤　丈　治

北海道科学大学 4 年



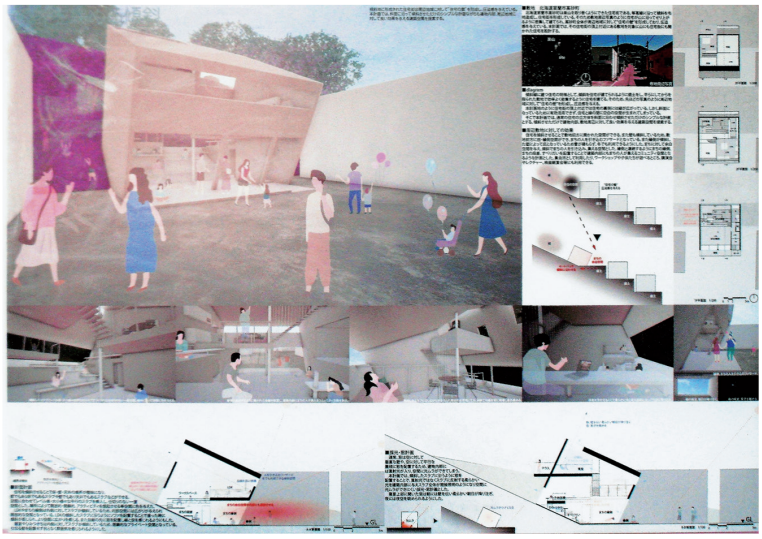
小　西　神太郎

北海道科学大学 3 年



加　藤　雅　大

室蘭工業大学大学院 1 年



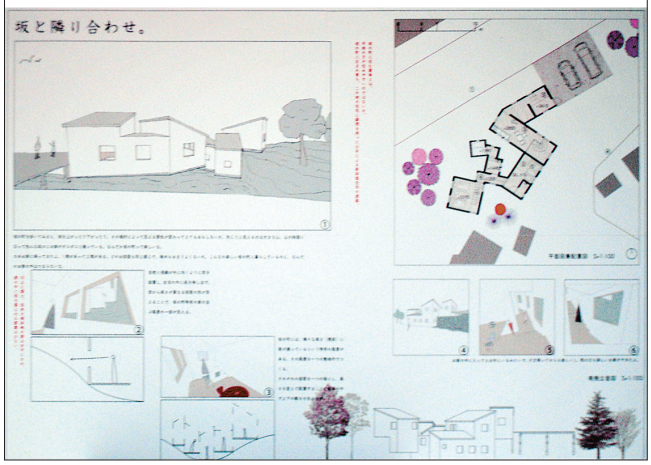
1次審査通過作品

高　橋　遼之介

星槎道都大学３年

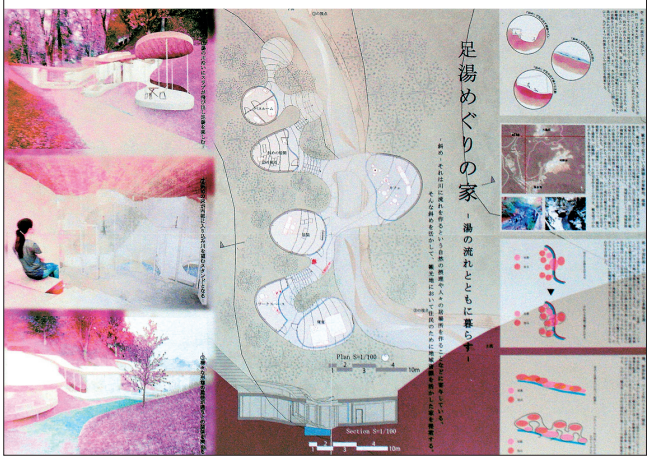
中　村　　龍

北海学園大学２年



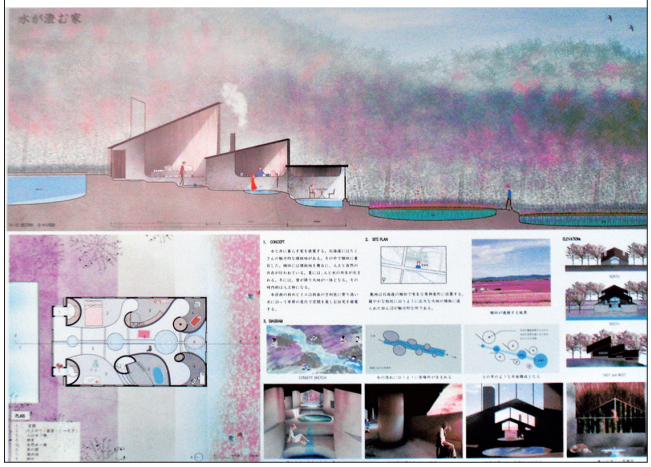
藤　井　淳　史

北海道大学大学院１年



田　元　　良

北海道科学大学大学院１年



二次審査

最終審査（公開形式）

総　　評

ここ数年のコロナ禍は、コンペ開催方法にも大きな影響を与え続けてきたが、今年47回目を迎える「北の住まい住宅設計コンペ」においては、ようやく公開審査を含めた対面形式の平常開催となった。このコンペの目的は、北海道特有の風土環境から導かれる住宅形式のあり方を探求することにある。北海道の住宅を考える上で、原自然との関係を創り出すことは大きなテーマになる。今回この観点から、課題は「斜めとイエ」を提示した。斜め（傾斜地）は、より自然性を意識させる要素である。建築には、水平と垂直の要素が組み込まれ、ある意味、人工的な環境が形成されている。そこに、あえて斜め（傾斜地）の要素を積極的に取り入れることによって、新たな自然との対話関係を生み出すことになるのではないだろうか。

今年の応募作品の締め切りは、9月30日㈮であった。応募総数は、57作品で、ほぼ昨年と同数であった。その後、第1次審査を10月3日㈪から6日㈭まで行った。この段階では各審査委員が7票投じ、1票でも投じられた作品を第1次審査通過作品とした。今年は57作品中14作品に絞られた。そして、第2次審査は10月26日㈬午前中に行われ、各作品の特徴を審査委員間で確認をし、投票によって10作品が選出された。その後、同日午後に最終審査を公開形式で行った。改めて各作品に対する評価を行い、議論を重ね度重なる投票の上、10作品から7作品が選出された。この7作品は副賞付の入賞作品となる。さらに、審査を進め、最優秀作品1点と優秀賞作品2点、そして4作品の奨励賞作品が選出された。

最優秀賞作品（武者、塩野谷、共同案）は、初期の審査から評価が高く、全員が最優秀賞と判断した満票作品である。傾斜地として急勾配な崖を敷地と設定しながらも破綻のない空間構成であった。内部空間はスリリングさを含みつつも、崖地の特性に加え、そこから見える海辺の風景と音を十分に享受できる極めて完成度の高い作品であった。そして、優秀賞作品（塩野谷案）は、自然の景色と地形を生かし、森の静寂さを住空間に接続させていた。自然が持つ神秘性が瞑想体験と共振する空間構成であった。描かれていた静謐な空間は、制作者が森と深く対話した結果であろう。もう一点の優秀賞作品（国貞案）は、緩やかな丘に沈み込むかのように配置されていた。内部の各開口部においては、傾斜地と連動し、多様な風景を再認識できる。この空間体験は外部との一体感を生み出し、傾斜地に住むことの可能性を提示していた。奨励賞作品4点もそれぞれに特徴を有した優秀な作品であった。

改めて、斜め（傾斜地）に着目することによって、原自然の存在を再認識する機会になったと想像している。それぞれ具体化された空間からは、人間の身体や精神に影響を与えるような新しい住宅の風景が生み出されていた。このような創造的な姿勢は、新たな時代に向けて大きな可能性を切り開いていくに違いない。みなさんのさらなるご活躍を期待したい。

審査委員会委員長　米田　浩志

「移ろう波間に映るもの」

第 47 回北の住まい住宅設計コンペ最優秀賞受賞者
武者　凌平（北海学園大学 4 年）
塩野谷基悟（北海学園大学 4 年）
（共同作品）

第 47 回北の住まい住宅設計コンペにおいて最優秀賞をいただきました。この度寄稿文を書く機会をいただいたので受賞作品について共同設計での制作過程を描きたいと思います。

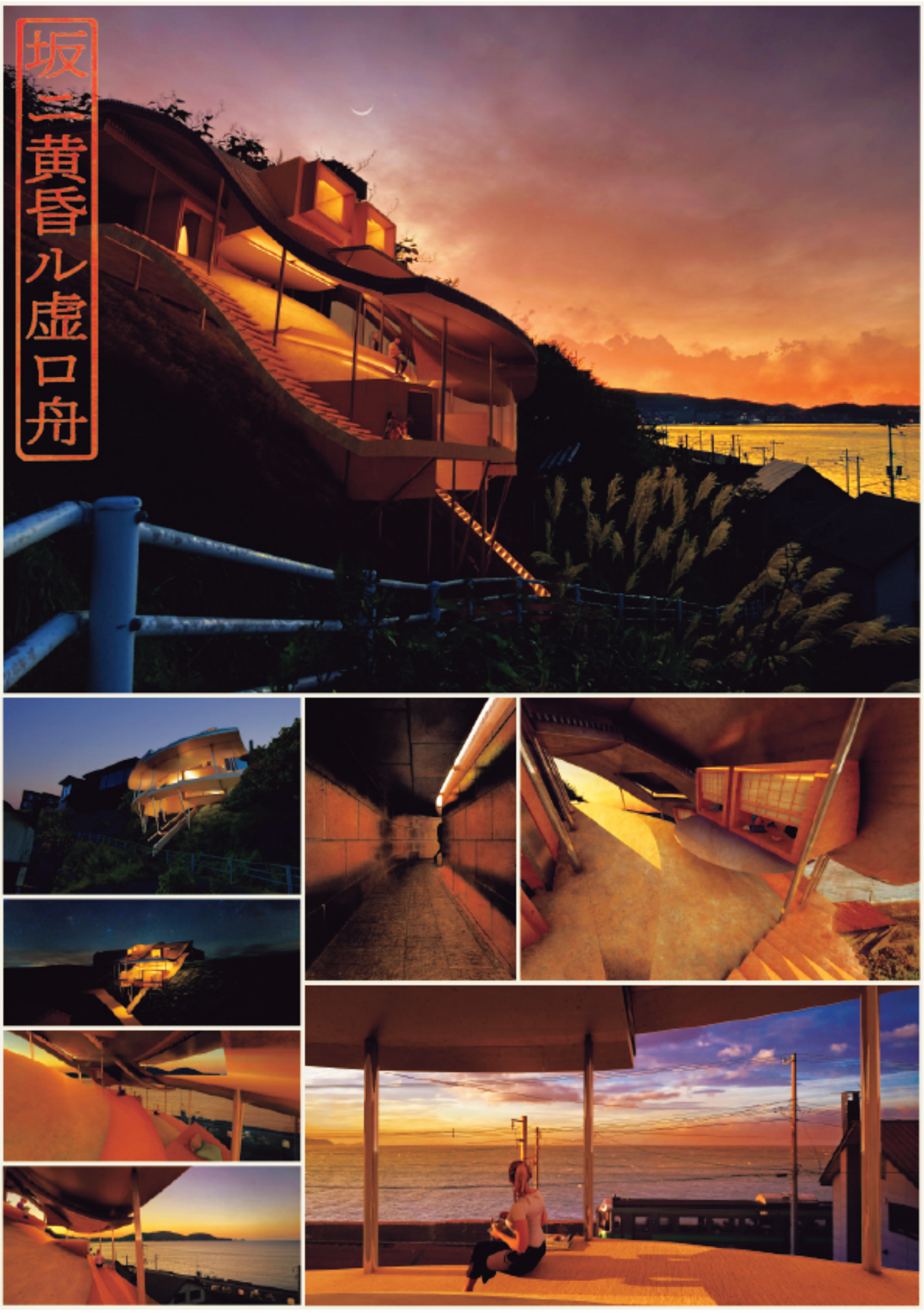
今年のテーマは「斜めとイエ」ということで初めて敷地形状に制約があるテーマであったと思います。僕達はまず、斜めの土地によって生まれる暮らしや斜めがあることによって行きたくなる心地よさのようなものを共有していきました。様々な場所に行きそこで得た感覚やアイデアをその場で議論していく中で、今回の提案を進める 2 つの話が浮かび上がりました。1 つは「おむすびころりん」です。平らな場所では不動であっても斜面が付くことによって動いてしまうということ。2 つ目は「プールの飛び込み台」です。平行な板が地面から離れることで僕らの重力によりたわみます。そしてジャンプ台も不動なものが動きます。2 つの共通点は不動な場が実際に動くということ。これを不動な家に取り入れるために、動かなくても動きを感じる感覚、つまり「浮遊感」を核として設計に臨みました。「浮遊感」は不動の中にたくさん存在します。縁側に座り足をぶらつかせながら風を感じる。古い床に人が乗りそのきしむ振動や音。窓から下を覗き込んだ時に高床で壁の下から植物が出てきている状況などです。これらはどれも不動の体感の中での動であるが、視覚するだけで「浮遊」を感じるものもあります。浮きながら階段を下に開く UFO や宇宙船内の無重力だからこその建具の位置のようなものです。北海道では到底実現されかった体験できない日本古来の形式と重力の存在する地球で見ることのない形式。この古来と近未来のハイブリット住宅を北海道で実現しようと思いました。以降これをぼくらは『わびさび UFO』と名付け計画していきました。

さて、建築設計を具体的に進めるためには敷地選定がとても重要なものでした。

選定敷地となった小樽市朝里町は札幌市から電車に揺られ 30 分ほど。町自体が湾岸に沿って東西に長く、その線をなぞるように小高い丘と潮騒、その間に邂逅するように佇む住宅地。宅地と湾岸の垣根に沿って電車は通り過ぎて行き、音だけがこだましていく。綺麗な一筆書きの心地よさにも似た風情が感じられ、小さくとも豊かな町がそこにありました。

『坂ニ黄昏ル虚ロ船』という作品はこの場所が持つ空気感に感動した僕らが肺いっぱいにその空気を吸収し、そのまま建築化した時に何が現れるのか、感受性に身を任せてこの坂に住まうことを最大限に消化したモノにするため、最終的には築いてきた論理性やコンセプト性も次第に順化してゆき、五感に身を任せ、あの日あの時に朝里で出会った幾重にも連なる自然物のレイヤーを建物に重ねていくというあまりにも愚直な発想法の試みという側面も大きく存在しました。確かにテーマとして「斜めとイエ」という下地は存在しましたがこの場所に出会い、何度も赴く内に「場所性の具現化」を主体とした朝里と私達との問答が主になってきたように今は実感します。

その結実として、暗がりが一直線に伸びる玄関のアプローチから始まり、玄関を通り抜けると一転、湾曲する天井が自然物から得た緩やかな光を部屋全体に乱反射させ、屋根形状と呼応してうねる「床の坂」が玄関での水平さを穿つように出迎えます。坂の途上には「浮遊床」という建物内部にそびえる縁側空間が設けられ、坂の流れを一度受け止め、屋根を貫通して浮遊する部屋へと人の流れを分散させます。波打つ「坂の床」を最後まで下ると一面の朝里の景色を展望できる、大地から伸びたもう一つの縁側へと終着し、住人は圧倒的浮遊感を不動の中に抱きます。


坂ニ黄昏ル虚ロ舟

令和３年度	
北海道赤レンガ建築賞	mother's+
北海道赤レンガ建築奨励賞	ニセコ町役場庁舎 結いの社屋～小金澤組新社屋

令和３年度　北海道赤レンガ建築賞

■主　　催

一般財団法人　北海道建築指導センター
一般財団法人　北海道建設技術センター
公益社団法人　日本建築家協会北海道支部
一般社団法人　北海道建築士会
一般社団法人　北海道建築士事務所協会
北海道

■趣　　旨

地域社会の発展に貢献する創造性豊かな建築物等を表彰することにより、北海道における建築創造活動を促進し、健全な地域文化の発展と広く建築文化に対する意識の高揚を進め、もって、地域に根ざしたまちづくりの推進などを図ることを目的とします。

■表 彰 内 容

・北海道赤レンガ建築賞　１点　銘板、表彰状
・北海道赤レンガ建築奨励賞　数点　表彰状
それぞれ、北海道知事が建築主、設計者、施工者を表彰します。

■募 集 対 象

北海道内に建設され、令和３年(2021年)３月31日までに竣工した新築及び改修建築物及び建築物群とし、竣工後の経過期間がおおむね３年以内のものが、応募の対象となります。

ただし、個人の利用に限定されるものは除きます。

■募 集 期 間

令和３年(2021年)８月２日㈪から８月31日㈫まで

■応募作品数

18作品

北海道赤レンガ建築賞実行委員会

一般財団法人　北海道建築指導センター
一般財団法人　北海道建設技術センター
公益社団法人　日本建築家協会北海道支部
一般社団法人　北海道建築士会
一般社団法人　北海道建築士事務所協会
一般社団法人　北海道設備設計事務所協会
一般社団法人　日本建築構造技術者協会北海道支部
公益社団法人　日本建築積算協会北海道支部
一般社団法人　建築設備技術者協会北海道支部
一般社団法人　北海道建設業協会
一般社団法人　北海道空調衛生工事業協会
北海道管工事業協同組合連合会
一般社団法人　北海道建築技術協会
北海道
※実行委員長
(一財)北海道建築指導センター理事長　平向　邦夫

北海道赤レンガ建築賞審査委員会

委 員 長　羽深　久夫　札幌市立大学名誉教授
副委員長　菅沼　秀樹　(一社)北海道建築士事務所協会理事
委　　員　小西　彦仁　(公社)日本建築家協会北海道支部長
委　　員　小町　美穂　(一社)北海道建築士会理事
委　　員　平向　邦夫　(一財)北海道建築指導センター理事長

■令和３年度協賛者

令和２年度受賞者のうち、次のとおりご協賛を頂いております。

●赤レンガ建築賞「夕張市拠点複合施設『りすた』」
㈱アトリエブンク
㈱山脇克彦建築構造設計
㈱ピーエス三菱札幌支店
㈱坂本建設工業
大晃電気工業㈱
日管建設㈱
北宝建設㈱

●赤レンガ建築奨励賞「株式会社イトイグループホールディングスCLT新社屋」
㈱イトイグループホールディングス
㈱遠藤建築アトリエ
㈱イトイ産業

■建築主　㈲北海道種鶏農場

■設計者　竹中工務店北海道一級建築士事務所

■施工者　竹中工務店北海道支店

■建築物の概要

所　　在　　地：白老郡白老町字社台 289 番地 1

主 要 用 途：物販店舗

構造及び階数：木造（一部鉄骨造）　2 階建

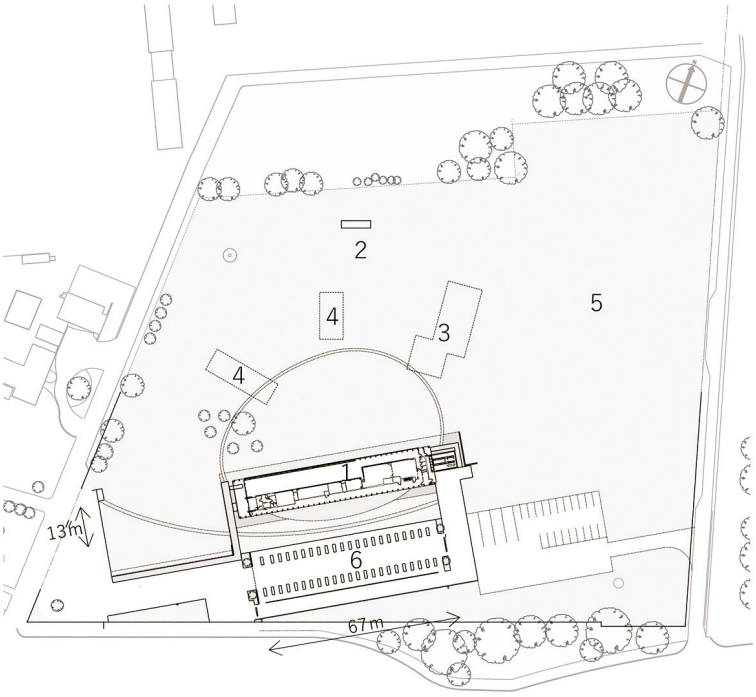
建 築 面 積：891.02 m²

延 べ 面 積：887.71 m²

竣 工 年 月 日：令和 2 年 2 月 28 日

□企画の特徴（地域との関わりなど、特に配慮した点）

畜産と林業を主要産業とした白老町は、近年は歴史・食文化・温泉などの地域資源を活用した観光業にも力を入れている。一方で我々の生活は多くの動植物の犠牲のうえに成り立っており、「アニマルウェルフェア（動物福祉活動）」が世界的な流れとなりつつある。これに「グリーンツーリズム」「産業 6 次化」を加えた、3 つの SDGs に関連する思想に基づくパイロットファームをマスタープランとして策定し、その中核施設を“マザーズプラス”として計画した。林業の復活とこれからの畜産業のありかた、これによる新しい農村の風景がどのようなものかを模索した。



マスタープラン「ヨコストランチ」

<凡例>
1 mother's+
2 移動式鶏舎
3 宿泊棟*
4 体験施設*
5 サッカーコート
6 駐車場
*マスタープラン

□設計の特徴

アニマルウェルフェアに基づき鶏を屋外で放牧し、マザーズプラスでは鶏卵の選別と店舗での加工販売を行う。つまり1次産業から3次産業までを統合し経営の多角化ひいては農村の活性化を目指す産業6次化を実現している（6＝1＋2＋3）。建物は地元産業への貢献として主な架構を胆振地方で伐採したカラマツ材としインテリアとして見せている。作業プロセスを見せるため工房棟は全面ガラスとした。木造モノコックの中にガラスボックスを挿入することで、自然素材と工業製品が対比したそれぞれの美しさの引き立つ印象的なインテリアとした。グリーンツーリズムに基づく農業体験施設や宿泊施設を将来計画としている。

□施工の特徴（工法の特徴、施工上の配慮、工夫等）

地域やプロジェクトに固有の「素材」「かたち」「手法」を尊重し計画と施工の融合したデザイン手法を「Local Fabrication」として展開した。**素材**／地産地消に基づき、外構には白老川流域より採取した石材を用い、すべての木材は北海道のカラマツとトドマツで構成した。**かたち**／建物形状は鶏舎をモチーフとするシンプルなモノコックとした。方杖やタイバーを用いないシンプルな木フレームとするため、仕口に鋼棒を挿入する「GTR工法」を採用し、13mスパンの無柱空間とした。**手法**／鶏のシルエットをシンボル化するのではなく、アプローチの床仕上げに足跡を刻印した。硬化前のコンクリートの上を自由に歩行してもらい、フレスコ画のようなワンオフの作品とした。彼女たちにとり自然光のもとでの自由な歩行は初めての経験である。施工中は建物全体をシートで囲う通常の工事計画ではなく、建設の過程がよくわかる移動式足場による施工とした。ユニークな架構形式とともにダイナミックなものづくりの魅力を発信し、地域に愛される施設を目指した。

□完成後の地域への貢献度等

豊かな地域資源の魅力発信とこれらを活用した産業の活性化と雇用の促進、そして世代間における地域文化の継承を促し、持続可能な社会に貢献している。サッカーコートはもともと敷地にあったものを残し、引き続き地域のスポーツ活動の拠点とした。明るい日差しのもと動物と子供たちが活動するこの風景が、サスティナブルな社会にふさわしい農村風景となるかもしれない。

令和３年度北海道赤レンガ建築奨励賞

ニセコ町役場庁舎

■建築主　ニセコ町

■設計者　㈱アトリエブンク
㈲金箱構造設計事務所

■施工者　（建築主体）泰進・浦野・石塚特定建設工事共同企業体
（電気設備）樋口・本間特定建設工事共同企業体
（機械設備）藤井・浦野・本間特定建設工事共同企業体

■建築物の概要

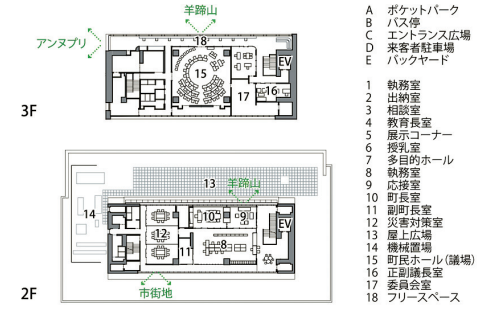
所　在　地：北海道虻田郡ニセコ町富士見 55 番地
主 要 用 途：事務所（役場庁舎）
構造及び階数：RC 造　地下１階　地上３階建
建 築 面 積：1,697.70 ㎡
延 べ 面 積：3,374.22 ㎡
竣工年月日：令和３年３月 19 日

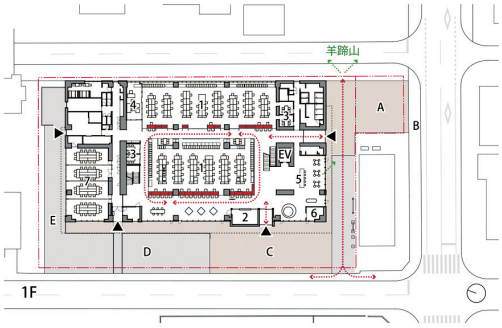
□企画の特徴（地域との関わりなど、特に配慮した点）

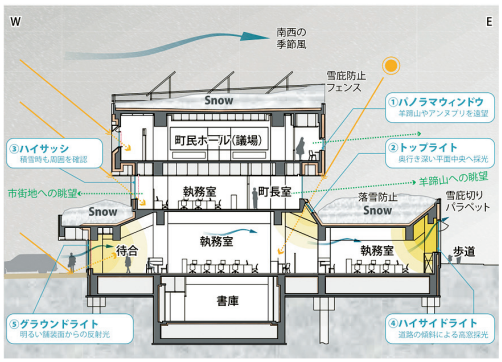
「ニセコ町役場庁舎」は役場庁舎と防災センターを複合化した防災拠点施設で、SDGs 未来都市・環境モデル都市を標榜するニセコ町のまちづくりの拠点となる中核施設です。主要公共施設が集約された中心市街地の結節点となることを目指し、ポケットパークや展示スペース、フリースペース等を整備し、町の情報発信や町民が気軽に利用できる庁舎として計画しました。基本計画段階からワークショップや町民説明会を重ね住民参画を図りました。地域の子供たちと採取した敷地の土を使用したレンガや、地元作家によるオリジナル家具、アート、グリーンアレンジメント等、地域との協働を図り町民に親しまれる計画としました。

□設計の特徴

歩いてまわれる街の結節点になり町の魅力発信を体現する庁舎を目指しました。町民サービス窓口全てを１階に集約、町長室等の執務の中核を２階、羊蹄山の大パノラマが広がる３階に多目的利用が可能な平土間円形議場







を配置しました。力強い RC 躯体をあらわしにした空間に町の木であるシラカバを床・壁仕上げに採用し共用部には町内家具作家による木製家具を数多く配置しました。冬季には雪庇被害が深刻な課題となります。１階屋根を大きくし、２、３階のボリュームを絞ることで、落雪を１階屋根で受け止め歩行者を守る豪雪地帯ならではの特徴的な断面を採用しました。『SDGs 未来都市』に認定されたニセコ町は CO2 排出量の大幅削減目標を掲げており躯体外皮性能 0.18 W/m^2·K と全国の庁舎でもトップレベルの省エネ性能としました。外部サッシは全て木製としアルゴンガス入 Low-E トリプルガラスを採用、壁・屋根面には高性能フェノールフォーム 200 mm 相当の高い断熱性能を確保し、冷暖房負荷の徹底削減を図っています。

□施工の特徴（工法の特徴、施工上の配慮、工夫等）

特徴的な RC 躯体は表しで、斜め梁等の取り合いが複雑な部分があり、配筋、型枠、打設の各工程で品質管理、施工に十分配慮しました。鉄骨階段は施工図作成から工場製作、現場搬入施工といった夫々の過程における品質管理や工程管理を徹底し工事を進めました。レンガ、板金、サッシ、シラカバ合板等、割付や納まりを施工図段階で設計者と綿密に打合せ施工に反映させました。

□完成後の地域への貢献度等

備蓄や災害対策室といった町の防災拠点機能が整備され町の防災体制の強化に繋がりました。広く明るくわかりやすい執務室は窓口業務や町行政の円滑化、透明化に繋がり住民サービスの向上に寄与しています。車いす通行可能な十分なゆとりのある執務空間や作業・打合せ環境の充実、居心地のよい給湯室等、町職員の職場環境も格段に改善しました。１階の展示コーナーでは打合せ、バス待合やギャラリー見学、放課後の学習等に利用され、３階のフリースペースは羊蹄山やアンヌプリがパノラマで一望でき、職員の休憩や住民のリモートワーク等にも利用されています。行政手続きだけでない気軽な利用が促され町民に長く親しまれる庁舎として動き始めています。

令和３年度北海道赤レンガ建築奨励賞

結いの社屋～小金澤組新社屋

■建築主　㈱小金澤組

■設計者　㈱アカサカシンイチロウアトリエ

■施工者　㈱小金澤組

■建築物の概要

所　　在　　地：苫小牧市ウトナイ南８丁目４番８号

主 要 用 途：事務所

構造及び階数：木造　２階建

建 築 面 積：421.48 m²

延 べ 面 積：600.08 m²

竣 工 年 月 日：令和２年６月20日

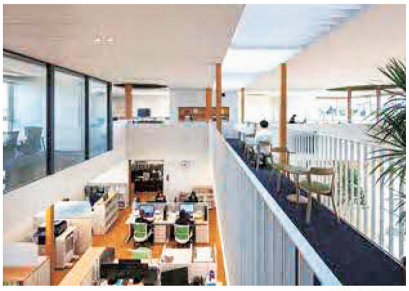
□企画の特徴（地域との関わりなど、特に配慮した点）

北海道胆振地方を拠点に総合建設業を営む企業の新築移転計画。これまで以上に人材確保が難しくなりつつあるこの業界・地域にある老舗企業として、広域から様々な人材が集まり、働き続けたいと思える「訴求力」を持つ施設が求められた。

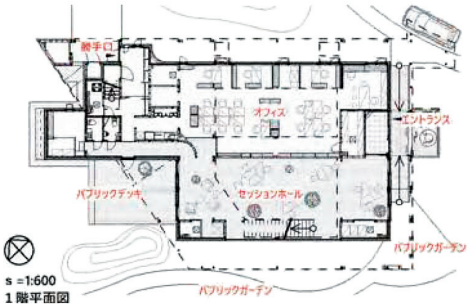
□設計の特徴

多くの人材に魅力を感じてもらえる職場の在り方として、組織としての一体感を持ちつつ、個人の特性を引き出す多様な働き方を受容できるオープンな空間構成が有効だと考え、１階オフィス上をほぼ吹き抜けとし、その外周を２階オフィスが取り囲む空間構成を提案した。

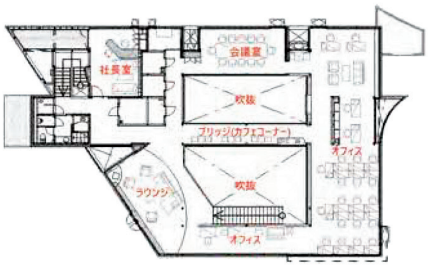
２つの階段、ブリッジ、廊下を兼ねた会議室を巡る行き止まりの無い動線沿いに、光や風、緑などを感じさせるラウンジやライブラリーといった、社員が溜まりやすい「結び目」を用意した。ここが多様な働き方の実践や社員間のセッションを促し、企業運営に参加している実感を持てる場＝働く人々への訴求力を持つ場になると考えた。また、敷地が工業系と住居系用途地域の境界に位置していることから、社屋を地域に開き、周辺住民との「結び目」を生み出す工夫もした。具体的には、向かい合



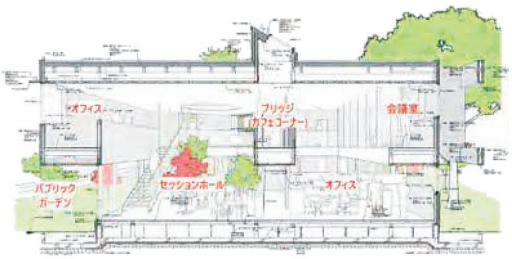
撮影：小川重雄



s =1:600
1 階平面図



2 階平面図



断面パース

う住居系地域にある遊歩道の要素を取り込んだ「パブリックガーデン」を敷地内に設け、近隣住民が自由に散策でき、社員の働く姿を見てもらう機会を増やすとともに、進行中のプロジェクトやイベント等を紹介する掲示サインを植栽間に設置し、地域に向け企業イメージを発信できる建築とした。１階「セッションホール」は周辺緑地と視覚的に連続し、引き戸を開け放つと「パブリックガーデン」の一部となり、普段はフリーアドレスのワークスペースでありながら、プランターを移動させれば100 人規模の安全大会やセミナー等の開催の他、災害時には地域の避難場所としても使用できる設えとした。1FL は周辺宅地よりも 700 mm 程度高く設定（対水災）。周辺風景の連続性を考え、建物高さは向かい合う住宅群と同程度に抑えている。１階は植栽に馴染みやすい道産の杉材、２階は曇天の多い苫小牧の空に溶け込むグレーの左官材で、その色やシルエットは、地域のシンボルである樽前山を想起させる。

□施工の特徴（工法の特徴、施工上の配慮、工夫等）

外断熱を施した基礎部分に蓄えた熱を、床下・壁内・天井裏などに循環させ、内部仕上面からの低温輻射によって全館無風暖房としている。

□完成後の地域への貢献度等

近隣住民も参加可能な音楽会やレクチャー等も企画予定していたが、コロナ禍の影響で現在は自粛中。しかしながら地元小学校から建物見学の要望があったり、社屋横でのキッチンカーを利用したイベント企画の持ち込みがあったりと、一企業の社屋としてだけでなく、地域貢献できる情報発信施設となり得る兆しが既に見え始めている。

審査講評

令和３年度(第 34 回) 北海道赤レンガ建築賞の全体講評

第１回審査委員会は、７月 21 日㈬に開催され、８月２日㈪から 31 日㈫までの応募期間などの今年度の募集要項を決定した。第１回審査委員会では、第 30 回（平成 29 年度）からの審査過程を踏まえ、本賞が健全な地域文化の発展と地域に根ざしたまちづくりの推進を図ることに貢献するよう、公共建築と民間建築、新築とリノベーションを問わず多様な用途と所在地に偏りが無いよう広く応募を呼びかけることを確認した。

令和３年度（第 34 回）北海道赤レンガ建築賞の応募は 18 作品であり、この応募結果を受けて、９月 15 日㈬に第２回審査委員会を開催して、第一次審査として現地調査にあたる第二次審査の対象作品を選出した。（以下に、整理番号順に記す）。

❶「瑞泉閣」改修、室蘭市、迎賓館、煉瓦造一部木造平屋建、延べ 198.42 m²
❷「北竜町やわら保育園」新築、北竜町、保育園、木造平屋建、延べ 791.98 m²
❸「mother's+」新築、白老町、商業施設、木造一部 S 造２階建、延べ 887.71 m²
❹「岩見沢市栗沢市民センター」新築、岩見沢市、市民センター、RC 造平屋建、延べ 1,847.80 m²
❺「會澤高圧コンクリート㈱深川工場（作業用シェルター）」新築、深川市、工場、ポストテンションプレストレストコンクリート１階建、延べ 1,290.00 m²
❻「東川町文化ギャラリー」新築＋増改築、東川町、展示施設、RC 造一部 S 造平屋建、延べ 1,477.00 m²
❼「ニセコ町役場庁舎」新築、ニセコ町、役場庁舎、RC 造地下１階３階建、延べ 3,374.22 m²
❽「結いの社屋～小金澤組新社屋」新築、苫小牧市、事務所、木造２階建、延べ 600.08 m²

第３回審査委員会は現地審査を行う第二次審査であり、新型コロナウィルス感染対策を実施の上、10 月８日㈮から 11 月 12 日㈮にかけて行った。

第４回審査委員会は、審査員５名が現地調査の審査評を事前に提出し、12 月７日㈫に開催した。はじめに、第２回審査委員会で確認した審査基準を踏まえ審査の流れを確認した。次に、作品ごとに審査委員の講評と北海道赤レンガ建築賞の選考を行い、その後赤レンガ建築奨励賞の選考を進めることも合意した（なお、関与作品のある審査員は、当該作品の選考に参加しない）。

８作品のコンセプトは、昨年度にまして北海道において蓄積してきた歴史・文化を踏まえ、新たな風景を生み出そうとした、建築の質の高さを実感させる作品である。

審査委員の審査評のコメントについて活発な意見交換が行われ、本賞は「mother's+」を選考した。本賞選考後、奨励賞対象作品の有無について審議して、奨励賞を「ニセコ町役場庁舎」と「結いの社屋～小金澤組新社屋」とした。

「瑞泉閣」は文化財的価値の修理保存方法、「北竜町やわら保育園」は積雪寒冷地の木造詳細、「岩見沢市栗沢市民センター」は施工監理方法、「會澤高圧コンクリート㈱深川工場（作業用シェルター）」は地域との関連性と提案の汎用性、「東川町文化ギャラリー」は既存棟と新築棟の全体計画に課題が見いだされた。

令和３年度(第 34 回)北海道赤レンガ建築賞 mother's+

建築主は、1980 年代から養鶏業を営み、動物福祉活動、グリーンツーリズム、産業の６次化を目指したパイロットファームづくりの中核施設として、開発調整区域に白老町の林業と畜産業を踏まえ新たな風景を創り出している。

道産木材と白老川の石材を用い、鶏舎をモチーフにした 13 m×68 m の平面を支える木造フレームに覆われた空間は、屋外の養鶏場、毎日２万５千個の鶏卵選別場、スイーツ加工工房をコンビナートのように一望できる店舗である。鉄骨フレームと設備機器を載せる CLT スラブで構成される加工工房棟、連立して水平力も負担する木造フレーム、外皮としての構造用合板・アスファルトルーフィング・鋼鈑による断面構成は、耐震性能だけでなく断熱・気密性能

と耐候性能も向上させている。棟の仕口を鋼棒で補強した方杖と繋鋼のない 68 m に及ぶ木造フレームの架構は、移動式足場で施工し全体の覆屋を必要としない施工にも役立った。

建築主と白老町、建築主と設計者・施工者は長年にわたり良好な信頼関係を築き、関係者が一体となり町民と観光客に向けた将来のまちづくりを検討した内容が具体化した建築である。以上の点を踏まえ、「mother's+」は、建築主、白老町、設計者・施工者の協働の結果生まれた建築で、建築創造活動を促進し、健全な地域社会の発展と建築文化に対する意識高揚を進め、地域に根ざしたまちづくりを推進する建築意匠と建築技術を有し、新たな風景を創り出した建築であることを評価して令和 3 年度の北海道赤レンガ建築賞を贈る。

令和 3 年度(第 34 回)北海道赤レンガ建築奨励賞　ニセコ町役場庁舎

ニセコ町は、2011 年の旧町役場庁舎耐震診断から旧庁舎再整備計画、防災センター計画を経て、2017 年に新庁舎計画に到達し、指名型プロポーザルで設計者を決め、町民・町議員・町職員の検討やワークショップを重ね、総合評価落札方式で施工者を選定した。

ニセコ町役場庁舎は、町民の居場所、観光客の利便性、町職員の仕事のしやすさを追求した従来のタウンホールでなく、タウンオフィスである。町役場は半径 500 m 圏内の歩いて回れる範囲に町施設がある中心施設であり、羊蹄山とアンヌプリの眺望も楽しめる。

町民の居場所として、全館で町民を受け入れるため町民にとって使いやすい平面・断面構成で、地下 1 階から 2 階は防災機能を持ちながら、地下 1 階は書庫・更衣室の職員機能、 1 階は町民窓口機能、 2 階は執務機能と災害対策本部機能、 3 階は議会機能を有する。2.3 m の垂直積雪量に耐え、原子力災害屋内避難所としての使用を考慮し、9.9 m×10.8 m スパンの耐震壁付 RC 造ラーメン構造で、外周部の開放性も確保している。内部は骨太の架構ではあるが、町の木であるシカラバ材の内装、木の執務室と議場兼町民ホールの家具や町内作家の家具・作品で柔らかさを醸し出している。ニセコの風土の景観を形成してきた煉瓦・板金・木の素材を使い、豪雪対策、消費エネルギー削減、トップライト・ハイサイドライトなどの採光計画と照明計画、パノラマウィンドーからの眺望、風況計測と風洞実験による雪庇対策、自然換気による空調エネルギー削減を図っている。

以上の点を踏まえ、「ニセコ町役場庁舎」は、町民の居場所であり、健全な地域社会の発展と建築文化に対する意識高揚を進め、地域に根ざしたまちづくりを推進する建築技術を有し、ニセコの自然を満喫できる建築であることを評価して令和 3 年度の北海道赤レンガ建築奨励賞を贈る。

令和 3 年度(第 34 回)北海道赤レンガ建築奨励賞　結いの社屋〜小金澤組新社屋

建築主は、近年宅地化が進み人口増の苫小牧市沼ノ端地区に創業 75 周年の節目に、鵡川から苫小牧に進出して培ってきた企業理念の表現、若い人材の確保、社員の作業効率を高めるために、近隣住民とのつながりと社員同士の団結を図るための結び目としての木造の新社屋を設計者と創り出した。

敷地は工業地域にありながら地域との交流や避難場所を想定して開放的な緑地を設け、外観は樽前山をイメージしている。事務所を住宅の延長上に捉え、 1 階のホールとオフィスの吹抜で空間を一体化し、ワーキングスペースでの交流と低温輻射による全館無風暖房を可能にしている。商業施設のような内部空間は、大工による木造架構、ホタテ貝殻を利用した左官、トップライト周りの板金と専門職人技に溢れながら非木造の意匠であり、建設業と事務所建築のイメージ刷新を図っている。

以上の点を踏まえ、「結いの社屋〜小金澤組新社屋」は、工業地域にありながら近隣住民との繋がりと社員同士の団結を目指した木造のオフィスであり、地域の中小企業として建築文化に対する意識高揚を進め、地域に根ざしたまちづくりを推進する建築意匠を有し、働き方改革を実現する建築であることを評価して令和 3 年度の北海道赤レンガ建築奨励賞を贈る。

北海道赤レンガ建築賞　審査委員会委員長　羽深　久夫

令和３年度

高校生建築デザインコンクール

課題／「身近なバス停留所の上屋」

■はじめに

公共建築物は、行政や教育・文化、医療・福祉、研究など、さまざまな分野で、地域の産業や人々の生活に密接な関わりを持ち、地域の活性化や生活の質の向上のほか、気候風土等と調和した魅力あるまちづくりを推進する上でも重要な役割を果たしています。

道では、将来の建築技術者となる若年層の育成などを図るため、道内で建築を志す建築系学科に在籍する高校生を対象に、夢のあるユニークなデザインを募集する「高校生建築デザインコンクール」を平成８年度から実施しております。

平成 12 年度からは、公益財団法人日本建築家協会北海道支部、一般社団法人北海道建築士事務所協会、一般社団法人北海道建築士会との共催事業となり、今回で 26 回目の開催となりました。

令和３年度は、高校が所在する自治体に実際に存在するバス停留所を題材に「身近なバス停留所の上屋」を設計課題として募集したところ、５校 128 人から 111 作品の応募がありました。

応募いただきました作品には、細部まで考えられたアイディア溢れるプランや、バス停以外の機能を持たせた意欲的なプランなど、高校生ならではの創造力豊かな作品が数多く寄せられました。

厳正な審査の結果、最優秀作品賞１作品、優秀作品賞３作品、佳作４作品、特別賞２作品が選定されました。受賞者の皆様、誠におめでとうございます。

参加いただいた全ての皆様の学んだ経験が、今後の建築技術者として第一線で活躍される上で貴重な財産になることを期待しております。

令和３年度高校生建築デザインコンクールの実施概要

道内の建築を志す高校生の勉強の励みとし、将来の建築技術者となる若年層の育成と技術向上に寄与することを目的として、平成８年度から「高校生建築デザインコンクール」を実施しています。

道内の建築系学科が設置されている高等学校に在籍する生徒から夢のあるユニークなアイディアを募集するものです。

1 課題

「身近なバス停留所の上屋」

高校が所在する自治体に存するバス停留所（現状の上屋の有無は問わない）に整備する上屋を提案してください。

2 応募資格

道内高等学校（建築系学科）に在籍する個人又は２名のグループ

3 提出図面

JIS 規格 A２判（420 mm×594 mm）横置き１枚

片面に下記の全ての図面を描く

(1)　作品タイトル
(2)　設計主旨
(3)　配置図・平面図　1/50～1/20
(4)　断面図　1/50～1/20
(5)　立面図　1/50～1/20（１面）
(6)　スケッチ又は模型写真又は透視図
(7)　面積表

4 応募作品

128 名から 111 作品の応募

5 入選作品

最優秀作品１作品・優秀作品３作品・佳作４作品・特別賞２作品

6 経過

募集要項配布　令和３年 ７ 月 ７ 日
作 品 受 付　令和３年 11 月 30 日まで
選 定 委 員 会　令和３年 12 月 15 日
作　品　展　令和４年 １ 月 ９ 日から
　　１ 月 10 日まで

7 選定委員

石丸　貴康（北海道建設部建築局建築整備課長）※委員長
赤坂真一郎（公益社団法人日本建築家協会北海道支部　教育委員会教育委員長）
重綱　博美（一般社団法人北海道建築士事務所協会　業務・技術委員会担当副会長）
松本　純（一般社団法人北海道建築士会まちづくり委員会副委員長）
柴田　亨（北海道教育庁学校教育局高校教育課長）

審 査 総 評

「高校生建築デザインコンクール」は、道内の建築系学科の高等学校に在籍する生徒の皆様から、道が整備する公共建築物などのデザインについて、高校生らしい夢のあるユニークなアイディアを広く募集するとともに優れた作品を表彰しているものです。

今年度は、「身近なバス停留所の上屋」を設計課題として募集したところ、111 作品と多くの応募があり、多くの関係者の多大なご協力により、高校生建築デザインコンクールを盛況に開催することができました。

選定委員を代表して、関係者の皆様にお礼を申し上げます。

応募作品は、立地条件や周辺状況の特性を活かしながら、個性的なコンセプトに基づくユニークなデザインや、バリアフリーへの配慮とデザインを上手に両立させたものなど、高校生らしい発想力や表現力豊かな作品が数多く見られました。

審査にあたっては、主に「高校生らしい若々しさと創造性にあふれているか」「設計のコンセプトやデザインに魅力があるか」「立地条件を活かしているか」「ユニバーサルデザインや環境などに配慮されたデザインであるか」といった観点から行い、委員間で活発な議論が交わされましたが、厳正な審査の結果、最優秀作品１作品、優秀作品３作品、佳作４作品、特別賞２作品を選定しました。

このコンクールへ参加したことにより、さらに建築に対する関心を高め、建築技術を学ぶ皆様の学習意欲の高揚や将来の建築関連分野への進路選択にもつながることを期待しております。

今回、ご応募いただきました皆様のこれからのご活躍をお祈りし、審査総評とさせていただきます。

令和３年度高校生建築デザインコンクール選定委員会
委員長　北海道建設部建築局建築整備課長　**石丸　貴康**

令和３年度 高校生建築デザインコンクール入賞者一覧

最優秀作品賞（１作品）

早坂　亮哉（北海道苫小牧工業高等学校(全日制) ３年）
西村　理沙（北海道苫小牧工業高等学校(全日制) ３年）

優秀作品賞（３作品）

工藤　千朋（北海道小樽未来創造高等学校　２年）
蓑島　拓真（北海道苫小牧工業高等学校(全日制) ３年）
柳生　尚也（北海道苫小牧工業高等学校(全日制) ３年）
高橋　鉄三（北海道苫小牧工業高等学校(定時制) ３年）

佳　　作（４作品）

大湯　海斗（北海道小樽未来創造高等学校　２年）
成田　菜々（北海道小樽未来創造高等学校　２年）
小倉　愛加（北海道函館工業高等学校　３年）
佐々木　淳（北海道留萌高等学校　３年）

特　別　賞（２作品）

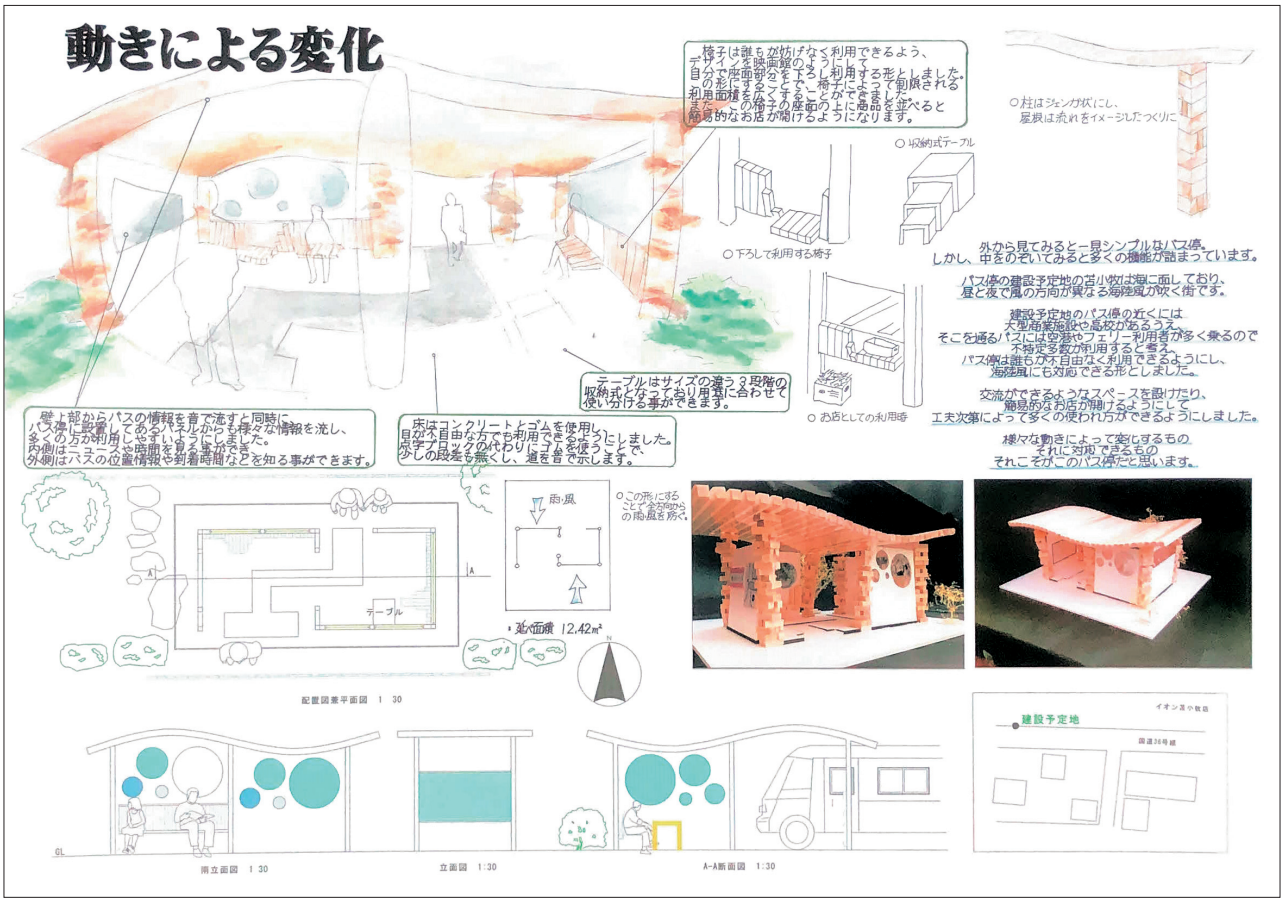
安藤　匠汰（北海道小樽未来創造高等学校　３年）
保坂　璃人（北海道小樽未来創造高等学校　３年）

入賞作品

最優秀作品賞

北海道苫小牧工業高等学校（全日制）

早坂　亮哉（３年）
西村　理沙（３年）



作品名「動きによる変化」

設計主旨

外から見てみると一見シンプルなバス停。しかし、中をのぞいてみると多くの機能が詰まっています。
バス停の建設予定地の苫小牧は海に面しており、昼と夜で風の方向が異なる海陸風が吹く街です。
建設予定地のバス停の近くには大型商業施設や高校があるうえ、そこを通るバスには空港やフェリー利用者が多く乗るので不特定多数が利用すると考え、バス停は誰もが不自由なく利用できるようにし、海陸風にも対応できる形としました。
交流ができるようなスペースを設けたり、簡易的なお店が開けるようにして工夫次第によって多くの使われ方ができるようにしました。
様々な動きによって変化するもの、それに対応できるもの、それこそがこのバス停だと思います。

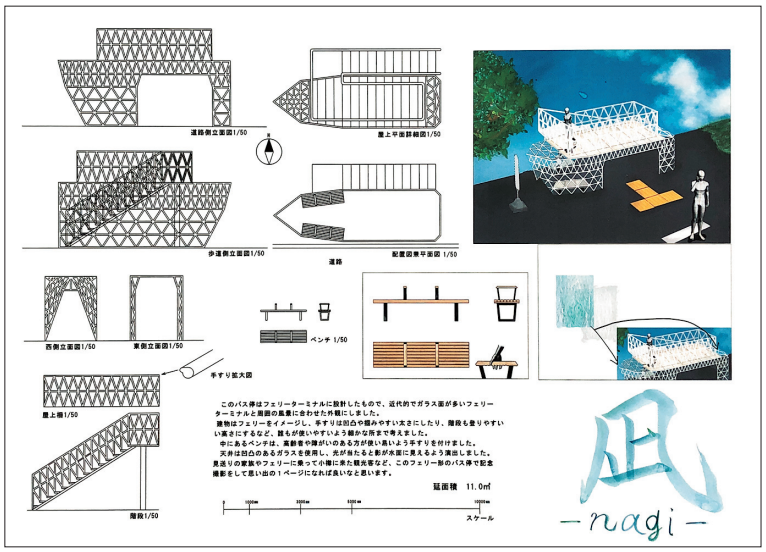
審査講評

バス停という機能を満たしながら、様々な部位を可変とすることで用途が広がるなど、アイディアがたくさん詰まったデザイン。
造形のみならず、風向、使い勝手など、細部にわたり考察されたプランが評価された。

優　秀
作品賞

北海道小樽未来創造高等学校

工藤　千朋（２年）



作品名「凪― nagi ―」

設計主旨

　このバス停はフェリーターミナルに設計したもので、近代的なガラス面が多いフェリーターミナルと周囲の風景に合わせた外観にしました。
　建物はフェリーをイメージし、手すりは凹凸や掴みやすい太さにしたり、階段も登りやすい高さにするなど、誰もが使いやすいような細かな所まで考えました。
　中にあるベンチは、高齢者や障がいのある方が使い易いよう手すりを付けました。
　天井は凹凸のあるガラスを使用し、光が当たると影が水面に見えるよう演出しました。見送りの家族やフェリーに乗って小樽に来た観光客など、このフェリー形のバス停で記念撮影をして思い出の１ページになれば良いなと思います。

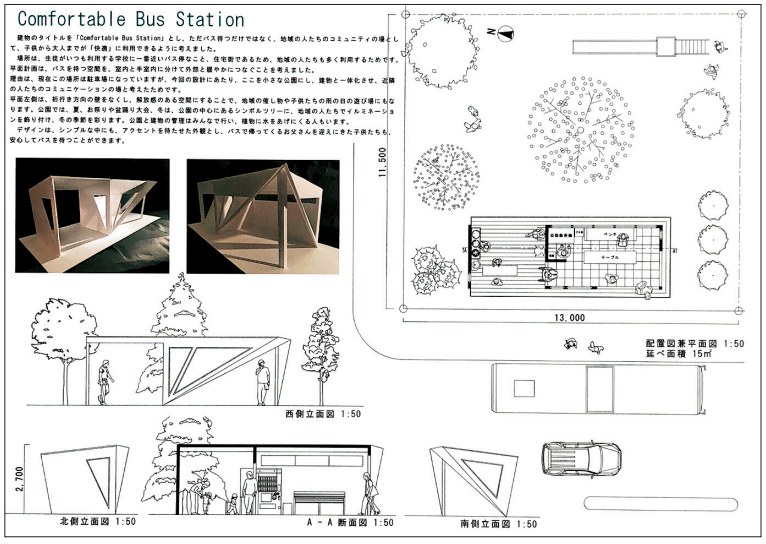
審査講評

　フェリー乗り場の立地条件をコンセプトに活かし、繊細な造形や手摺りの細部も良く考えられ、バス停以外の「眺める」機能を持たせた意欲的なプランが評価された。

優　秀
作品賞

北海道苫小牧工業高等学校(全日制)

蓑島　拓真（３年）
柳生　尚也（３年）



作品名「Comfortable Bus Station」

設計主旨

　建物のタイトルを「Comfortable Bus Station」とし、ただバス待つだけではなく、地域の人たちのコミュニティの場として、子どもから大人までが「快適」に利用できるように考えました。場所は、生徒がいつも利用する学校に一番近いバス停なこと、住宅街であるため、地域の人たちも多く利用するためです。平面計画は、バスを待つ空間を、室内と半室内に分けて外部と緩やかにつなぐことを考えました。理由は、現在この場所は駐車場になっていますが、今回の設計にあたり、ここを小さな公園にし、建物と一体化させ、近隣の人たちのコミュニケーションの場と考えたためです。平面左側は、桁行き方向の壁をなくし、解放感のある空間にすることで、地域の催し物や子どもたちの雨の日の遊び場にもなります。公園では、夏、お祭りや盆踊り大会、冬は、公園の中心にあるシンボルツリーに、地域の人たちでイルミネーションを飾り付け、冬の季節を彩ります。公園と建物の管理はみんなで行い、植物に水をあげにくる人もいます。デザインは、シンプルな中にも、アクセントを持たせた外観とし、バスで帰ってくるお父さんを迎えにきた子供たちも、安心してバスを待つことができます。

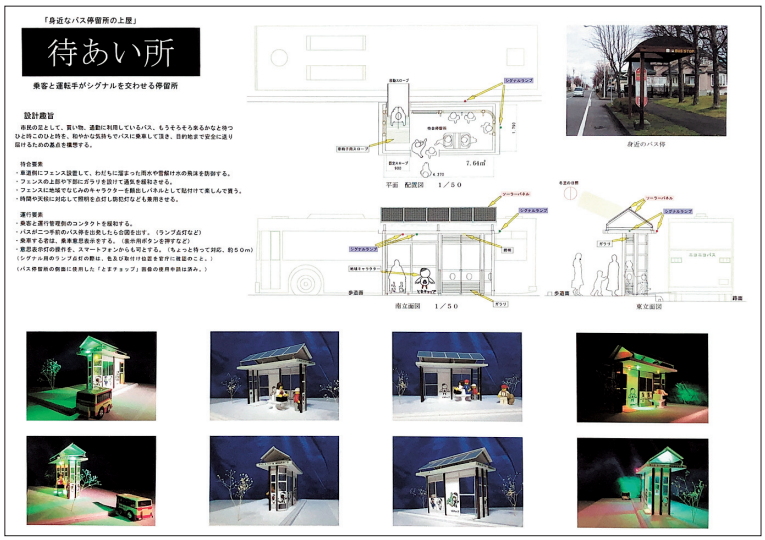
審査講評

　動きのある三角フレームを使ったシャープなデザインや、半屋外と屋外の２つのパターンを設定したバス停の新しい存在の仕方の提案が評価された。

優　秀
作品賞

北海道苫小牧工業高等学校(定時制)

高橋　鉄三（３年）



作品名「待あい所」

設計主旨

市民の足として、買い物、通勤に利用しているバス、もうそろそろ来るかなと待つひとときこのひと時を、和やかな気持ちでバスに乗車して頂き、目的地まで安全に送り届けるための基点を構想する。

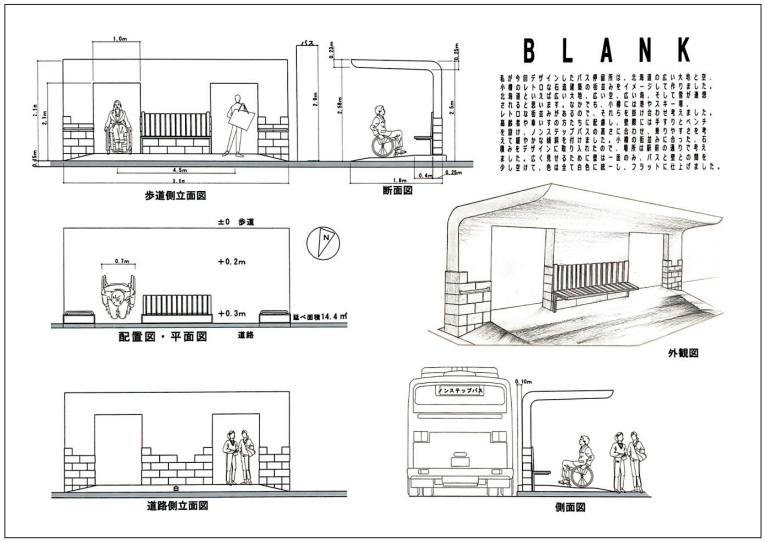
審査講評

北国のためのバス停の機能をとても考えられ、街になじみやすいデザインや道路からの水はね等にも配慮するなど、細やかな設計姿勢が評価された。

佳　作

北海道小樽未来創造高等学校

大湯　海斗（２年）



作品名「BLANK」

設計主旨

私が今回デザインしたバス停留所は、北海道の広い大地と空、小樽のレトロな石造建築の街並みをイメージして作りました。北海道といえば広い大地、広い空、広い海、そして雪が連想されると思います。なかでも、小樽には港やスキー場、レトロな街並みがあるので、それらを掛け合わせ考えました。高齢者や車いすの方たちに配慮し、壁際には手すりとベンチを設け、ノンステップバスの高さに合わせ、乗りやすさを考えて緩やかな傾斜を付けました。小樽の街並みに合った、石積みをデザインに取り入れたので、場所は駅前の通りで考えました。広く見せるために壁は一面のみ、バスと壁との間を少し空けて、色はすべて白色に統一し、フラットに仕上げました。

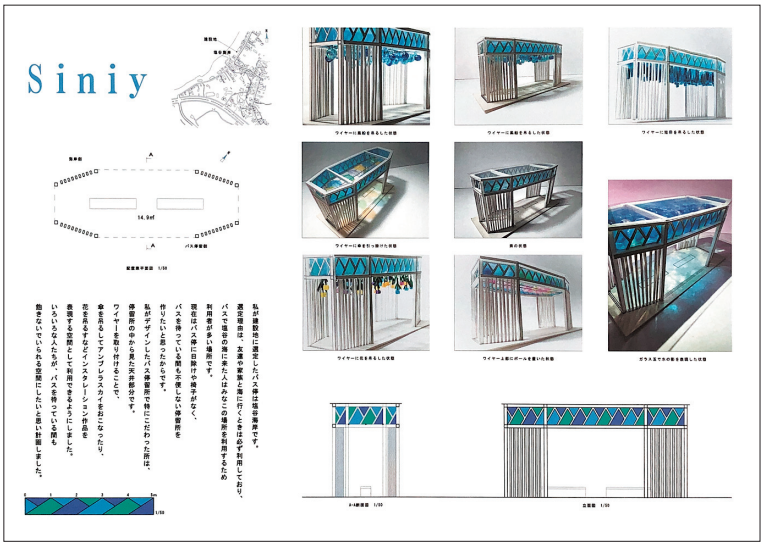
審査講評

小樽の街並みをイメージしたオーソドックスなデザインながらバリアフリーへの十分な配慮など、図面表現を含めバランス良くまとめているプランが評価された。

佳　作

北海道小樽未来創造高等学校

成田　菜々（２年）



作品名「Siniy」

設計主旨

私が建設地に選定したバス停は塩谷海岸です。選定理由は、友達や家族と海に行くときは必ず利用しており、バスで塩谷の海に来た人はみなこの場所を利用するため利用者が多い場所です。現在はバス停に日除けや椅子がなく、バスを待っている間も不便しない停留所を作りたいと思ったからです。私がデザインしたバス停留所で特にこだわった所は、停留所の中から見た天井部分です。ワイヤーを取り付けることで、傘につるしてアンブレラスカイをおこなったり、花を吊すなどインスタレーション作品を表現する空間として利用できるようにしました。いろいろな人たちが、バスを待っている間も飽きないでいられる空間にしたいと思い計画しました。

審査講評

芸術的なアンブレラスカイや花のインスタレーションを取り込んだデザインセンスやそれをしっかり伝える図面表現が評価された。

佳　作

北海道函館工業高等学校

小倉　愛加（３年）

作品名「Libro illustrato dei ricordi」

設計主旨

図書館前のバス停留所を設計しました。図書館をイメージして本の形を柱に利用し、色は背景の図書館の壁に合わせて、赤を主に茶色・黄土色の煉瓦にしました。そして、その本には表表紙と裏表紙を年代によって違う懐かしい絵本のタイトルやイラストを描いてあります。幼い自分や両親を思い出す場所、バスの待ち時間で話題の尽きない時間を思い出す場所を設計しました。屋根は、切妻屋根に本の形をした瓦を並べ、シンプルでお洒落感を表現でき、不思議な雰囲気になるようにしました。全体的にお洒落シンプルなデザインが特徴なため目立ちすぎず、図書館に似たような雰囲気にしました。停留所の椅子では、本を重ねた椅子にすることで外観だけでなく、内観にもこだわりました。

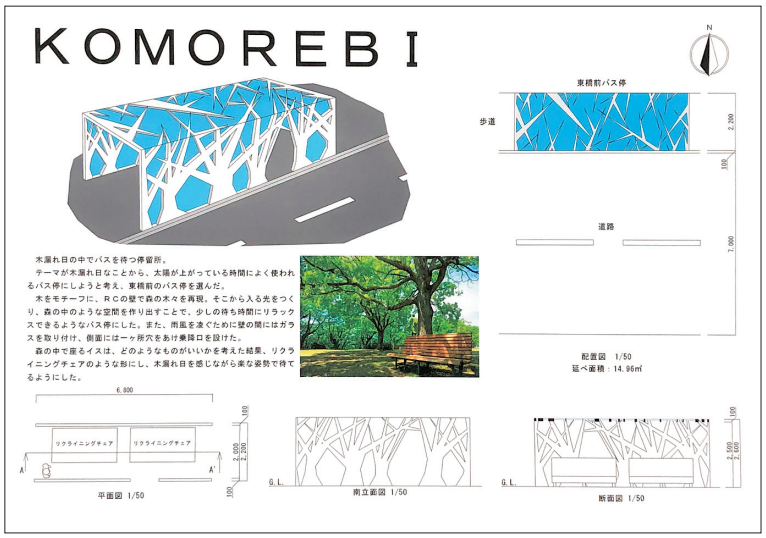
審査講評

図書館側のバス停で本をモチーフに図書館へ行くのが楽しみになるデザインや高校生らしい若々しい図面表現が評価された。

佳　作

北海道留萌高等学校

佐々木　淳（３年）



作品名「KOMOREBI」

設計主旨

木漏れ日の中でバスを待つ停留所。
テーマが木漏れ日なことから、太陽が上がっている時間によく使われるバス停にしようと考え、東橋前のバス停を選んだ。
木をモチーフに、RC の壁で森の木々を再現。そこから入る光をつくり、森の中のような空間を作り出すことで、少しの待ち時間にリラックスできるようなバス停にした。また、雨風を凌ぐために壁の間にはガラスを取り付け、側面には一ヶ所穴をあけ乗降口を設けた。
森の中で座るイスは、どのようなものがいいかを考えた結果、リクライニングチェアのような形にし、木漏れ日を感じながら楽な姿勢で待てるようにした。

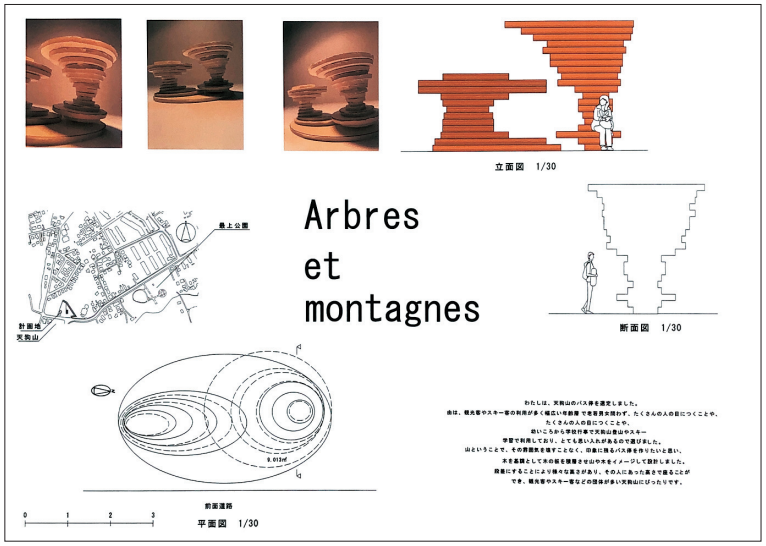
審査講評

森の中というリラックス空間をモチーフにコンセプト（写真）のイメージをシンプルながら忠実に表現し、実物を見てみたいと思わせるデザインが評価された。

特別賞

北海道小樽未来創造高等学校

安藤　匠汰（３年）



作品名「Arbres et montagnes」

設計主旨

わたしは、天狗山のバス停を選定しました。理由は、観光客やスキー客の利用が多く幅広い年齢層で老若男女問わず、たくさんの人の目につくことや、幼いころから学校行事で天狗山登山やスキー学習で利用しており、とても思い入れがあるので選びました。山ということで、その雰囲気を壊すことなく、印象に残るバス停を作りたいと思い、木を基調として木の板を積層させ山や木をイメージして設計しました。段差にすることにより様々な高さがあり、その人にあった高さで座ることができ、観光客やスキー客などの団体が多い天狗山にぴったりです。

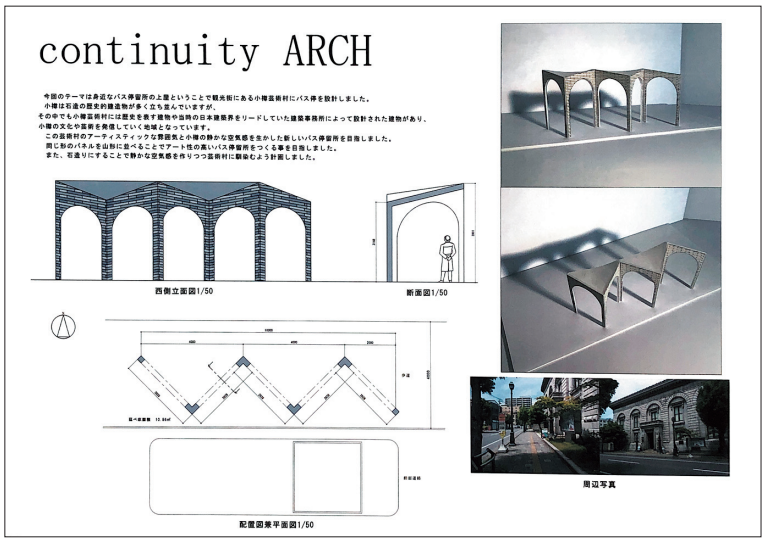
審査講評

シンプルな円形を重ね合わせた優れた造形美とバス停に必要な仕様をみごとに調和させたプランが評価された。

特別賞

北海道小樽未来創造高等学校

保坂　璃人（３年）



作品名「continuity ARCH」

設計主旨

今回のテーマは身近なバス停留所の上屋ということで観光街にある小樽芸術村にバス停を設計しました。
小樽は石造の歴史的建造物が多く立ち並んでいますが、その中でも小樽芸術村には歴史を表す建物や当時の日本建築界をリードしていた建築事務所によって設計された建物があり、小樽の文化や芸術を発信していく地域となっています。
この芸術村のアーティスティックな雰囲気と小樽の静かな空気感を生かした新しいバス停留所を目指しました。同じ形のパネルを山形に並べることでアート性の高いバス停留所をつくる事を目指しました。
また、石造りにすることで静かな空気感を作りつつ芸術村に馴染むよう計画しました。

審査講評

立地条件や小樽の歴史的建造物の特性をシンプルな造形と存在感のあるデザインで表現しており、拡張性も考えられたプランが評価された。

令和３年度高校生デザインコンクール応募者名簿

■北海道小樽未来創造高等学校

- 阿部　彩華［３年］
- 井浦　隼汰［３年］
- 岡本　和士［３年］
- 越智妃里乃［３年］
- 佐藤　蓮太［３年］
- 滝澤　　空［３年］
- 千葉啓太郎［３年］
- 日和　　勝［３年］
- 舩木くるみ［３年］
- 村上　穂凪［３年］
- 山本　雄大［３年］
- 伊藤　正太［２年］
- 大湯　海斗［２年］
- 工藤　凜梨［２年］
- 中川　裕也［２年］
- 長谷川真央［２年］
- 湊　　柚綺［２年］
- 和田　夢亜［２年］
- 安藤　匠汰［３年］
- 大宮　蒼太［３年］
- 奥山　雪乃［３年］
- 麻績　綺音［３年］
- 庄木　ゆい［３年］
- 竹生　亮太［３年］
- 原　　恭生［３年］
- 福井　未来［３年］
- 保坂　璃人［３年］
- 森山　悟士［３年］
- 吉田　　樹［３年］
- 内村　　澪［２年］
- 工藤　千朋［２年］
- 須藤　　蓮［２年］
- 成田　菜々［２年］
- 本間　雄斗［２年］
- 輪島　慧杜［２年］

■北海道苫小牧工業高等学校

（全日制）

- 更科　碧音［３年］
- 前田　幸汰［３年］
- 三浦颯一朗［３年］
- 中村　圭太［３年］

以下２名グループ

- 伊藤　一夢［３年］
  柴田　大空［３年］
- 西垣　拓哉［３年］
  工藤　滉将［３年］
- 奥山　　瞬［３年］
  越智　琉矢［３年］
- 早坂　亮哉［３年］
  西村　理沙［３年］

- 石川新之助［３年］
  石川　　歩［３年］
- 棟方　亮羽［３年］
  中山　温陽［３年］
- 福嶋　　匠［３年］
  水野　泰聖［３年］
- 蓑島　拓真［３年］
  柳生　尚也［３年］
- 立川　拓夢［３年］
  千葉　颯哉［３年］
- 蛯名　純也［３年］
  大宮　颯太［３年］
- 髙橋　　麗［３年］
  高橋　優菜［３年］
- 加藤　達也［３年］
  石井　陽希［３年］
- 川口さくら［３年］
  芹野　　駿［３年］
- 藤原　　渉［３年］
  早田　健将［３年］
- 髙﨑　　光［３年］
  万城目倫翔［３年］
- 木戸　章裕［３年］
  木下　颯人［３年］
- 鈴木　健太［３年］
  菅原　大翔［３年］

（定時制）

- 高橋　鉄三［３年］

■北海道函館工業高等学校

- 相原　柚奈［３年］
- 稲垣　寧央［３年］
- 小川　真礼［３年］
- 木村　　心［３年］
- 小林　佳音［３年］
- 髙橋　祐衣［３年］
- 福田　　倭［３年］
- 三浦　桜乃［３年］
- 山谷　遥奈［３年］
- 川口　輝羅［２年］
- 菊地　　愛［２年］
- 木村　　絢［２年］
- 四十物谷鷹翔［３年］
- 臼木　諒月［３年］
- 小倉　愛加［３年］
- 越崎陽奈美［３年］
- 瀬川　桃彩［３年］
- 長岡　幸希［３年］
- 藤島　達也［３年］
- 三品　響季［３年］
- 渡邉　　佑［３年］
- 川村　友稀［２年］
- 北嶋　未椛［２年］
- 小林　莉子［２年］

- 佐々木亜里沙［２年］
- 中川実乃里［２年］
- 平井　唯翔［２年］
- 前田雄樹冬［２年］
- 向平　果鈴［２年］
- （その他１名）［２年］
- 谷口　蒼樹［２年］
- 野呂　風花［２年］
- 藤島七海斗［２年］
- 宮川　加鈴［２年］
- 安田　未咲［２年］

■北海道留萌高等学校

- 小野　耀大［３年］
- 齋藤　　光［３年］
- 佐々木創士郎［３年］
- 佐藤　唯斗［３年］
- 谷口　秀吾［３年］
- 宗像　龍輝［３年］
- 村山　太陽［３年］
- 横尾　憩人［３年］
- 工藤　瑛［３年］
- 佐々木　淳［３年］
- 佐藤　　快［３年］
- 澤田　　翼［３年］
- 三浦　收翔［３年］
- 村上　陸斗［３年］
- 守屋　音楽［３年］

■北海道帯広工業高等学校

- 青江　麻菜［３年］
- 西川　凜花［３年］
- 今井　葉月［３年］
- 山下　　愛［３年］

高校別応募作品一覧

学　校　名	応募作品数	参加人数
北海道小樽未来創造高等学校	35	35
北海道苫小牧工業高等学校（全日制・定時制）	22	39
北海道函館工業高等学校	35	35
北海道留萌高等学校	15	15
北海道帯広工業高等学校	4	4
計	111	128

【設計会館】の竣工について

設計会館の建設については、令和２年10月に工事請負契約を締結し（工期：令和２年10月８日～令和４年１月31日）、工事を進めてきたところですが、令和４年１月20日㈭に、建物の引き渡しを受け、令和４年２月１日㈫から、この新たな事務所【設計会館】で、業務をおこなっています。

■施設概要

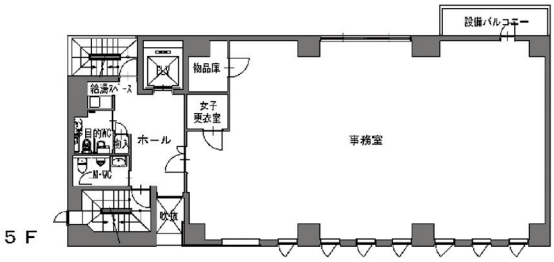
発 注 者：三共電気工業株式会社、一般社団法人北海道建築士事務所協会
設計監理：６・６ビル設計共同企業体
施 工 者：株式会社田中組
工　　期：令和２年10月８日～令和４年１月31日
所 在 地：札幌市北区北６条西６丁目２番地（札幌駅西出口300ｍ、道庁まで400ｍ）
敷地面積：292.74㎡（88.55坪）
構造階数：鉄筋コンクリート造　地上９階建　PH １階
建築面積：212.87㎡（64.39坪）　　建蔽率：72.72%
延床面積：1,802.05㎡（545坪）　　容積率：599.2%
１階～６階　床面積362.6坪：三共電気工業株式会社が区分所有
７階～９階　床面積182.4坪：一般社団法人北海道建築士事務所協会が区分所有
９階　床面積60.8坪：一般社団法人　北海道建築士事務所協会　本部
一般社団法人　北海道建築士事務所協会　札幌支部
一般社団法人　日本建築構造技術者協会　北海道支部
一般社団法人　北海道設備設計事務所協会
８階　床面積60.8坪：貸会議室
７階　床面積60.8坪：公益社団法人　日本建築家協会北海道支部

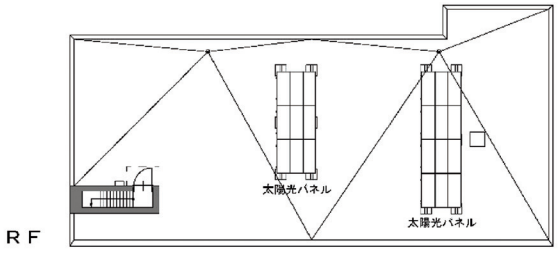
東側外観

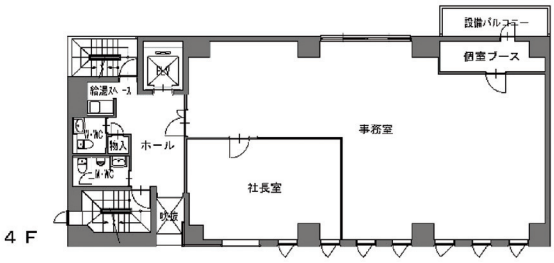
９階当協会事務室

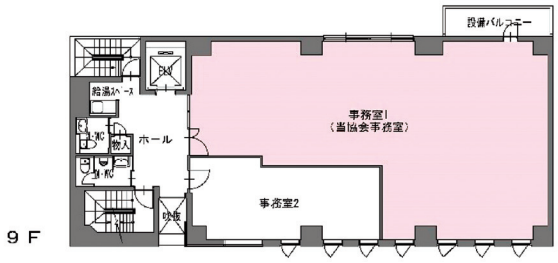
８階大会議室

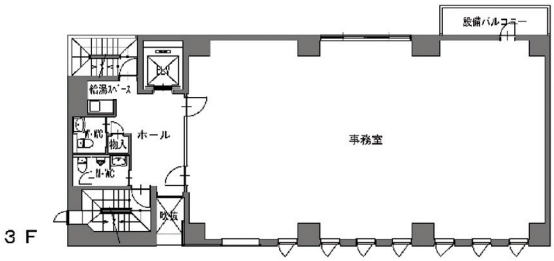
６階共創空間

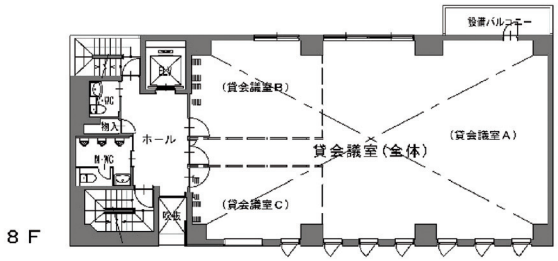

5 F
設備バルコニー
物品庫
給湯スペース
女子更衣室
目的WC
ホール
事務室
M・WC
吹抜

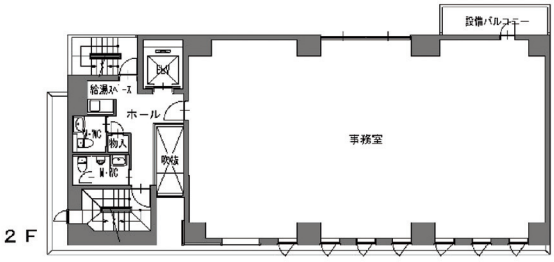

R F
太陽光パネル
太陽光パネル

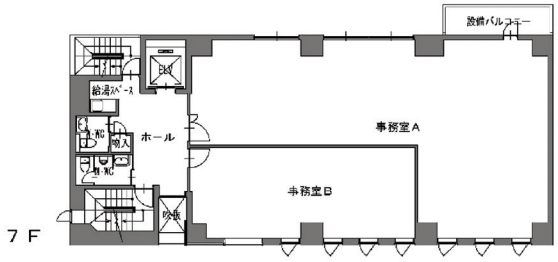

4 F
設備バルコニー
個室ブース
給湯スペース
ホール
事務室
社長室
吹抜


9 F
設備バルコニー
給湯スペース
ホール
事務室1
（当協会事務室）
事務室2
吹抜

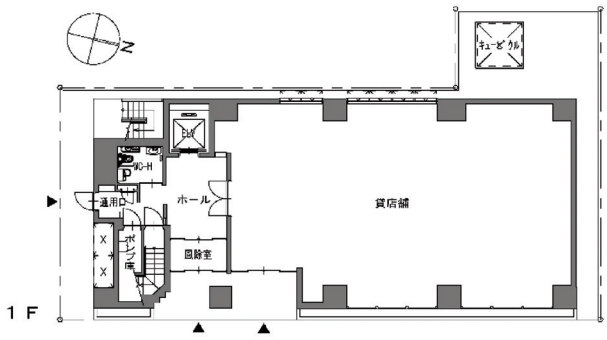

3 F
設備バルコニー
給湯スペース
ホール
事務室
吹抜

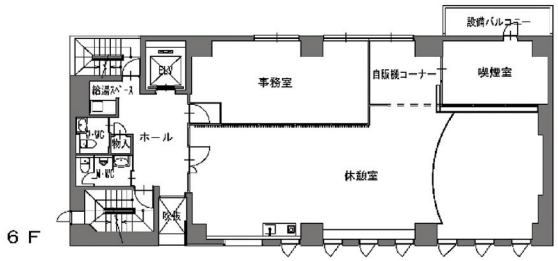

8 F
設備バルコニー
（貸会議室B）
ホール
貸会議室（全体）
（貸会議室A）
（貸会議室C）
吹抜


2 F
設備バルコニー
給湯スペース
ホール
事務室
吹抜


7 F
設備バルコニー
給湯スペース
ホール
事務室A
事務室B
吹抜

当協会所有分


1 F
N
キュービクル
ホール
貸店舗
通用口
回除室


6 F
設備バルコニー
給湯スペース
ホール
事務室
自販機コーナー
喫煙室
休憩室
吹抜

創立 70 周年記念式典・祝賀会

設計会館竣工祝賀会

令和 4 年 11 月 4 日㈮

一般社団法人　北海道建築士事務所協会

創立 70 周年記念式典・祝賀会の開催について

当協会は、昭和 27 年 5 月 28 日に社団法人北海道建築設計監理協会として設立し、今年で、70 周年を迎えました。また、今年は、自社ビルである［設計会館］が令和 4 年 1 月に竣工し、同年 2 月 1 日からは、新たな事務所で業務が開始されております。

この記念すべき節目ですが、人類が久々に経験するパンデミック（新型コロナ感染症）のため、式典等の開催を躊躇していたところでしたが、感染防止に配慮して令和 4 年 11 月 4 日㈮、ロイトン札幌にて開催いたしました。この式典等には、行政関係者、建築関係団体をはじめ、日事連児玉会長、日事連北海道東北ブロックを構成する東北 6 県の全会長が出席くださり、盛大に開催することができました。これもひとえに会員皆様の支えがあったことによるもので、お礼申し上げます。

一般社団法人北海道建築士事務所協会年表

西　暦	和　暦	経過年数	創立記念	会　長	特　記　事　項
1952	S27			福岡　五一	
1953	S28	1		福岡　五一	
1954	S29	2		福岡　五一	
1955	S30	3		福岡　五一	
1956	S31	4		林　　哲也	
1957	S32	5		林　　哲也	
1958	S33	6		林　　哲也	
1959	S34	7		林　　哲也	
1960	S35	8		宮地　鉄也	
1961	S36	9		宮地　鉄也	
1962	S37	10		宮地　鉄也	設立 10 周年（士会と共催）
1963	S38	11		宮地　鉄也	
1964	S39	12		池田　　恵	
1965	S40	13		池田　　恵	
1966	S41	14		池田　　恵	
1967	S42	15		池田　　恵	
1968	S43	16		池田　　恵	
1969	S44	17		池田　　恵	
1970	S45	18		吉田三郎平	
1971	S46	19		吉田三郎平	
1972	S47	20		吉田三郎平	
1973	S48	21		吉田三郎平	
1974	S49	22		吉田三郎平	
1975	S50	23		吉田三郎平	
1976	S51	24		橋本　理助	
1977	S52	25		橋本　理助	
1978	S53	26		橋本　理助	
1979	S54	27		橋本　理助	
1980	S55	28		橋本　理助	
1981	S56	29		橋本　理助	
1982	S57	30		岩見田良夫	
1983	S58	31		岩見田良夫	第 8 回全国大会（北海道大会）
1984	S59	32		岩見田良夫	
1985	S60	33		岩見田良夫	
1986	S61	34		齋藤　久名	

西　暦	和　暦	経過年数	創立記念	会　長	特　記　事　項
1987	S62	35		齋藤　久名	
1988	S63	36		齋藤　久名	
1989	S64、H元	37		齋藤　久名	
1990	H 2	38		齋藤　久名	
1991	H 3	39		齋藤　久名	
1992	H 4	40		庄司希代彦	
1993	H 5	41		庄司希代彦	
1994	H 6	42		庄司希代彦	
1995	H 7	43		庄司希代彦	
1996	H 8	44		貝田　新吉	
1997	H 9	45		貝田　新吉	
1998	H10	46		鉄川　　昭	
1999	H11	47		鉄川　　昭	
2000	H12	48		鉄川　　昭	
2001	H13	49		鉄川　　昭	
2002	H14	50	創立 50 年	鉄川　　昭	第 27 回全国大会（北海道大会）
2003	H15	51		鉄川　　昭	
2004	H16	52		鉄川　　昭	
2005	H17	53		鉄川　　昭	
2006	H18	54		吉田　　宏	H18.12.20 建築士法改正（法定団体）
2007	H19	55		吉田　　宏	
2008	H20	56		吉田　　宏	
2009	H21	57		吉田　　宏	
2010	H22	58		西村　　武	
2011	H23	59		西村　　武	
2012	H24	60	創立 60 年	西村　　武	
2013	H25	61		西村　　武	H25.1.4 一般社団法人に移行
2014	H26	62		西村　　武	
2015	H27	63		西村　　武	
2016	H28	64		庄司　雅美	
2017	H29	65		庄司　雅美	
2018	H30	66		庄司　雅美	
2019	H31、R元	67		庄司　雅美	
2020	R 2	68		庄司　雅美	設計会館着工
2021	R 3	69		庄司　雅美	
2022	R 4	70	創立 70 年	庄司　雅美	設計会館竣工
2023	R 5	71		庄司　雅美	
2024	R 6	72			

一般社団法人
北海道建築士事務所協会

創立70周年

記念式典 ・ 祝賀会
設計会館竣工祝賀会

2022年(令和4年)11月4日(金)

一般社団法人北海道建築士事務所協会

来賓祝辞

国土交通省北海道開発局
局長　**石塚　宗司**

一般社団法人北海道建築士事務所協会が創立７０周年を迎えられたことに心よりお慶び申し上げます。

貴協会は、昭和２７年に創立以来、７０年の長きにわたり、北海道の建築設計業界の健全な発展と技術の向上、技術者の育成など多大な貢献をされてこられました。

この間、貴協会の運営にご尽力されました関係各位並びに会員の皆様のご功労に対し深く敬意を表す次第であります。

ご承知のように、我が国は2020年10月に「2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言しました。 2021年10月に閣議決定された地球温暖化対策計画では、業務部門においてエネルギー起源ＣＯ２排出量を2013年度比51％削減するといった目標が設定されており、建物でのエネルギー消費量を大きく減らすことができる省エネ手法を用いたＺＥＢ・ＺＥＨの普及がカーボンニュートラルの実現に向けて求められています。北海道開発局におきましても、官庁施設を新築する場合は、「官庁施設の環境保全性基準」に基づき、ＺＥＢの実現を目指すなど環境保全性の水準を満たしつつ、脱炭素化を目指した施設整備等を実施しています。

今後、施策推進のためには、設計を担う専門家である建築士事務所の存在は欠かせません。引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、令和元年６月に「公共工事の品質確保の促進に関する法律」が改正され、建築設計業務を含む「調査等」が法律の対象として位置づけられるとともに、働き方改革の推進に対応する見直しが行われました。建築設計業務受注者の働き方改革の一層の推進のためには、公共事業の発注者として足並みをそろえて取組むことが重要と考えているところです。当局では「適正な履行期間」「履行時期の平準化」「業務環境の改善」などに十分配慮の上、適正な建築設計業務委託に努めてまいります。

貴協会におかれましても７０年間の経験と実績を踏まえ、より一層活発な事業活動を展開され、担い手の確保・育成、生産性の向上などに取り組んでいただくことをご期待申し上げます。

一般社団法人北海道建築士事務所協会の一層のご発展と、会員の皆様のご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

来賓祝辞

北　海　道
知事　**鈴木　直道**

一般社団法人北海道建築士事務所協会が創立７０周年の節目を迎えられたことを心からお祝い申し上げます。

貴協会は、昭和２７年の創立以来、建築士事務所の業務の適正な運営と健全な発展、建築主の利益の保護に努められ、本道における建築文化の向上に大きく貢献されてこられました。庄司会長をはじめ、歴代の役員や会員の皆様のこれまでのご尽力に対し、深く敬意を表します。

また、建築士事務所登録など道の指定事務所登録機関としての業務や、建築士事務所の業務の適正化や建築士の資質・能力の向上などを目的とした管理建築士講習の実施など、建築士法業務の円滑な推進にご尽力いただくとともに、震災建築物の応急危険度判定の支援体制の確保や、創造性豊かな建築物等を表彰する「北海道赤レンガ建築賞」、次代を担う若者の夢のあるアイディアを公募する「高校生建築デザインコンクール」の取組など、道の施策に多大なお力添えをいただいており、心から感謝申し上げます。

近年、世界各地で異常気象による自然災害が発生し、道内においても、大きな被害をもたらす大雨が頻発化するなど、気候変動問題を踏まえた脱炭素化への対応は喫緊の課題となっており、こうした中、道では、２０５０年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボン北海道」の実現に向けて、多様な主体との連携・協働のもと、低炭素な社会づくりを進めています。

多くの暖房エネルギーを消費する積雪寒冷地の本道においては、住宅や建築物の省エネ化が重要であることから、道としては、北方型住宅をはじめとした省エネ性能の高い建築物の整備や創エネルギーの導入など、脱炭素化の取組を推進してまいりますので、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

貴協会の皆様におかれましては、創立７０周年を契機として、会員相互の絆をますます深められますとともに、今後とも、北海道の特色を最大限生かし、良質で安全な建築物の設計・監理や建築文化向上の活動を通じて、本道のさらなる発展に大きな役割を果たされることをご期待申し上げます。

結びに、北海道建築士事務所協会のますますのご発展、並びに会員の皆様のご健勝とご活躍を心から祈念し、お祝いの言葉といたします。

来賓祝辞

札　幌　市
市長　**秋元　克広**

この度、一般社団法人北海道建築士事務所協会が創立70周年という記念すべき節目を迎えられましたことに、心からお祝い申し上げます。

会員の皆様におかれましては、創立以来、建築士事務所の業務の適正な運営と健全な発展、建築士事務所に設計等を委託する建築主の利益の保護を図ることを通じ、建築文化の向上と公共の福祉の増進にご尽力されてこられましたことに、深く敬意を表します。また、新型コロナウイルス感染症の影響下、感染拡大防止策に取り組みつつ、道民・市民の皆様の快適な生活環境を支える都市の整備にご尽力いただいている会員の皆様に心から感謝申し上げます。

札幌市においては、昭和４７年の札幌冬季オリンピック大会の開催や政令指定都市への移行の時期に建てられて、老朽化などにより更新時期を迎えている建築物も多く、まちをリニューアルする時期を迎えており、今後建替え等の需要が高まってくることが予想されます。

これに応えていくには、建築物の設計・監理を専門とし、高い技術と豊富な経験を有する会員の皆様のお力が今後ますます重要となってくるものと考えております。

私たちのまち札幌は、本年、市制施行１００周年、政令指定都市移行５０周年という大きな節目を迎えたところであり、次の１００年も魅力と活力を創造し続けるまちであり続けることを目指し、歩みを続けてまいりたいと考えております。

今後、札幌市においても人口構造に変化が生じることが予想されることや世界の社会経済状況が大きく変わっていくことが見込まれる中、札幌市を取り巻く様々な課題を解決に導き、持続可能なまちづくりを着実に進めていくため、今後10年の新たなまちづくりの基本的な指針となる「第２次札幌市まちづくり戦略ビジョン（ビジョン編）」について、札幌市議会の議決をいただいたところです。この先、札幌のまちの大きな転機となる様々な出来事が予定される中、市民、企業、行政などの多様な主体が札幌市の目指すべきまちの姿とまちづくりの方向性を共有し力を結集してまちづくりを進めていくことが、札幌のまちを新たなステージに押し上げていくことになると確信しており、会員の皆様には引き続き、札幌市政の推進にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、北海道建築士事務所協会のますますのご発展と、会員の皆様のご健勝、ご活躍を心からお祈り申し上げまして、私からのお祝いの言葉とさせていただきます。

来賓祝辞

一般社団法人日本建築士事務所協会連合会
会長　**児玉　耕二**

北海道建築士事務所協会の創立70周年おめでとうございます。長い年月に亘って協会の発展に尽力されてきた歴代会長をはじめ役員の方々、ならびに会員の方々の努力の賜物であると心よりお慶び申し上げます。また、同時に貴協会が中心となって建築設計界の活動拠点となる設計会館の建設を企画され、この度竣工の運びとなりましたことは創立70周年と併せ誠に喜ばしく慶賀の至りであります。重ねてお祝い申し上げます。

貴協会では、建築設計界への寄与、社会への貢献および会員へのサービスを三本柱に協会活動を積極的に推進されてきており、地域社会に根を張り寄り添いながら、専門家として地道に社会貢献を果たされてきた功績は北海道民の皆様からも高く評価されているところであり、敬意を表します。

人口減少に伴い都市機能は変化し、都市インフラの更新改造が迫られております。また、コロナ禍に加えて近年気候変動の影響もあり自然災害の頻発が懸念されています。東日本大震災や胆振東部地震など今でも記憶に新しいところですが、地震や雪害などの自然災害リスクへの備えも怠ることなく、社会ニーズに沿いながら安全安心の家づくりや街づくりに専門家として貢献していくことが求められ、今後大いに期待されているところであります。地域の負託に応え、専門家として社会に貢献していく貴協会の活動が社会からの信頼を得てより活性化し、業界の更なる発展に繋がるものと確信しています。また、貴協会は全国に先駆けてYouTube等を利用して広報活動にも注力されており、建築士事務所協会に対する市民の理解を広める活動にも熱心に取り組まれていることは特筆に値する功績であり感謝しています。

創立して70年という長い歴史の間には建築設計界も大きく変化し、建築士事務所の業務内容も社会ニーズに対応して様相を変え、また建築士事務所協会の存在意義も変わってきました。いま少子高齢化が進み、団塊の世代が引退していく中、将来を見据えては、次代を担う若者の育成や支援に注力し事務所協会の活性化に努めていくことが重要であります。

創立70周年をひとつの節目にして貴協会が次の時代に向けて新たな一歩を踏み出し、更に成長発展していかれるものと期待しております。

貴協会のこれからの益々の発展と会員の方々のご健勝を祈念申し上げ、私の挨拶とさせて頂きます。

創立70周年 記念式典式辞

一般社団法人北海道建築士事務所協会
会長　庄司　雅美

本会は、昭和２７年５月、社団法人北海道建築設計監理協会として設立されました。今日までを振り返りますと、平成２１年に改正建築士法において「建築士事務所協会」が法定団体として規定され、「社団法人北海道建築士事務所協会」と名称変更を行い、平成２５年１月には、公益法人法改正により「一般社団法人北海道建築士事務所協会」へと移行し、現在に至っています。

この間、時代は大きく変化しましたが、本会も時代の変遷と共に齢を重ね本年、創立から７０年を迎えることとなりました。「常なるものはない」の言葉通り、常に変化していく社会の中にあって、７０年という長い間、本協会が存続してこられたのは、その時代と共に必要とされる社会的意義があったものと痛感しており、改めて身が引きしまる思いがいたします。このことは、ひとえにこれまで当協会を支えてくださった各界の多くの皆様、諸先輩、現会員の皆様のご支援、ご厚情の賜物と深く感謝申し上げます。

われわれは、今日まで、「建築界のため」「社会（消費者）のため」「会員のため」に、「より役に立つ協会」を目指して参りましたが、コロナ禍にあって、時代は大きな転換点にあります。特に「ＤＸによるデジタル化」や「地球環境保全に向けたカーボンニュートラル」への対応、ＢＩＭによる設計業務の業態の変化等、建築設計界を取り巻く環境は大きく変貌しようとしています。時代の要請を真摯に受け止め、スピード感をもって対応して行く必要があります。

われわれが目指してきた「より役に立つ協会」は、なお一層多くの方から求められていくものであり、期待される社会的意義を再認識して、この先も継続して推進していかなければならないものと考えております。

今年は、われわれの予てよりの念願であった、本会が所有する「設計会館」が完成しました。これは、会員の熱い思いと心のこもった寄付のおかげであり、改めてお礼申し上げます。また、私たちの活動をご理解いただきご協力くださった土地所有者との出会いが大きく、区分所有という形で実現しました。

この設計会館には、いくつかの建築設計関係団体にも入居いただき、お互いが交わることで相乗効果が生まれ、大きなうねりとなって社会に貢献できると共に、建築設計界の発展に寄与していく所存です。

結びになりますが、創立７０周年記念式典・祝賀会ならびに設計会館竣工祝賀会開催にあたり、深いご理解とご支援、ご協力を賜りました関係各位に、心から感謝申し上げますと共に、今後とも、益々のご指導、ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

創立70周年 記念式典

司会　森 順子

次 第

開 式
建築士事務所憲章の朗読
来賓紹介
式 辞
一般社団法人北海道建築士事務所協会 会長 **庄司 雅美**
来賓祝辞
北海道建設部 建築企画監 **細谷 俊人**
札幌市 都市局長 **中村 範仁**
一般社団法人日本建築士事務所協会連合会 会長 **児玉 耕二**
物故者黙祷
永年勤続表彰
閉 式

創立70周年 記念祝賀会
三共電気6･6ビル設計会館 竣工祝賀会

司会　森 順子

次 第

開 会
挨 拶
一般社団法人北海道建築士事務所協会 会長 **庄司 雅美**
三共電気工業株式会社 代表取締役 **萩本 哲夫**
来賓挨拶
公益財団法人建築技術教育普及センター 北海道支部長 **中岡 正憲**
株式会社北洋銀行 取締役 **山田 明**
表 彰
祝杯･開宴
社会福祉法人渓仁会 理事長 **谷内 好**
アトラクション
クラシック音楽演奏
乾杯･閉宴
一般財団法人北海道建築指導センター 理事長 **椿谷 敏雄**
閉 会

創立70周年 記念式典永年勤続表彰

［20年以上本部及び支部役員として協会の発展に貢献した者］

札幌支部	川幡宏一	(株)総合開発設計
後志支部	赤石達也	赤石建設(株)
紋別支部	舟山賢一	舟山建設(株)一級建築士事務所
紋別支部	藤野屋幸道	(株)藤野屋建設
日高支部	土井宗太郎	土井建築設計事務所
根室支部	佐々木昭次	(株)テラジマ

三共電気6・6ビル設計会館 竣工祝賀会表彰

設計監理　**6・6ビル設計共同企業体**
株式会社ホクテイ建築事務所、株式会社総合開発設計
株式会社中山設計事務所、株式会社西塚構造事務所
株式会社ビーゴーイング

施工　**株式会社田中組**

設計会館建設協力金等顕彰

設計会館９階ホールに設置しています
ご協力に対し心より感謝申し上げます

創立70周年 記念式典・祝賀会来賓名簿

北海道

北海道建設部建築企画監	細谷　俊人
北海道建設部建築指導課長	清水　浩史

札幌市

札幌市都市局長	中村　範仁

関係団体等

公益財団法人建築技術教育普及ｾﾝﾀｰ北海道支部長	中岡　正憲
独立行政法人住宅金融支援機構北海道支店長	東原　文彦
独立行政法人住宅金融支援機構北海道副支店長	佐藤　純也
北海道立総合研究機構北方建築総合研究所建築性能試験ｾﾝﾀｰ長	飯沼　義範
一般財団法人北海道建築指導ｾﾝﾀｰ理事長	椿谷　敏雄
公益社団法人日本建築家協会北海道支部長	小西　彦仁
一般社団法人日本建築構造技術者協会北海道支部長	渡邊　和之
公益社団法人日本建築積算協会北海道支部長	富田　克己
一般社団法人北海道建築士会会長	高野　壽世
一般社団法人北海道設備設計事務所協会会長	山田　　修
一般社団法人建築設備技術者協会会長	里中　雅幸
北海道インテリアプランナー協会会長	杉山　宗英
一般社団法人北海道建設業協会専務理事	山崎　引善
一般社団法人北海道空調衛生工事業協会会長	池田　　薫
一般社団法人北海道電業協会副会長	鈴木　暁彦
三共電気工業株式会社代表取締役	萩本　哲夫

日事連

一般社団法人日本建築士事務所協会連合会会長	児玉　耕二
一般社団法人青森県建築士事務所協会会長	加藤　　彰
一般社団法人岩手県建築士事務所協会会長	佐々木　章
一般社団法人宮城県建築士事務所協会会長	髙橋　清秋
一般社団法人秋田県建築士事務所協会会長	村田　良太
一般社団法人山形県建築士事務所協会会長	原　　行雄
一般社団法人福島県建築士事務所協会会長	安藤　正道

顧　問

弁護士法人小寺・松田法律事務所所長	小寺　正史
一般社団法人北海道建築士事務所協会顧問（第12代会長）	吉田　　宏
一般社団法人北海道建築士事務所協会札幌支部顧問（第7代支部長）	飯田　　実

創立70周年 記念式典・祝賀会出席会員名簿

札幌支部
(株)愛夢
(株)アクティ建築設計
(株)浅井建築設計事務所
(株)アトリエK
(株)アトリエブンク
(株)荒川建築事務所
岩田地崎建設(株)
(株)岩見田・設計
(株)unica
(株)岡田設計
(株)さがら設計事務所
(株)サン設計事務所
(株)白樺設計
(株)総合開発設計
大平洋建業(株)
(株)髙木設計事務所
武ダ技建創(株)
(株)田中建築設備事務所
(株)テクノクルー
(株)DESIGN　FIELD
(株)ドーコン
(株)都市設計研究所
(株)中山設計事務所
(有)奈良建築環境設計室
(株)西塚構造事務所
(株)西村建築設計事務所
日本クリエート(株)
日本建設(株)札幌支店
(株)日本工房
日本都市設計(株)
(株)ノース建築設計
東日本工建(株)
(株)ビープラン
(株)福本構造設計
(株)古田設計事務所
(株)北海道建築総合研究所
(株)ホクテイ建築事務所
堀松建設工業(株)
(株)横河建築設計事務所
(株)渡辺建築設計

函館支部
(株)小南建築設計事務所
(株)三関建築設計事務所
東興アイテック(株)

桧山支部
(有)ｵｵﾌﾙ建築設計事務所
亀田工業一級建築士事務所

後志支部
北の杜(合)建築設計事務所

小樽支部
阿部建設(株)

空知支部
(株)中田建築設計

旭川支部
(株)柴滝建築設計事務所
(株)ノア設計

名寄支部
大野土建　(株)
(株)大野組

留萌支部
興北建設　(株)
(有)大沼ベニヤ商会

宗谷支部
(株)ＹＨコンサル

網走支部
土屋工業　(株)

北見支部
(株)清和設計事務所
(有)アトリエ・ロゴス

紋別支部
(有)栗原測量設計事務所

苫小牧支部
(有)本田建築事務所

日高支部
エーシー企画
ｱｰｷﾚｯｸｽ一級建築士事務所

十勝支部
(株)創造設計舎
(有)北創ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ
(株)モリ建築設計室

釧路支部
(株)斉藤譲一設計事務所
(有)ﾀｶ・ｱｰｷﾃｯｸ建築士事務所
(株)武田建築設計事務所
(株)長谷川建築設計事務所
三浦建築設計事務所

根室支部
第一宅建設計(株)

賛助会員
會澤澤高圧ｺﾝｸﾘｰﾄ(株)
(株)川本鉄工所
元旦ビューティ工業(株)
(株)北川組鉄工所
北電力設備工業(株)
クローバーシステム(株)
(株)坂下積算
三協立山(株)三共ｱﾙﾐ社
(株)シオン
(株)鈴木工業所
(株)タカフジ
大建工業(株)
日本鍍金工業(株)
(株)ビルセス
フルテック(株)
文化シャッター(株)
北海道不二サッシ(株)
(株)淀川製鋼所
ＹＫＫ　ＡＰ(株)

第 44 回建築士事務所全国大会（熊本大会）の開催について

建築士事務所全国大会は、全国の建築士事務所が一堂に会し、建築設計監理業の公共性と社会的役割に対する意識の高揚を図り、以て建築士事務所の業務の進捗改善に努め、社会の期待に応えるより良い環境づくりに積極的に貢献することを目的として毎年度開催されています。しかし、新型コロナウイルスの世界的なまん延により一昨年度、福井大会が中止され、昨年度は、熊本大会が中止となりました。これは、いずれも新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止せざるを得なかったものです。

建築士事務所の全国大会は、昭和 51 年の東京大会を皮切りに、令和元年の福島大会まで 33 回にわたり開催されてきましたが、コロナ禍のため、令和 2 年、令和 3 年と 2 年連続して中止になりました。しかし、今年は、万全の対策を講じ、各方面の理解のもと、3 年ぶりに第 44 回建築士事務所全国大会が熊本市で開催されました。熊本大会のテーマは「大自然の脅威に耐えて今　そして未来へ」で、大会のスローガンは、「環境の変化に立ち向かい歴史と伝統を守りながら、新しい建築文化とまちづくり挑戦する。」でした。これは、平成 28 年には熊本地震、令和 2 年には豪雨に直面した開催地熊本ならではのテーマ、スローガンで、私たち建築士事務所協会は、安全安心なまちづくりや建築文化の向上に寄与して行かなければならないことが宣言されております。なお、令和 5 年度以降の開催は、下記の順で行われることが決定しておりますが、このコロナ禍が一日も早く収束し、無事開催されることを願っております。

○全国大会のあゆみ

第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 6 回	第 7 回	第 8 回	第 9 回	第 10 回
東京	京都	栃木	広島	山形	神奈川	大阪	北海道	福岡	愛知
第 11 回	第 12 回	第 13 回	第 14 回	第 15 回	第 16 回	第 17 回	第 18 回	第 19 回	第 20 回
宮城	東京	岡山	沖縄	兵庫	秋田	石川	長野	鹿児島	香川
第 21 回	第 22 回	第 23 回	第 24 回	第 25 回	第 26 回	第 27 回	第 28 回	第 29 回	第 30 回
滋賀	岩手	静岡	千葉	長崎	山口	北海道	奈良	富山	埼玉
第 31 回	第 32 回	第 33 回	第 34 回	第 35 回	第 36 回	第 37 回	第 38 回	第 39 回	第 40 回
東京	大分	東京	愛媛	東京	東京	三重	東京	茨木	東京
第 41 回	第 42 回	第 43 回	第 44 回	第 44 回	第 44 回				
和歌山	東京	福島	中止	中止	熊本				

■日事連建築賞（一般建築部門・奨励賞）　楽 水山

株式会社竹中工務店 北海道一級建築士事務所（札幌支部）

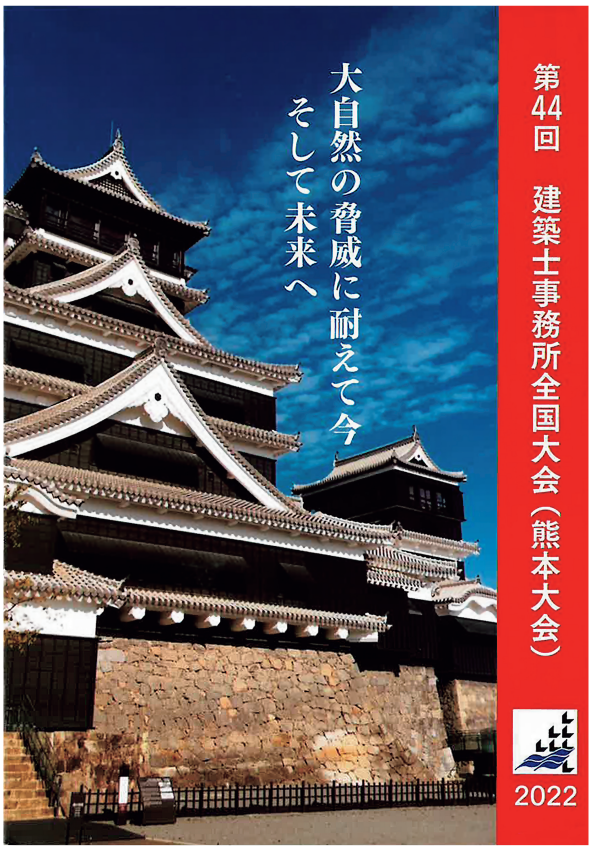
■令和 4 年度　日事連功労者表彰受賞者 札幌支部　福本雅之氏

○令和 5 年度以降の全国大会の開催予定

令和 5 年度　鳥取大会　（鳥取会と島根県の合同開催）

大会式典、記念パーティ等　令和 5 年 10 月 13 日㈮予定

令和 6 年度　福井大会


大自然の脅威に耐えて今
そして未来へ
第44回　建築士事務所全国大会（熊本大会）
2022

第44回建築士事務所全国大会（熊本大会）パネルディスカッション
これからの人・まち・建築を、熊本から考える
少子高齢化・人口減少による超縮小社会に加え、予測できない自然災害の頻発、先の見えないコロナ禍と、これまで経験して来なかった未曾有の社会環境に生きる中で、私たちはどのような生き方をすべきなのか。そしてまちづくりはどのようなものであるべきなのか。さらに建築のあるべき姿とは―
建築、土木、まちづくりの境界を超え、多角的かつ独創的に第一線で活躍している専門家諸氏を迎え、震災や水害を経験した熊本からその可能性について考えます。

第44回 建築士事務所全国大会 熊本大会
大自然の脅威に耐えて今 そして未来へ

日事連建築賞

一般建築部門・奨励賞

楽 水山

株式会社竹中工務店北海道一級建築士事務所（札幌支部）

建設地：虻田郡倶知安町
用　途：ホテル
構　造：木造・鉄骨造 一部 鉄筋コンクリート造
階　数：地上２階　地下１階
面　積：敷地面積／22,625.34 m²　建築面積／3,179.79 m²　延面積／3,426.30 m²

栄誉を称えて

本年度、以下のとおり、当協会の会員の方々がそれぞれ賞を受賞されました。この受賞は、受賞された方々がいずれも経営者として、また、業界の優れた指導者として、建築業界の発展や地域社会の振興に努力されてきたことが認められたもので、私たち会員にとって大変喜ばしいことです。受賞された皆様、誠におめでとうございます。

受賞された方々、受賞された賞などについては以下のとおりです。

○　知事表彰

北海道産業貢献賞（建設関係功労者）

住宅都市行政全般にわたり長年業界の発展、行政の推進に努め、その功績が大きな個人又は団体（個人：不動産業、住宅産業又は都市整備に係る建設事業等に 20 年以上携わり、業務に精励し、他の模範となる者）

木原　宗孝 氏（日高支部）

（一社）北海道建築士事務所協会理事（日高支部長）
エーシー企画　代表

○　日事連表彰

日事連年次功労者表彰

日事連又は単位会の運営若しくは事業の実施に関して著しい功績を挙げ、日事連の発展に寄与した者

（日事連推薦）

庄司　雅美 氏（会長　本部）

（一社）北海道建築士事務所協会会長
㈱ホクテイ建築事務所　代表取締役

（単位会推薦）

福本　雅之 氏（札幌支部）

（一社）北海道建築士事務所協会札幌支部
㈱福本構造設計　取締役会長

○　協会表彰

永年勤続等表彰

本会の発展に特に功績・功労のあった者（役員及び支部役員として、通算 20 年以上在任した者）

川幡　宏一　氏（副会長　札幌支部）

（一社）北海道建築士事務所協会副会長（札幌支部）
㈱総合開発設計　代表取締役

赤石　達也　氏（後志支部）

（一社）北海道建築士事務所協会後志支部監事
赤石建設㈱　代表取締役

寺西　政二　氏（北見支部）

（一社）北海道建築士事務所協会北見支部理事
㈲設計同人アルファ　代表取締役

舟山　賢一　氏（紋別支部）

（一社）北海道建築士事務所協会紋別支部理事
舟山建設㈱一級建築士事務所　代表取締役

藤野屋幸道　氏（紋別支部）

（一社）北海道建築士事務所協会紋別支部理事
㈱藤野屋建設　代表取締役

土井宗太郎 氏（日高支部）

（一社）北海道建築士事務所協会日高支部顧問
土井建築設計事務所　代表

後藤田直樹 氏（十勝支部）

（一社）北海道建築士事務所協会十勝支部理事
㈱東光コンサルタント　代表取締役

成田　　斉 氏（十勝支部）

（一社）北海道建築士事務所協会十勝支部理事
成田建築設計事務礎　代表

佐々木昭次 氏（根室支部）

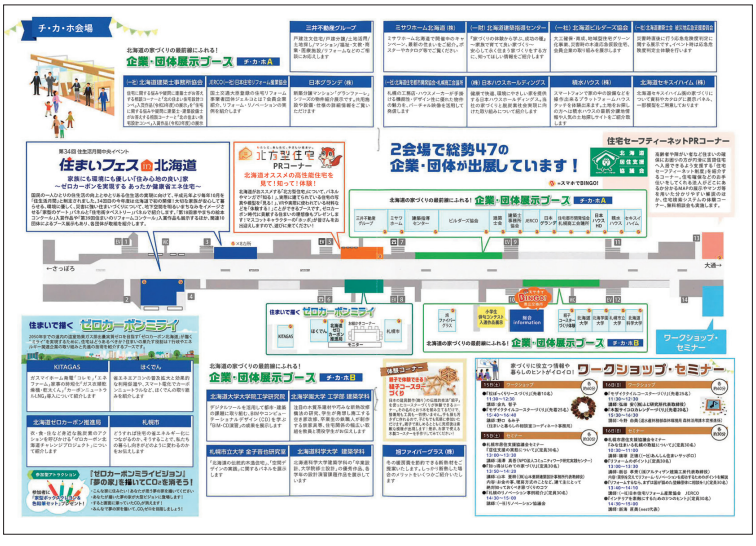
（一社）北海道建築士事務所協会根室支部監事
㈱テラジマ　代表取締役

「ほっかいどう住宅フェア」への参加

国土交通省では、毎年 10 月を「住生活月間」と定め、広く国民に住生活、住環境に関する知識や理解を深めてもらうため、イベントを開催しています。このイベントは、毎年いずれかの都道府県で開催していますが、今年は、北海道札幌市において「ほっかいどう住宅フェア」が、札幌市北 3 条広場「通称：アカプラ」と「札幌駅前通地下歩行空間「通称：チカホ」を会場として、令和 4 年 10 月 15 日㈯、16 日㈰に開催されました。このイベントは住生活月間の中で中央イベントとして位置づけられますが、コロナ禍から、ここ数年リアルの開催が出来ないでいました。今回の開催は、平成 30 年の栃木県宇都宮市開催依頼、4 年ぶりのリアル開催となりました。当協会では、「ほっかいどう住宅フェア」の趣旨に賛同し、「ほっかいどう住宅フェア実行委員会」のメンバーとして参画するほか、出展もいたしました。出展内容は、当協会が主催している「北の住まい」住宅設計コンペの入賞作品を展示すると共に、一般の方々を対象にした「住宅相談」のコーナーを設置しました。

ほっかいどう
住宅
フェア
2022
住まいはミライ！
住宅のイマにふれ、暮らしと地球環境のミライを感じる一大イベント！
2022
10/15 SAT 9:00~19:00
・16 SUN 10:00~18:30
会場 アカプラ チ・カ・ホ 札幌市北3条広場 札幌駅前通地下歩行空間
10/15-16 住まいフェア in 北海道
北海道いわみざわ大会 会場／岩見沢スポーツセンター
10/15-16 第38回 全国耐うう会
10/15 北総研シンポジウム
「これからの住まいのあり方」
会場／かでる2・7
主催 ほっかいどう住宅フェア実行委員会
お問い合わせ 事務局／札幌市中央区南2条東3丁目（株）ノヴェロ内 Tel.011-281-6680(平日9:30~17:30)
ほっかいどう住宅フェア2022 WEBサイト

アカプラ会場
北海道の家づくりの最前線にふれる！
企業・団体展示ブース アカプラA
イチバ物語
(株) ヒルコ
大和ハウス工業 (株)
岩倉化学工業 (株)・おしもり (株)
大平洋建業 (株) NeoHouse
(株) スウェーデンハウス
YKK AP (株)
(株) 一幸工務店
2会場共通
北海道のスマイルをつなぐ！
スマホ de BINGO!
抽選で豪華プレゼントをゲット！
QRコードを読み込んでBINGOスタート！
北海道の木材の魅力にふれる！
HOKKAIDO WOODゾーン
北海道の家づくりの最前線にふれる！
企業・団体展示ブース アカプラA
北海道の家づくりの最前線にふれる！
企業・団体展示ブース アカプラB
AOZORA DINING
北海道の美味しいグルメが食べられるキッチンカーが集合！
Lucci
Kukuru
ほおの
K&Lスマイル
ハピスカー
フェリシタット
市原精肉店
PIZZERIA Lucci


チ・カ・ホ会場
北海道の家づくりの最前線にふれる！
企業・団体展示ブース チ・カ・ホC
三井不動産グループ
ミサワホーム北海道 (株)
(一社) 北海道建築指導センター
(一社) 北海道ビルダーズ協会
(一社) 北海道ビルダーズ協会
(一社) 北海道住宅都市開発協会・札幌エコ住宅
日本グランデ (株)
(株) 日本ハウスホールディングス
(株) 日本ハウスホールディングス
北海道セキスイハイム (株)
第34回 住生活月間中央イベント
住まいフェア in 北海道
家族にも環境にも優しい住み心地の良い家
～ゼロカーボンを実現する あったか健康省エネ住宅～
北方型住宅 PRコーナー
北海道オススメの高性能住宅を
見て！知って！体験！
住宅セーフティーネットPRコーナー
2会場で総勢47の
企業・団体が出展しています！
北海道の家づくりの最前線にふれる！
企業・団体展示ブース チ・カ・ホB
住まいで描く ゼロカーボンライフ
KITAGAS
ほくでん
北海道住宅カーボン推進局
札幌市
「ゼロカーボンライフ」
「夢の家」を描いてCOOを消そう！
北海道の家づくりの最前線にふれる！
企業・団体展示ブース チ・カ・ホC
北海道大学大学院工学研究院
北海学園大学 工学部 建築学科
札幌市立大学 デザイン学部
北海道科学大学 建築学科
(株) 北海道二十一世紀総合研究所
ワークショップ・セミナー

事務所協会とご縁と父と

札幌支部理事　西村　　元（株式会社西村建築設計事務所 代表取締役）

私が初めて事務所協会にかかわったのは第27回の全国大会が北海道で開催された2002年の準備が始まった頃でした。今年は創立70周年の行事並びに設計会館竣工と、あの頃からかなり月日は流れました。私事ですが、その間、結婚して子どもが生まれ体重が増え老眼にもなりました。母も看取りました。年を重ねる事は嬉しくもあり悲しくもあり。

少しあの頃を振り返ってみます。

何もわからない中、総務委員会で札幌支部の相良さんにくっついて会議に出ておりましたと言うかただ座っていました。何、難しい事言っているのだろう、早く終わらないかなその上、寝てしまい今思えばひどいものですね。それでも色々な所に、チョロチョロと顔を出しているうちに、よく皆さんに飲みに連れて行って頂きました。飲んで歌って、そこでも人との繋がりを教えていただきました。そのころからでしょうか。ご縁の輪が広がっていったのは。庄司会長には全国大会で披露するアトラクションのキッパーズのお店等にも連れて行ってもらいました。すべてが新鮮でしたウイスキーとレーズンバターの美味しかった事。そのころ父はどういう立ち位置にいたのかはわかりませんがよく当時の札幌支部事務局長の難波さんと楽しく飲んでいた姿を思い出します。次は父の事を語ります。

父との一番古い記憶は私が5・6才のころだと思います。

父は29歳で設計事務所を立ち上げ20代であれば失敗してもとの思いで起業。

昭和の時代のど真ん中、仕事に追われながらの徹夜・徹夜の毎日。

約束していた動物園当日、行けなくなって泣いて怒った私の事を後に懐かしく酒を飲みながら話してくれました。私は当然覚えておりませんが。

忙しい中ではありましたが夕方2人で家の近くをよく手をつなぎ散歩して2・3歩、歩くたびに、ぎゅっと手を握ってくれました。そんな時間がとても子どもながら贅沢な時間でした。

そんな父は2010年4月にから2015年まで北海道の会長としてお世話になりました就任したころの記事がありますので。

「匠の技」を子どもたちに

「厳しさを
　胸に抱きて
　　来る年の
匠の技を
　教え伝えよ」

「ぼくはね、日記のかわりによく歌を書いてるんです」
西村はそういって、細い目をなお一層細めて笑う。
「この歌は、ぼくが会長になった日に、日記に書いたものなの。『厳しさ』というのは、先ほどいった建築業界の厳しさね。そして、建築業界が厳しいとなると、子どもたちが建築士をめざさなくなって、優秀な人が来なくなっちゃう。それをなんとか食い止めるような活動にも力を入れていかなきゃならない。そんな自戒の意味も込めて書いたんです」

創立60周年記念誌　激動の10年、そして強い絆…未来へより

自分の父ですが、改めて本当についている人だなと思います。2020年2月多くの皆様より褒章のお祝いをしていただき感謝でした、その数日後からはコロナで世の中のすべてが止まり1週ずれていればあの式典も幻となっていたでしょう。嬉しかったと思います。

父は今私とは別で暮らしておりますが、元気でおります。また皆様とお酒を飲みたいと思いますのでその時はどうぞ宜しくお願い致します。

とりとめのない文章になりましたお付き合いいただきありがとうございました。最後になりますが

皆様とのご縁に感謝いたします。

ウィズコロナで活動再開
（旭川の未来を創る新たな試み）

旭川支部　大熊　博之（広報委員長）

一般社団法人北海道建築士事務所協会旭川支部は、昭和 25 年に「旭川設計監理協会」として発足し、以来昭和 35 年に「北海道建築設計監理協会旭川支部」昭和 60 年に「㈳北海道建築士事務所協会」へと改組を重ね 72 年が経過し、現在は正会員 59 社、賛助会員 41 社、計 100 社という団体に成長してきました。

過去 10 年間の活動を振り返ると、多くの自然災害、世界中を巻き込んだコロナ社会、世界経済を揺るがす諸外国間の緊張状態などにより、社会全体の生活スタイルが大きく変わろうとしてきています。

会員・賛助会員へのアンケートによる「旭川の魅力」の調査を行いました。

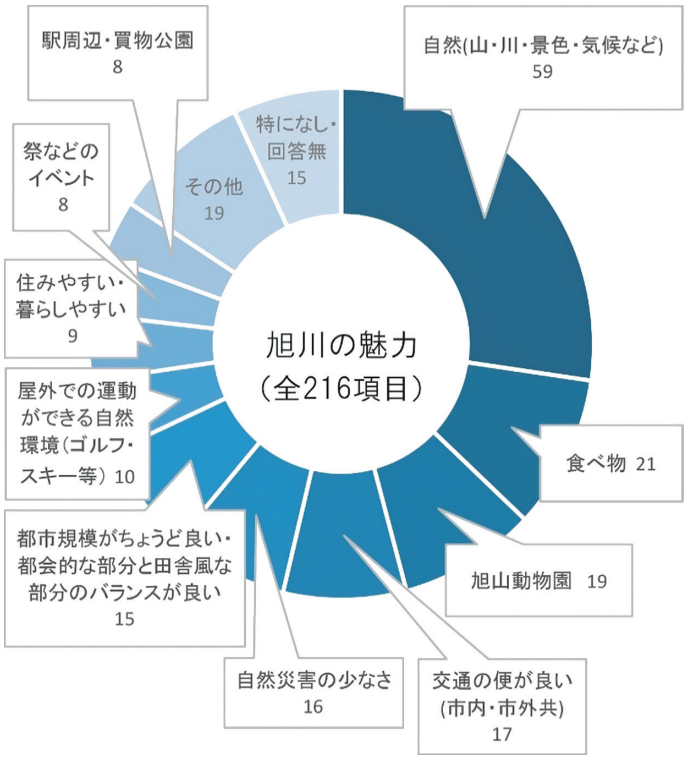
結果は予想通り自然や旭山動物園についての内容が多数となり、グラフの通りとなりました。自然に関する内容は、**大雪山連峰、四季の風景、川、寒暖差**、等についての魅力でした。

その他についての内容は、**医療の充実、家具等の木製品、不動産を取得しやすい価格**、等です。

また少数意見として、**『旭川は彫刻の街』、『高齢者にやさしい「まちづくり」が可能』、『かつて「音楽の街」と謳われた旭川』、『ゆったりした人柄やアットホームな所』、『観光資源・暮し**

「旭川の魅力」―アンケート結果―

※216 項目・12 種別に分類



易さなどポテンシャルの高さ』、『様々な生き方や趣味に対応できるポテンシャル』、『北の丘には工芸の村が有り、人名を尊び、心を豊に育み、楽しい語らいの三六街が有る』、『働く人々や、作家、ダンス、建築など多様な人々が世界で活躍し、またふるさとを愛している事』という回答がありました。

まさにこの辺りにヒントが隠されているような気がします。

最後に 2 年前に発行した創設 70 周年記念誌の中で掲げたテーマです。

メインテーマ～世代を超えた多様な生き方が映える都市をめざして

サブテーマ　～旭川の未来を創る新たな試み

旭川支部は、これからの先を見据え、今だからできること、何をしなければならないのかを考え、世代を超えて多様な生き方が映える都市をめざして活動していきます。

広報委員会は、その活動を分かりやすく発信していきたいと思います。

建築士事務所登録等事務の業務について

建築士又は建築士を使用する者は、他人の求めに応じ報酬を得て、次の業務を業として行おうとするときは、建築士事務所を定めて、その建築士事務所について、北海道知事が指定した指定事務所登録機関の登録を受けなければならず、その登録の有効期間は5年と定められています（建築士法第23条、第23条の2、第26条の4）。また、無登録業務は建築士法で禁止されており、違反した場合には罰則に処せられます（建築士法第23条の10、第38条）。

(建築士事務所の業務)

1　建築物の設計
2　建築物の工事監理
3　建築工事契約に関する事務
4　建築工事の指導監督
5　建築物に関する調査若しくは鑑定
6　建築物の建築に関する法令若しくは条例の規定に基づく手続きの代理

一般社団法人北海道建築士事務所協会では、平成2年4月1日より、北海道からの委託により、19支部が受付窓口となり、建築士事務所登録等事務の業務を実施してきましたが、改正建築士法（平成18年12月20日法律第114号）第26条の3第1項の規定に基づき、平成22年2月17日付け建指第2570号指令をもって北海道知事から指定事務所登録機関に指定され、平成22年4月1日から指定事務所登録機関としての業務を開始しました。

〈建築士事務所登録のオンライン化〉

令和3年6月18日に閣議決定された「規制改革実施計画」において、「地方公共団体と事業者の間の手続のデジタル化」に向けた取り組みを行う事が決定されました。

これにより令和4年8月1日より建築士事務所の新規登録のみオンライン申請を開始しました。

これまでの紙による申請とオンライン申請が並行して行われています。

(指定事務所登録機関の業務)

1　業務内容
　建築士事務所の登録等事務
　登録簿及び所属建築士名簿の閲覧事務
2　業務の実施方法
　事務所登録等の事務は、本部で行います。ただし、登録等の受付事務及び閲覧事務は、各支部で行うこととし、本部と19支部が専用パソコンによる回線で結ばれ、専用スキャナの活用により業務の厳正かつ公正な執行と迅速化を図ることとしています。

［建築士事務所の登録の状況（令和4年9月30日）］

			登録数	会員	会員以外
建築士事務所			4,161	1,008	3,153
	一級・二級・木造別	一級	2,550	751	1,799
		二級	1,604	255	1,349
		木造	7	2	5
	個人・法人別	個人	1,099	135	964
		法人	3,062	873	2,189
建築士事務所に属する建築士					
	一級・二級・木造別	一級	4,054	1,702	2,352
		二級	4,171	1,200	2,971
		木造	21	9	12

設計等の業務に関する報告書に係る事務について

平成 19 年 6 月 20 日施行の改正建築士法により、建築士事務所の開設者は、毎事業年度経過後 3 カ月以内に、設計等の業務に関する報告書（業務報告書）を作成・提出することが義務付けられることになりました（改正建築士法第 23 条の 6 ）。この業務報告書は、一般の閲覧に供せられることとされており、当該建築士事務所がどのような業務の実績があるかを建築主や消費者に情報開示することを目的としています。なお、未提出又は虚偽の記載をした場合には、罰則が規定されており行政処分の対象にもなります（建築士法第 41 条第 1 項）。

（報告内容）

1　業務の実績
　当該事業年度における当該建築士事務所の実績の概要

2　所属建築士名簿
　当該建築士事務所に属する建築士の氏名、一級・二級・木造建築士の別及び構造一級・設備一級建築士の別、登録番号並びに定期講習受講歴、管理建築士はその旨

3　所属建築士の業務の実績　所属建築士ごとの当該事業年度における業務の実績（当該建築士事務所におけるものに限る）

4　管理建築士による意見の概要　建築士事務所の開設者に対して述べられた意見（技術的観点からその業務が円滑かつ適正に行われるようにするための意見）の概要

なお、設計等の業務に関する報告書に係る事務については、平成 21 年 4 月 1 日から平成 22 年 3 月 31 日までは、北海道からの委託事業として行い、平成 22 年 4 月 1 日以降は、北海道との協定により当協会が指定事務所登録機関として実施しています。北海道との協定では、次の業務を行っています（業務経費については、建築士事務所登録手数料より支出）。

（指定事務所登録機関の業務）

1　設計等の業務に関する報告書の受付、内容確認、総合振興局・振興局への進達（各支部）

2　建築行政共用データベースシステム（建築士・事務所登録閲覧システム）への入力（本部）

3　未提出の建築士事務所への文書による督促（本部）

4　設計等の業務に関する報告書の閲覧（各支部）

［設計等の業務報告書の提出状況］

	令和 3 年 4 月 1 日～ 令和 4 年 3 月 31 日	令和 4 年 4 月 1 日～ 令和 4 年 9 月 30 日
建築士事務所数	4,192	4,161
業務報告書受付件数	3,542	2,339
提出率	84.5%	56.2%
業務報告書督促件数	1,936	1,595
督促率	46.2%	38.3%

建築士定期講習

平成 17 年 11 月に建築物の構造計算偽装事件をはじめ相次いで発覚した類似の事件によって失われた建築物の安全性と建築士制度に関する国民の信頼を回復するために、平成 18 年に建築基準法と建築士法がそれぞれ改正されました。このうち、「建築士の資質・能力の向上」、「高度な専門能力をもつ建築士による設計［構造設計・設備設計］」、「設計・工事監理業務の適正化と消費者への情報開示」等を目的とする平成 18 年 12 月改正建築士法は、平成 20 年 11 月 28 日に施行され、建築士を対象とした各種講習制度が創設されました。このことにより、設計・工事監理等の業務を「業」として行う建築士は、業務を実施するのに必要な能力を確実に身につけておく必要があることから、建築士事務所に所属している一級建築士、二級建築士又は木造建築士には、３年ごとに定期講習を受講することが義務付けられ、受講しなかった場合には、戒告または２カ月間の業務停止処分の対象となりました（建築士法第 10 条第１項第１号、第 22 条の２）。

なお、講習は、建築士法に基づき、登録講習機関である「公益財団法人建築技術教育普及センター」の実施協力機関として当協会及び一般社団法人北海道建築士会が実施しております。

今年度定期講習は、５月 20 日㈮の札幌市を皮切りに、全道８市 12 会場で開催されました。

［建築士定期講習の受講者数］

開催地	開催月日	開催会場	受講者数
札幌市	5 月 20 日㈮	北海道自治労会館	95
	7 月 1 日㈮	北海道自治労会館	105
	9 月 15 日㈭	設計会館　8 階会議室	26
	10 月 13 日㈭	設計会館　8 階会議室	30
函館市（北斗市）	6 月 9 日㈭	北斗市総合文化センター　かなで～る	65
旭川市	6 月 23 日㈭	旭川勤労者福祉会館	44
北見市	6 月 2 日㈭	北見市端野町公民館	42
	7 月 22 日㈮	北見市端野町公民館	34
室蘭市	7 月 6 日㈬	室蘭市市民会館	39
苫小牧市	6 月 17 日㈮	苫小牧市労働福祉センター	44
帯広市	7 月 5 日㈫	とかち館	61
釧路市	6 月 3 日㈮	釧路センチュリーキャッスルホテル	64
合計			649

管理建築士講習

管理建築士は、建築士事務所の業務に係る技術的な事項を総括する立場にあります。従前は、建築士であれば誰でもなることができましたが、平成 17 年 11 月に起きた建築物の構造計算偽装事件をはじめ相次いで発覚した類似の事件により、平成 20 年 11 月 28 日に改正建築士法が施行され、建築士事務所を管理する建築士（管理建築士）の要件が強化されました。この改正により、管理建築士となるには、建築士として 3 年以上の設計その他国土交通省令で定める業務に従事した後、国土交通大臣の登録を受けた登録講習機関が行う「管理建築士講習の課程を修了することとされました。

この講習は、当協会が、建築士法に基づく登録講習機関である公益財団法人建築技術教育普及センターの実施協力機関として、平成 20 年度は「管理建築士資格取得講習」、平成 21 年度からは「管理建築士講習」として実施しています。講習内容は、「建築士法その他関係法令に関する科目」及び「建築物の品質確保に関する科目」で、テキストを使用した講義と修了考査となっています。

今年度 3 月開催は、会場での講義を自宅等での動画視聴で、修了考査は、従来通り会場で受講いただきました。

7 月・10 月開催は、従来通り会場にて講義及び修了考査を受講いただき、札幌市で 3 回開催しました。

［管理建築士講習の受講者数］

開 催 地	開催月日	開 催 会 場	受講者数
札 幌 市	3 月 16 日㈬	設計会館 8 階会議室	15
	7 月 13 日㈬	設計会館 8 階会議室	17
	10 月 19 日㈬	設計会館 8 階会議室	6
合 計			38

適合証明技術者講習及び既存住宅現況検査技術者講習

「適合証明技術者」制度

この制度は、住宅金融支援機構の指定した登録機関に登録した建築士事務所に所属する建築士（適合証明技術者）が、フラット 35（中古住宅）、財形住宅金融（リ・ユース住宅）及びリフォーム融資を利用予定の希望者等の依頼に基づき、書類審査及び現地調査を行い、住宅金融支援機構の定める技術基準への適合性を確認する業務で、物件検査の結果、融資利用予定の住宅が技術基準に適合する場合には、融資希望者に対して「適合証明書」が交付される。

「既存住宅現況検査技術者」制度

この制度は、平成 29 年 2 月に創設された既存住宅状況調査技術者講習制度による新しい技術者資格です。宅地建物取引業法の改正により、平成 30 年 4 月より、中古住宅の売買の際に行われる重要事項説明に、既存住宅状況調査を実施している場合にはその結果について説明することが義務づけられました。この調査を行うことができるのは、既存住宅状況調査技術者の資格を持つ者のみとなっており、従来のインスペクターの資格では行うことができません。

「適合技術者講習」及び「既存住宅現況検査技術者講習」の同時開催

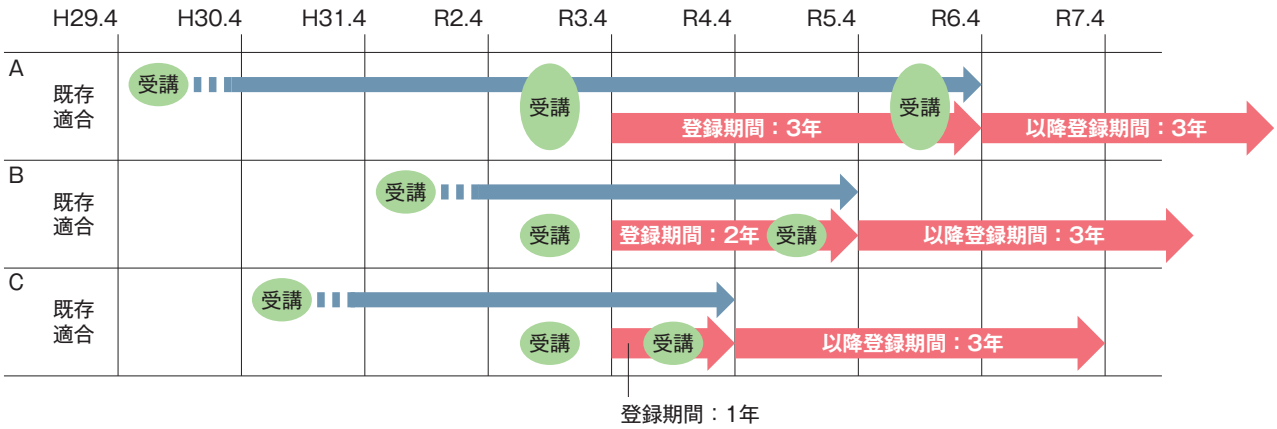
令和 2 年度より「既存住宅状況調査技術者」であることが、適合証明技術者の登録要件となり、既存住宅現況調査と住宅支援機構のフラット 35（中古住宅）等の調査のワンストップ化を図ることとしました。

既存住宅現況調査技術者の登録要件化に伴い、適合証明技術者の登録有効期間を既存住宅状況調査技術者の有効期限に合わせます。

また、3 年に一度の更新登録以外は、オンライン講習も実施することにしました。

3 月 31 日が、有効期間な事から、令和 2 年度登録と令和 3 年登録という状況が今後は生じる。

令和 5 年度は、「適合技術者」及び「既存住宅現況検査技術者」の 3 年更新登録を迎える受講者が多いことから、道内 4 市にて開催予定です。



「適合証明技術者講習及び既存住宅状況調査技術者講習」

⑴　適合証明技術者業務登録講習

開　催　日	会　　場	受講者数	備　　考
令和４年 ８ 月 18 日㈭	設計会館８階会議室	2	（令和４年度登録分）
令和４年 ９ 月 28 日㈬～ 10 月 11 日㈫	オンライン講習	5	（令和４年度登録分）
令和４年 11 月 30 日㈬～ 12 月 13 日㈫	オンライン講習	1	（令和４年度登録分）
合　　計		8	

⑵　既存住宅状況調査技術者登録講習（更新講習）

開　催　日	会　　場	受講者数	備　　考
令和４年 ８ 月 18 日㈭	設計会館８階会議室	3	（令和４年度登録分）
令和４年 11 月 １ 日㈫～ 11 月 21 日㈪	オンライン講習	0	（令和４年度登録分）
合　　計		3	

⑶　既存住宅状況調査技術者登録講習（新規講習）

開　催　日	会　　場	受講者数	備　　考
令和４年 ８ 月 18 日㈭	設計会館８階会議室	0	（令和４年度登録分）
令和４年 11 月 １ 日㈫～ 11 月 21 日㈪	オンライン講習	2	（令和４年度登録分）
合　　計		2	

震災復旧のための震災建築物の被災度区分判定基準および復旧技術指針講習会

建築物の震災後対策としては、地震発生直後に、余震等による建築物の倒壊及び部材の落下等による二次災害から住民の安全を確保するために建築物への立ち入りの可否等を判定する「応急危険度判定」と、応急危険度判定が実施された後等に震災建築物の復旧を目的として震災建築物の主として構造躯体に関する被災度区分判定を行い継続使用するための復旧の要否を判定するための「被災度区分判定」があります。

応急危険度判定については、平成 7 年 1 月 17 日に発生した阪神・淡路大震災において我が国で初めて本格的に実施され、その有益性の認識と経験を踏まえ、その後都道府県において応急危険度判定士の養成登録が行われるとともに、応急危険度判定を迅速かつ的確に実施するための全国組織として全国被災建築物応急危険度判定協議会が平成 8 年 4 月に設立されるなど体制の整備がなされています。

一方、応急危険度判定実施後等に、住宅相談も含め震災建築物の復旧のために必要な被災度区分判定の実施に関する体制の構築も急務の課題となっており、当協会では、平成 17 年度より被災度区分判定及び復旧業務を行うことができる建築士を育成することを目的に講習会を実施してきました。なお、講習会の受講修了者で希望する建築士に対し、一般財団法人日本建築防災協会より技術者証が発行され、さらにその建築士を有する建築士事務所で、希望する建築士事務所を対象に建築士事務所名簿を作成し日本建築防災協会及び日本建築士事務所連合会のホームページに掲載し、震災後対策として住宅相談や被災度区分判定等の活動が必要となった際の建築士事務所（建築士）の検索、協力要請等の資料として活用に供することとしています。平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災、また、平成 30 年 4 月に発生した熊本地震など、近年、大きな地震が相次いで発生しており、さらには、首都直下地震や南海トラフ地震などの大規模な発生が危険視されているが、平成 30 年 9 月の北海道胆振東部を震源とする地震が、この北海道でも発生し、41 名もの尊い命が失われる事態となり、この講習の必要性は、益々高まっています。

なお、この講習は、５年毎の更新ですが、昨年同様に、コロナ禍により中止とし、今年度も（一財）日本建築防災協会にて実施する WEB 講習を受講申込いただくよう、更新予定者に FAX にて通知しました。

開設者・管理建築士のための建築士事務所の管理研修会

平成 18 年 12 月に改正公布された改正建築士法のうち建築士事務所協会及び建築士事務所協会連合会の法定化に係る規定（第 7 章・第 27 条の 2 から 5）が平成 21 年 1 月 5 日に施行され、当協会は、建築士事務所業務の適正化と建築主の利益保護を担う団体として法律に位置づけられた所謂法定団体となりました。

この研修は、それまでの「建築士事務所の管理講習会・開設者研修会」に替え、建築士法に規定された法定団体である一般社団法人北海道建築士事務所協会及び一般社団法人日本建築士事務所協会連合会が、建築士法第 27 条の 2 第 7 項に基づく研修として実施したものです。

研修は、平成 25 年から実施していますが、建築士法の定めに基づくほか、北海道知事からの受講奨励の文書を発行してもらうほか、講師の派遣も受けて実施しています。また、研修は、建築士事務所の管理・運営を適切に進める上で把握しておくべき重要事項を網羅した内容となっており、5 年ごとの事務所登録更新の機会にあわせて受講することで、開設者、管理建築士の資質の維持向上を図り、業務委託者の期待に応えるべく業務の適正化や建築物の質の向上等を目指すことを目的としており、今年度は 5 年ぶりにテキストの大改訂をおこなっております。

今年度の研修会は、10 月 18 日㈫旭川市を皮切りに全道 5 市 5 会場で開催しました。

［開設者・管理建築士のための建築士事務所の管理研修会］

開催地	開催時期	開催場所	受講者数
旭川市	10 月 18 日㈫	旭川勤労者福祉会館	7
北見市	10 月 19 日㈬	北見市民会館	10
函館市（北斗市）	10 月 25 日㈫	北斗市総合文化センター かなで～る	17
釧路市	10 月 28 日㈮	釧路市生涯学習センター	16
札幌市	11 月 22 日㈫	北海道自治労会館	80
合計			130

建築士事務所キャンペーンについて

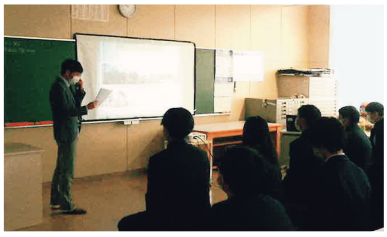
当協会及び建築士事務所の存在と活動を広く一般の方々に知っていただくため、毎年度、各支部主催で多彩な事業を行っている。今年度の「建築士事務所キャンペーン」事業は以下のとおりとなっている。

支部名	行　事　名	開 催 日	参加者数
札幌支部	木造住宅の耐震改修工事に関する市民向けセミナー	8 月 31 日(水)	10
	第 20 回「きらりと光る北の建築」賞　パネル展	11 月 5 日(土)～ 11 月 6 日(日)	800
後志支部	「第 15 回ふるさとを描こう」絵画コンクール	7 月 1 日(金)～ 12 月 4 日(日)	147 作品
小樽支部	北海道小樽未来創造高等学校への出前授業	9 月 29 日(木)	23
	北海道小樽未来創造高等学校への卒業制作に向けての レクチャー座学	10 月 12 日(水)	22
空知支部	2022 外壁リフォームフェア（建築無料相談会含む）	8 月 6 日(土)	100
十勝支部	10 士業合同＋帯広市建築開発課 くらしの「よろず」無料・相談会	11 月 6 日(日)	21

札幌支部
「市民向けセミナー」

札幌支部
「きらりと光る北の建築」賞　パネル展

後志支部
「ふるさとを描こう」絵画コンクール



小樽支部
「出前授業」

「レクチャー座学」

空知支部
「建築無料相談会」

十勝支部
くらしの「よろず」無料・相談会

令和４年度　委員会開催状況

当協会には、８つの委員会が設置されています。それぞれの委員会は、全道各支部から委員が参集し、協会運営についての様々な課題を検討するとともに「社会」「建築業界」「会員」に役立つ一般社団法人北海道建築士事務所協会であることを目指しています。

委員会名	開 催 日	議　　題
総務委員会	①　2月　7日㈪ （WEB 併用会議）	・令和４年度第１回理事会及び定時総会提出議案の事前審査について （理事会提出議案審査） ・令和３年度北海道赤れんが建築賞について ・令和３年度北海道知事表彰の決定について
	②　5月　9日㈪ （WEB 併用会議）	・設計会館の建設について ・日事連建築賞第一次審査 ・日事連年次功労者表彰候補者の推薦について
	③　7月 22 日㈮ （WEB 併用会議）	・令和４年度第５回理事会提出議案の事前審査について
	④ 12 月 16 日㈮ （WEB 併用会議）	・令和４年度第６回理事会提出議案の事前審査について
業務・技術委員会	①　6月 23 日㈭ （WEB 併用会議）	・「北の住まい」住宅設計コンペの実施について
	② 10 月 26 日㈬	〈設計競技審査委員会〉 ・第 47 回「北の住まい」住宅設計コンペ最終審査
	③ 12 月 12 日㈪	・第 47 回「北の住まい」住宅設計コンペ座談会･表彰式
広報委員会	①　6月 22 日㈬ （WEB 併用会議）	・会誌「hiroba（ひろば）」の発行について ・ほっかいどう住宅フェアへの出展について ・広報委員会の業務
	②　8月 30 日㈫ （WEB 併用会議）	・ほっかいどう住宅フェアの概要について ・会誌（hiroba）の作成について
教育・情報委員会	①　7月 20 日㈬ （WEB 会議）	・開設者・管理建築士のための建築士事務所の管理研修会について
指導委員会	開催なし	
IT 委員会	①　7月　4日㈪ ②　9月 13 日㈫	・マロニエ BIM 設計コンペティションについて ・マロニエ BIM 設計コンペティション状況報告
青年委員会	開催なし	
倫理委員会	開催なし	

行政等への要望活動

当協会では、建築士事務所の健全な発展と建築文化の向上を図るため、一般社団法人日本建築士事務所協会連合会（略称「日事連」）との連名で、毎年、北海道開発局営繕部長、北海道建設部建築企画監、札幌市都市局長へ当協会単独の要望書と併せて要望書を提出し、さらにこれ以外の市町村にはこの要望書を郵送しています。

昨年度は、コロナ禍の収束が見られないことから、北海道開発局への要望以外は、北海道、札幌市、その他全道市町村とも要望書を郵送しましたが、今年度は、感染防止対策を講じた上で、一昨年までと同じく要望活動を実施しました。また、自民党北海道支部連合会との「団体要望懇談会」には、これまでどおり参加し、建築士事務所の現状や当協会からの要望などについて意見交換を行いました。

1　北海道開発局への要望

要 望 日　令和４年８月 26 日㈮

出 席 者　（相手方）北海道開発局営繕部長ほか

（協　会）庄司会長、田所副会長、川幡副会長、松田副会長、中川事務局長

要望項目　下記のとおり

2　北海道への要望

要 望 日　令和４年８月 26 日㈮

出 席 者　（相手方）建設部建築企画監、住宅局長、建築局長、建築指導課長、計画管理課長

（協　会）庄司会長、田所副会長、川幡副会長、松田副会長、中川事務局長

要望項目　下記のとおり

3　札幌市への要望

要 望 日　令和４年８月 26 日㈮

出 席 者　（相手方）都市局長、建築指導部長

（協　会）庄司会長、田所副会長、川幡副会長、松田副会長、山田札幌支部事務局長

【共同要望項目】

①　建築物の設計・工事監理業務及び耐震診断・耐震改修に係る業務の発注に際しては、建築士法の規定に基づき、国土交通大臣が定めた業務報酬基準（告示 98 号及び告示 670 号）に準拠のうえ、「官庁施設の設計業務等積算基準・要領・運用」にならい、業務委託内容を明確化したうえで働き方改革に対応した発注を行うよう要望します。また、追加的な業務が発生した場合は適正な経費の積み上げがなされるよう強く要望します。

②　建築物の設計・工事監理業務の設計者選定に際しては、品確法等の趣旨に則り、建築物の規模や特性等に応じ技術的能力、提案内容などを参考にしたプロポーザル方式、設計競技方式、資質評価方式などを原則とし、その際価格による評価をしないよう、もしくはその比重を極力抑えるよう要望いたします。

やむを得ず価格競争による入札方式で設計者の選定をする場合は、適正な価格による「最低制限価格」の設定・引上げ、もしくは「低入札価格調査基準」を設定していただくよう強く要望いたします。

③　建築物の設計・工事監理業務の設計者選定に際しては、消費者保護の観点からも建築士法第24条の9に努力義務として定められた建築士事務所の賠償責任保険への加入にご配慮いただくよう要望いたします。

④　建築物の設計・工事監理業務の設計者選定に際しては、プロポーザル方式や総合評価方式等における評価基準として、品質確保の観点から、「建築CPD情報提供制度」（事務局：（公財）建築技術教育普及センター）の実績を活用していただくよう要望いたします。

【北海道単独要望】

（北海道）⑴　最低制限価格の設定範囲を予定価格の90％以上に引き上げていただきたい。

⑵　今後、紙媒体による申請とオンラインによる申請が併用となり、事務処理が複雑化することから申請手数料を増額の方向で見当していただきたい。

⑶　管理研修会の受講を建築士事務所登録の要件としていただ

（札幌市）上記⑴に同じ

4　自由民主党北海道支部連合会との懇談

日　　時　令和4年10月14日㈮10：30～11：00

場　　所　北海道議会4F「自民党中会議室」

出 席 者　（相手方）自民党道連松浦政務調査会長ほか

（協　会）庄司会長、田所副会長、川幡副会長、松田副会長

中川事務局長

【自民党への要望】

①　業務量の確保と事業の平準化

建築設計業の持続的な発展が図られるよう、安定的な公共工事事業量及び設計委託事業量確保していただきたい。また、所員の労働環境を改善するためにも事業量の平準化に取り組んでいただきたい

コロナ禍は収束の方向にあると思われるが、民間建築需要の減少傾向を補完するためにも公共事業量の確保になお一層の配慮をしていただきたい。

②　最低制限価格の引き上げについて

建築設計委託業務に係る発注に際して、最低制限価格の設定範囲を予定価格の90％以上に引き上げていただくよう要望いたします。

③　管理研修会の受講と建築士事務所登録

築士事務所登録業務は、これまで紙媒体により申請が行われてきましたが、令和4年8月1日から、順次オンライン化が進められており、従来の紙媒体とオンライン受付が併用されることになっています。建築士事務所登録の手数料は、道の手数料条例で定められているところですが、平成22年4月の指定から一度も改定されておりません。事務が複雑化し、経費の値上げが続き、設計等の業務に関する報告書が実質、受託者の負担により行われている実態を考慮し、この手数料を見直していただきたい。

④　管理研修会の受講と建築士事務所登録

建築士法第27条の2第7項で規定されている『開設者・管理建築士のための建築士事務所の管理研修会』は、その内容が建築士事務所にとって有益な研修会であることから、受講を建築士建築士事務所登録（更新を含む。）の要件としていただきたい。

北海道開発局共同要望

北海道共同要望

自民党団体要望

日本建築学会北海道支部　第42回北海道建築作品発表会

「批判的地域主義の追求の視座」

小篠　隆生
北海道大学大学院工学研究院准教授

今年は、秋口から建築に関する大きなイベントが続いた。日本建築学会の大会が札幌で開催されたり、日本建築家協会は芸術の森美術館を会場にした展覧会を開催した。このような、建築関連行事の今年の締めくくりとして12月3日に開催される日本建築学会北海道支部の第42回北海道建築作品発表会（原稿執筆時点）を概観したい。

1年間の建築活動を総括する上でも、この発表会で発表される建築作品の傾向は、興味深いものである。建築学会に関係するいくつかの建築作品の選考などに関わり、また自身でも建築設計を行う筆者は、北海道で建築を造るという際に考えるべき要点が特にこの数年間で大きく変化してきていると感じる。

それは、建築設計を行う際に北海道という地域の捉え方に関するプライオリティが、厳しい気候に対する防御という機能性を第一義にした直截的デザインに止まるだけではなく、地域資産、地域要素を用いながらも新たな表現を模索し、そこに新しい意味を見出そうとする試みである。しかも、地域資産として捉える地域の特徴が、気候や風土、環境といったものから、そこで生活する人間そのものへの眼差しに変化してきている。風景や環境に建築をどのようになじませるのか、厳しい気候に対し、どのような内部環境を獲得するのかという発想のために箱や壁、開口部という要素に集中しがちだった建築デザインの考え方が、人間が活動する環境を建築にいかに取り込むのかという環境を相対化して見た時に、建築空間をどのようにデザインすべきなのかという視点に変化してきているように見えるのである。

このような視点で、今年の建築作品発表会に応募された作品を眺めてきたい。

浦河フレンド森のようちえん（照井康穂）は、道産カラマツ材の一辺3.3mの正四角錐を1ユニットとした立体トラスが床から立ち上がり、斜め柱の柱脚部のような一見実用性が低くなるように見える空間が、かえって子どもたちの発想の手がかりや行動のきっかけとなるということが意図されている。照井氏は、「子どもたちの世界が、建物によって囲い込まれるのではなく、日々過ごしていく「建築」という身近な環境で、子どもたち自身が自由な使い方を創造し、自分の居場所や世界を発想しながら、自分の完成や理性を発見・形成していく環境を目指しました。」と述べている。

芽室町役場（アトリエブンク）は、開拓時に敷設された殖民区画で形成された市街地の敷地に正方形プランの中央に執務空間を設け、周囲を回遊できる動線を持つユニークな構成をとった。また、2階が四周に対して大きく張り出すことによって形成された深い軒下空間は、内外の緩衝空間となっている。3方向から庁舎へのアクセスが可能な、町に開かれた庁舎建築を実現し、「1階全体が町民を受け入れるピロティを内部化したような空間構成」をとっている。一般の庁舎建築では、執務機能と議会機能以外の機能を庁舎建築の中に入れるのに苦労するところを、これらの平面構成によって生まれた内外の余白空間を巧みに使って、町民ホールや町民広場という町民が自主的にさまざまな活動ができる空間が庁舎の周辺に生まれ、庁舎建築に新しい公共施設としての意味を付加させている。

津別町役場（アトリエブンク＋総合設備計画）では、木材産業が主力産業である津別町にふさわ

しい木材利用・地域産材への配慮・地元産業の振興が求められた。3,000 m² を超える庁舎建築に木造を取りいれるために周囲を RC 造にし、執務空間を木造とする入れ子構造で実現した。町内にある木材関連工場の技術をフル活用し、構造材、内外装、家具造作、手摺、サイン、家具に至るまであらゆる部位に町産木材を活用している。地場の高い木材加工技術を建築の各部位に総合的に利用することで新しい地域資源の価値を建築デザインに昇華させている。

北海道地区 FM センター（竹中工務店）は、120 角の一般流通材を用いコアとなる執務空間を木造で構成し、その外側に 1 スパン分の活動領域を、中空ポリカーボネートの外皮を用いて構成した。これによって単純な箱によって内外を切り分けるのではなく、あえて適度に温熱環境や空間構成の「ムラ」やバリエーションをペリメーターゾーンに創り出すことによって、オフィスワーカーが自分の気分とスタイルで仕事の場所を選ぶことができる新しいワークスタイルを実現する空間を提案している。

放射筋交の家（高木貴間）は、Covid-19 などの社会的変化を体験することにより、新たなテーマを獲得した作品と言える。フットプリント 9 坪から生まれる空間をダイナミックに構成するために、階高を高めに設定することで、階数不参入の床を多く獲得した。一方大きく張り出した 2 階を支えるために、構造は斜材が床から立ち上がる構造形式となっている。これがかえって空間同士を連続的につなぎ、狭さを感じさせない空間の広がりを獲得している。このような手法は、大きく社会情勢が動く中でのコスト高とエネルギー危機に対応するもので、ローコストに見合った断熱や換気水準でも FF ガスストーブ 1 台程度のエネルギー使用量で建物全体を暖房することを可能にしている。

注目される作品は他にもある。ここでは、紙幅の関係で以上とするが、改めて北海道において地域的視点に立脚しつつ、新たなデザインの視座を追及する「批判的地域主義」という流れが健在であることが確認でき、それが北海道建築作品発表会の伝統であるとも言えるのではないだろうか。

芽室町役場庁舎

北海道地区 FM センター

津別町役場庁舎

放射筋交の家

新入会員の紹介（令和３年12月～令和４年11月）

支部名	名　　称	代表者又は開設者	所　　在　　地	電　話	FAX
札幌	㈱Planning Place	松田　博幸	〒063-0865 札幌市西区八軒５条東２丁目3-46	011-616-2176	011-688-5358
札幌	㈱三協システム	山田　正樹	〒003-0803 札幌市白石区菊水３条４丁目２番地 樋口キッチンビル４階	011-831-2340	011-816-0206
札幌	札幌アポロ㈱ Lig works	櫻井　茂雄	〒060-0014 札幌市中央区北14条西15丁目7-30	011-299-3786	—
札幌	髙木貴間 建築設計事務所	髙木　貴間	〒064-0924 札幌市中央区南24条西８丁目４番５号	011-555-8580	—
札幌	㈱Cave 建築設計	橋本　　晋	〒005-0006 札幌市南区澄川６条８丁目10番５号	011-205-0813	011-205-0814
札幌	㈱高橋建築事務所	高橋　勝則	〒062-0052 札幌市豊平区月寒東２条18丁目７番108号	011-851-2686	011-851-2686
札幌	出村建築設計事務所	出村由貴子	〒060-0062 札幌市中央区南２条西10丁目1000-20 UGA 札幌南２条ビル３階	011-777-3129	—
札幌	フィールド・クラブ㈱	見上　真司	〒061-1274 北広島市大曲工業団地４丁目１番地２	011-370-3400	011-370-3444
札幌	㈱KSN 一級建築士事務所	齊藤　富明	〒062-0043 札幌市豊平区福住３条８丁目２番15号	011-857-7187	011-857-7187
札幌	㈱勝栄 一級建築士事務所	伊藤　敬三	〒006-0819 札幌市手稲区前田９条15丁目４番７号	011-590-1646	011-590-1647
札幌	セントラルリーシング システム㈱	阿部　直志	〒060-0042 札幌市中央区大通西６丁目10番地１	011-200-5600	011-242-5610
札幌	SG 建築企画㈱	重永　真孝	〒060-0063 札幌市中央区南３条西12丁目325番地９	011-784-0839	011-784-0839
札幌	東日本工建㈱	皆川　　伸	〒003-0869 札幌市白石区川下641番地	011-873-4100	011-873-4500
札幌	ゼロワールド㈱	笹川　久明	〒064-0823 札幌市中央区北３条西20丁目2-16	011-206-0175	011-206-0176
札幌	Hokkaido Project Developments㈱	ストスイック ステファン フランチゼック	〒005-0004 札幌市南区澄川４条11丁目９番11号	011-584-8800	011-584-8833
札幌	三洋都市設計㈱	樋口　千郁	〒003-0018 札幌市南区真駒内曙町４丁目６番８号	011-588-2105	011-588-2105

支部名	名　　称	代表者又は開設者	所　　在　　地	電　話	FAX
函館	㈱岩本製作所	岩本　浩希	〒049-2308 茅部郡森町字栄町 37 番地の 19	01374-2-0662	01374-2-0441
後志	㈱ISA アーキテクツ	石黒浩一郎	〒048-1522 虻田郡ニセコ町字曽我 455 番地 26 曽我フォレストコテージ	0136-55-7537	0136-55-7538
小樽	合同会社 メルリアン・オフィス	松木　秀樹	〒047-0024 小樽市花園 3 丁目 15 番 8 号	0134-65-7956	0134-65-7957
小樽	協和総合管理㈱	山本　秀也	〒047-0017 小樽市若松 2 丁目 8 番 15 号	0134-27-2233	0134-21-2744
小樽	㈱アールアンドエー プラスニングボックス	坪川　和雄	〒047-0156 小樽市桜 4 丁目 5 番 16 号	0134-52-1241	0134-52-3298
小樽	㈱小樽保全	髙橋　秀実	〒047-0023 小樽市最上 2 丁目 2 番 3 号	0134-33-7177	0134-33-7313
旭川	あとりえ Noie	大塚　一惠	〒071-8144 旭川市春光台 4 条 7 丁目 4-14	0166-53-5688	0166-73-5255
苫小牧	㈱渡辺工務店 1 級建築士事務所	渡邊　武志	〒053-0811 苫小牧市光洋町 2 丁目 6 番 16 号	0144-73-9006	0144-73-9015
十勝	㈱橘内建設	橘内　伸幸	〒080-1408 河東郡上士幌町字上士幌東 2 線 235 番地	01564-2-2252	01564-2-2685
十勝	㈱ティーメイス	庄司智代里	〒080-0015 帯広市西 5 条南 41 丁目 1 番地 10　2F	0155-29-4411	0155-29-2467
十勝	アルス・ゼータ㈲	酒井　啓次	〒080-0804 帯広市東 4 条南 24 丁目 1 番地 5	0155-22-1801	0155-22-1806
釧路	日向建設㈱ 二級建築士事務所	渋谷　　論	〒085-0012 釧路市川上町 10 丁目 2 番地 2	0154-24-2224	0154-24-5194
釧路	㈲青山ハウス工業	青山　哲也	〒085-0057 釧路市愛国西 2 丁目 17 番 14 号	0154-35-2664	0154-35-2746
釧路	小野建築設計事務所	小野　夏樹	〒088-0627 釧路郡釧路町東陽西 1 丁目 1 番地 6	0154-40-3521	0154-40-3521

令和４年度　一般社団法人北海道建築士事務所協会　名簿

役　　員

役職名	氏　名	所　　属
会　　長	庄司　雅美	㈱ホクテイ建築事務所
副 会 長	田所　裕司	㈱アクティ建築設計
〃	川幡　宏一	㈱総合開発設計
〃	松田　眞人	㈱都市設計研究所
〃	中田　信広	㈱中田建築設計
〃	能戸　　彰	㈱小南建築設計事務所
〃	柴野　修一	㈱柴滝建築設計事務所
〃	三浦　　啓	三浦建築設計事務所
〃	笹木　勇一	㈱清和設計事務所
専務理事	中川　國義	(一社)北海道建築士事務所協会
理　　事	岡田　幸生	㈱岡田設計
〃	久保田克巳	㈱日建設計
〃	澤田　貞和	㈱日本工房
〃	菅沼　秀樹	㈱アトリエブンク
〃	奈良　顕子	㈲奈良建築環境設計室
〃	馬場　雄司	㈱ビープラン
〃	山田　　修	㈱共伸設備設計事務所
〃	大古　正平	㈲オオフル建築設計事務所

役職名	氏　名	所　　属
理　　事	榊　　政信	北の杜合同会社建築設計事務所
〃	廣谷　　昭	㈱Ａ＆Ａリフォーム
〃	大野真一郎	大野土建㈱
〃	原田　欣典	興北建設㈱
〃	阿部　　裕	㈲阿部設計事務所
〃	土屋善治郎	土屋工業㈱
〃	棗原　一夫	㈲棗原測量設計事務所
〃	川田　寿之	㈱川田建設工業
〃	本田不二夫	㈲本田建築事務所
〃	木原　宗孝	エーシー企画
〃	太田　　豊	㈱創造設計舎
〃	神田　光英	㈱神田設計
〃	高橋　正明	㈲タカ・アーキテック一級建築士事務所
〃	志田　純司	第一宅建設計㈱
監　　事	藤原　昇悟	㈱中山設計事務所
〃	五十嵐一博	五十嵐建築設計事務所
〃	小寺　正史	弁護士法人 小寺・松田法律事務所

支　部　長

支部名	氏　名	所　　属
札　　幌	田所　裕司	㈱アクティ建築設計
函　　館	能戸　　彰	㈱小南建築設計事務所
桧　　山	大古　正平	㈲オオフル建築設計事務所
後　　志	榊　　政信	北の杜合同会社建築設計事務所
小　　樽	廣谷　　昭	㈱Ａ＆Ａリフォーム
空　　知	中田　信広	㈱中田建築設計
旭　　川	柴野　修一	㈱柴滝建築設計事務所
名　　寄	大野真一郎	大野土建㈱
留　　萌	原田　欣典	興北建設㈱
宗　　谷	阿部　　裕	㈲阿部設計事務所

支部名	氏　名	所　　属
網　　走	土屋善治郎	土屋工業㈱
北　　見	笹木　勇一	㈱清和設計事務所
紋　　別	棗原　一夫	㈲棗原測量設計事務所
室　　蘭	川田　寿之	㈱川田建設工業
苫 小 牧	本田不二夫	㈲本田建築事務所
日　　高	木原　宗孝	エーシー企画
十　　勝	太田　　豊	㈱創造設計舎
釧　　路	三浦　　啓	三浦建築設計事務所
根　　室	志田　純司	第一宅建設計㈱

委　員　会

総　務　委　員　会

役　職	氏　名	所　　属
担当副会長	田所　裕司	㈱アクティ建築設計
委 員 長	馬場　雄司	㈱ビープラン
副委員長	遠藤　重紀	㈱古田設計事務所
〃	相良　敬治	㈱さがら設計事務所
委　　員	三ツ江元治	一級建築士事務所㈱三ツ江建築測量事務所
〃	菊地　峰生	㈱ヤマト建設設計事務所
〃	池本　裕治	空間工房シリウス㈲
〃	門　　成明	㈱門建築設計事務所
〃	塩川　顕児	塩川建設㈱

業務・技術委員会

役　職	氏　名	所　　属
担当副会長	松田　眞人	㈱都市設計研究所
委 員 長	岡田　幸生	㈱岡田設計
副委員長	笠原　成悟	㈱建設コンサルタント
委　　員	松本　　純	㈱荒川建築設計事務所
〃	森　　昭	阿部建設㈱
〃	亀田　　宏	亀田工業一級建築士事務所
〃	柳　　雅人	柳雅人建築設計工房
〃	眞壁　喜男	くりえいと創
〃	中川　勝一	㈱エヌ・ケー建築設計室

（建築物耐震診断等評価委員会）

役職名	氏　名	所　　属
委 員 長	石山　祐二	北海道大学名誉教授
副委員長	遠藤　淳治	㈱一寸房　技術顧問
〃	小田　信一	(一社)日本建築構造技術者協会
〃	後藤　隆之	(一社)日本建築構造技術者協会 北海道支部顧問
委　　員	荒井　一博	魁建築設計事務所　代表
〃	植松　武是	北海学園大学 工学部建築学科　教授
〃	木村伊佐子	㈱日建設計　エンジニアリング部門 構造設計グループ　アソシエイト
〃	佐々木克也	エクシオグループ㈱北海道支店　移動 通信部門移動エンジニアリンググ担当
〃	城　　攻	北海道大学名誉教授
〃	福井　　勉	鹿島建設㈱北海道支店 専任次長
〃	真柄　祥吾	北海学園大学名誉教授

広　報　委　員　会

役　職	氏　名	所　　属
担当副会長	三浦　　啓	三浦建築設計事務所
委 員 長	山田　　修	㈱共伸設備設計事務所
副委員長	蒔田　淳一	㈱白樺設計
〃	宮房　晋矢	㈲ハース設計一級建築士事務所
委　　員	西島　弘志	㈲西島設計
〃	小林　皆礎	㈲Rize international
〃	山田　利彦	㈱ひのき
〃	佐藤　徳文	㈲さとう建築デザイン室
〃	髙橋　成造	髙橋建築設計事務所

教育・情報委員会

役　職	氏　名	所　　属
担当副会長	能戸　　彰	㈱小南建築設計事務所
委 員 長	久保田克己	㈱日建設計
副委員長	中薮　則喜	㈱中薮建築工房
委　　員	佐藤　　裕	エスワークス建築設計事務所
〃	加藤　優次	加藤優次建築士事務所
〃	松本　孝幸	㈱松本建設
〃	坂口　　剛	㈲福井設計
〃	桒原　一夫	㈲桒原測量設計事務所

指 導 委 員 会

役　職	氏　名	所　　属
担当副会長	中田　信広	㈱中田建築設計
委 員 長	奈良　顕子	㈲奈良建築環境設計室
委　　員	中原　茂人	㈱渡辺建築設計
〃	河村　和義	㈱アトリエＫ
〃	中岡　正憲	元北海道企業局長
〃	山本　明恵	恵和建築設計事務所

（建築相談調査委員会）

役職名	氏　名	所　　属
委 員 長	田所　裕司	札幌支部長である副会長
副委員長	川幡　宏一	札幌支部所属の副会長
委　　員	中田　信広	道央ブロックの副会長
〃	能戸　　彰	道南ブロックの副会長
〃	柴野　修一	道北ブロックの副会長
〃	三浦　　啓	道東ブロックの副会長
〃	笹木　勇一	オホーツクブロックの副会長

倫 理 委 員 会

構成委員は５名とし、会長が指名する副会長３名、当該地域の支部長１名、弁護士等の外部委員１名とする。

Ｉ Ｔ 委 員 会

役職名	氏　名	所　　属
担当副会長	柴野　修一	㈱柴滝建築設計事務所
委 員 長	澤田　貞和	㈱日本工房
副委員長	石丸　修二	㈱日建設計
委　　員	武部　幸紀	日本都市設計㈱
〃	佐藤　　光	㈱ドーコン

青 年 委 員 会

役職名	氏　名	所　　属
担当副会長	笹木　勇一	㈱清和設計事務所
委 員 長	菅沼　秀樹	㈱アトリエブンク
副委員長	鉄川　　大	㈱鉄川建築設計事務所
委　　員	馬場　将考	岩田地崎建設㈱
〃	金田　貴彦	㈱金田設計
〃	深瀬　正人	須藤建設㈱SUDO 設計
〃	齋藤　弘源	齋藤弘源建築設計事務所
〃	石井　孝行	㈱武田建築設計事務所
〃	安原　英司	安原建築設計

A R C 作品集 2 0 2 2

A R C
作品集
2 0 2 2

目次　CONTENTS

mother's+ …… 86

設計監理　竹中工務店

施工　竹中工務店北海道支店

株式会社　青函設備工業 …… 87

設計監理　㈱二本柳慶一建築研究所

施工　㈱森川組

STYLE6 改修工事 …… 88

設計監理　㈱二本柳慶一建築研究所

施工　㈱森川組

T・Ref コート …… 89

設計監理　㈱二本柳慶一建築研究所

施工　㈱松本組

川元建設株式会社　社屋 …… 90

設計監理　㈱二本柳慶一建築研究所

施工　㈱今井工務店

三和防災技術センター …… 91

設計監理　㈱二本柳慶一建築研究所

施工　㈱森川組

旧北海道庁函館支庁庁舎再活用計画（Jolly Jellyfish 元町公園店） …… 92

設計監理　㈱二本柳慶一建築研究所

施工　㈱カネス杉澤事業所

新十津川町役場庁舎 …… 93

設計監理　㈱ドーコン

施工　岩倉・久保田特定建設工事共同企業体

鶴居村新総合体育館ファミスポアップ …… 94

設計監理　㈱ドーコン

施工　村井・佐々木・坂野
特定建設工事共同企業体

mother's+

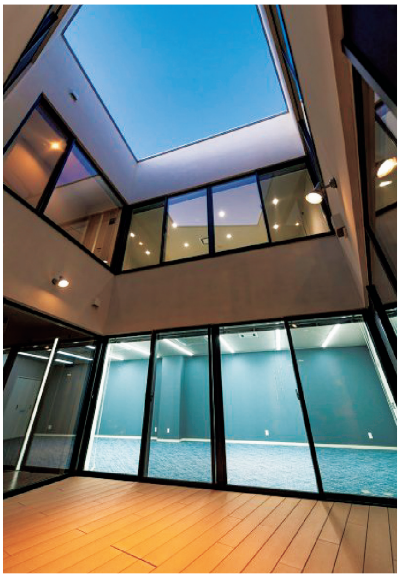
発 注 者　有限会社北海道種鶏農場
設計監理　竹　中　工　務　店
施　　工　竹中工務店北海道支店

《設計概要》
延べ面積　887.71 m²
構　　造　木造　一部鉄骨造
外部仕上　ガルバリウム鋼板
工　　費　580,000 千円
建 設 地　白老郡白老町字社台 289 番地
設備業者　大氣社、電友社

《設計趣旨》
SDG's に基づく、グリーンツーリズム・アニマルウェルフェア・産業 6 次化という次世代の思想にのっとった養鶏業のパイロットファーム「ヨコストランチ」を計画した。ファームの中核施設「mother's＋」では、卵の選別から店舗での加工販売までを行う。これにより 1 次から 3 次産業までを統合し経営の多角化と農村の活性化を目指す産業 6 次化を具現化した。主構造は白老産カラマツを用いた木造とし、ここにガラススクリーンの工房棟を挿入した。自然素材と工業製品が協奏する、それぞれの美しさの引き立つインテリアとした。外観は鶏舎をモチーフとしたシンプルなかたちとするため、仕口に鋼棒を挿入する GTR 工法を採用した。
設計担当：横尾淳一

株式会社　青函設備工業

発 注 者　株式会社　青函設備工業
設計監理　㈱二本柳慶一建築研究所
施　　工　㈱　　森　　川　　組

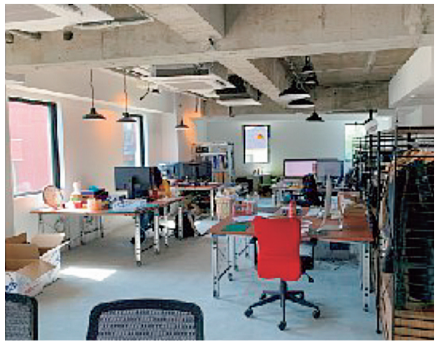


《設計概要》
面　　積　延べ　586.94 m²
構　　造　RC 造・地上 2 階
外観仕上　レンガタイル張り・薄付仕上塗材
工　　期　令和 2 年 4 月～令和 2 年 10 月
建 設 地　函館市宝来町

《設計主旨》
　この建物が建つ銀座通りは、かつて函館の歓楽街として栄えバロック建築を模したモダンな建物が建ち並び活気にあふれた通りでした。今日でも当時の面影を残す歴史的な建物が点在しているこの通りに新社屋を建設するにあたり、周辺の景観に溶け込み繁栄を築いた当時の風景を思い起こさせる建物となることをデザインコンセプトとして計画を進めました。
設計担当：二本柳 慶一、川本 昭

STYLE6 改修工事

発 注 者　STYLE6 Inc.
設計監理　㈱二本柳慶一建築研究所
施　　工　㈱　森　川　組

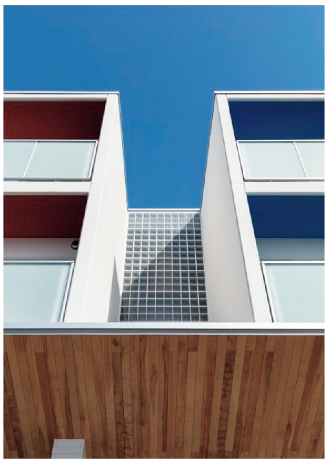


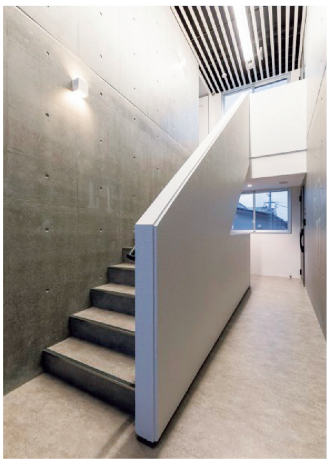
《設計概要》
面　　積　延べ　872.57 m²
構　　造　RC 造・地上 3 階
外観仕上　吹付タイル塗替え
工　　期　令和 3 年 2 月～令和 3 年 4 月
建 設 地　函館市五稜郭町

《設計主旨》
37 年前に竣工したペンションをリノベーションしたオフィスです。
コンクリート打放しを全面的に出したモダンな外観から、白を基調とした清潔感があり軽快な建物へと仕上がりました。
設計担当：二本柳 慶一、加藤 邦基

T・Ref コート

発 注 者　タナカ冷機工業㈱
設計監理　㈱二本柳慶一建築研究所
施　　工　㈱　松　本　組





《設計概要》
面　　積　延べ　511.37 m²
構　　造　RC 造・地上 3 階
外観仕上　多意匠装飾仕上塗材
工　　期　令和 3 年 9 月～令和 4 年 3 月
建 設 地　札幌市白石区

《設計主旨》
札幌市白石区の住宅街に計画した賃貸住宅です。

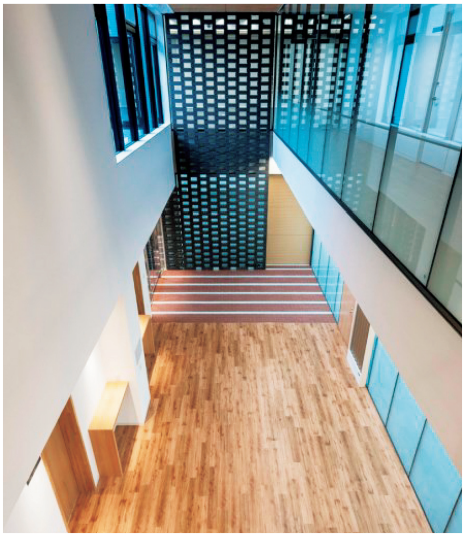
最寄りの地下鉄から徒歩圏内で、周辺にはスーパーマーケットや飲食店が連なっており、学生や単身赴任の方をターゲットに計画しました。1 階はテナントオフィスと共同の駐輪場置場・トランクルームを設けて、2 ～ 3 階に 1LDK の住戸を 8 戸設けました。

ファサードは、白を基調として、木板天井の庇と、階段室のガラスブロックで軽快さを出し、バルコニーの壁と天井に赤と青のビビットなカラーをアクセントにして、周辺の景観に配慮しながら建物の個性を際立たせました。

設計担当・二本柳 慶一、加藤 邦基

川元建設株式会社　社屋

発 注 者　川元建設株式会社
設計監理　㈱二本柳慶一建築研究所
施　　工　㈱ 今 井 工 務 店

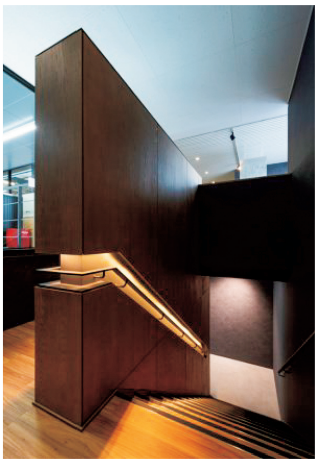


《設計概要》
面　　積　延べ　859.82 m²
構　　造　RC 造・地上 2 階
外観仕上　複層塗材、磁器質タイル張り、人工木ルーバー
工　　期　令和 2 年 5 月～令和 3 年 10 月
建 設 地　函館市美原

《設計主旨》
　半世紀以上に亘りトンネル・橋梁施工の専門工事会社として、常に先進的な工法に取り組んで実績を積み重ねた建設会社のオフィス建替え計画です。
　周辺の住宅街区に対しては、優しく威圧感の少ない木調のテクスチュアと曲線、トンネルを模した円形で住宅街にやさしいファサードデザインとしました。内部、ホールの吹き抜けには透かしレンガ越しに執務エリアと繋がっており、明るく開放的に来客者様を迎え入れる空間としました。
設計担当：二本柳 慶一、川本 昭

三和防災技術センター

発 注 者　三和防災株式会社
設計監理　㈱二本柳慶一建築研究所
施　　工　㈱　森　川　組



《設計概要》

面　　積　延べ　445.86 m²
構　　造　S 造・地上 2 階
外観仕上　ガルバリウム鋼板～立平葺き、窯業系スレート板、防火サイディング
工　　期　令和 4 年 3 月～令和 4 年 7 月
建 設 地　函館市美原

《設計主旨》

主に消防設備工事や施設点検業務を行っている事業所の、技術研修センターとして計画しました。ファサードは黒と白のキューブを組み合わせたシンプルな形状としました。

内部はコンクリートの床と木毛セメント板の壁をベースにして、天井もスケルトンにしたラフなインテリアを構成し、一般的なオフィスよりも解放感を感じる空間を造りました。

設計担当：二本柳 慶一、川本 昭

旧北海道庁函館支庁庁舎再活用計画（Jolly Jellyfish 元町公園店）

発 注 者　株式会社はこだて西部まちづく Re-Design
設計監理　㈱ 二 本 柳 慶 一 建 築 研 究 所
施　　工　㈱ カ ネ ス 杉 澤 事 業 所

《設計概要》
面　　積　延べ　367.96 m²
構　　造　W 造・地上 2 階
外観仕上　下見板張り（既存のまま）
工　　期　令和 4 年 5 月～令和 4 年 7 月
建 設 地　函館市元町

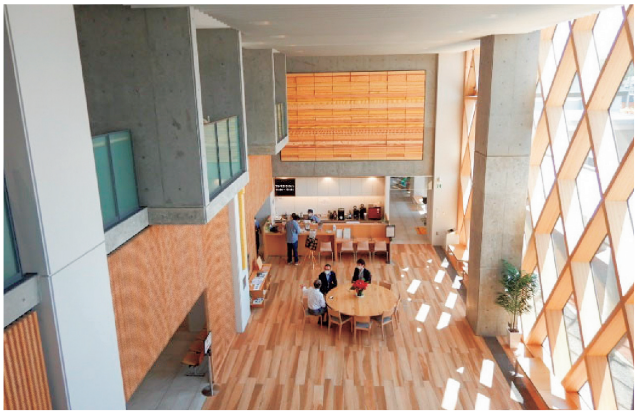
《設計主旨》
函館市元町公園内に建てられた、北海道の指定有形文化財である「旧北海道庁函館支庁庁舎」を再活用するプロジェクトとして進行されました。文化財的価値を損なわない範囲での活用が条件とされた中、現況の建築修繕含むハード的改修項目は必要最低限として、飲食提供する上で必要な厨房機能を供給する工事は、既存の躯体を傷つけないように内側に下地を組んで厨房を作るなど工夫した設計としました。
設計担当：二本柳 慶一

新十津川町役場庁舎

発注者　新十津川町
設計監理　㈱ドーコン
施　　工　岩倉・久保田特定建設工事共同企業体

来庁者を迎えるカーテンウォールのファサードと、アプローチ空間やバス停をひとつながりにする誘導性の高いカバードウォーク

町産トドマツを使用した木のぬくもりを感じる議場内装



母村の奈良県十津川村の杉を使い高断熱の木・スチール複合カーテンウォールを採用した開放的なホール

《設計概要》

面　　積　延べ 4,221.26 m²
構　　造　鉄筋コンクリート造 3 階建
外観仕上　外断熱レンガ積、ガルバリウム鋼板
工　　期　平成 31 年 3 月～令和 4 年 5 月
建 設 地　北海道樺戸郡新十津川町字中央 301 番地 1

《設計主旨》

庁舎は吹き抜け空間であるホールを中心に、執務空間や窓口機能、カフェ、バス待合所などを隣接させて、明るく開放的で機能的な構成とした。

ホールは機能連携のほかにも、人々が集い、交流する庁舎の中心となる場であり、南面は十津川村の木材を利用したカーテンウォールを採用し、木材を通して母村の歴史を未来へとつなぐ、「100 年庁舎」のシンボル的空間とした。

カーテンウォールの南側はフレキシブルに利用できるターミナル広場とし、広場を囲むようにカバードウォークを配置することで庁舎入口とバス停や車いす駐車場などの周辺機能をひとつながりで結ぶ誘導性の高い計画とした。

多雪地域の新十津川町においても屋内外の機能が連携し、まちにひらけた庁舎のありかたを示した。

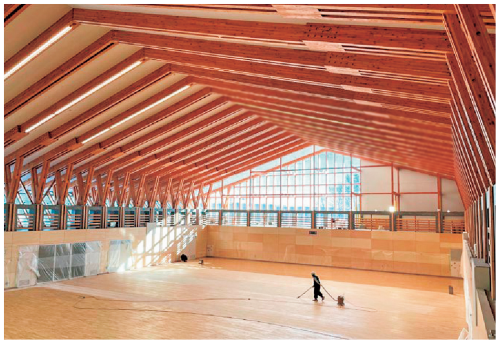
設計担当　意　匠：古池章規　構　造：岩渕佳隆・飯田俊郎
　　電気設備：伊藤　傑　機械設備：林　達也

鶴居村新総合体育館ファミスポアップ

発 注 者　鶴　　居　　村
設計監理　㈱ ド ー コ ン
施　　工　村井・佐々木・坂野特定建設工事共同企業体

木架構の見える外観

軽快な木架構と RC 造のシンプルな外観



地域の木材を感じるアリーナ

木架構の間を走るランニングデッキ

《設計概要》

延床面積　2,722.73 m²
構　　造　鉄筋コンクリート造　一部　木造
外観仕上　ガルバリウム鋼板、コンクリート打放し
工　　期　令和 2 年 8 月～令和 4 年 3 月
建 設 地　鶴居村鶴居西 6 丁目 1 番地 1

《設計主旨》

鶴居村は、その名前の通り、鶴が居る村として、タンチョウの保護活動などに力を入れている村です。自然環境に配慮した施設とするため、体育館の屋根を木架構としています。鶴居村産木材を約 7 割、残り 3 割も釧路管内の木材で建設し、地産地消、カーボンニュートラルに配慮した施設としました。

大スパンを構成するアリーナの木架構を地域材で供給可能な断面とするため、中断面（120 mm×600 mm）の梁を 2 本、3 本と継ぎ、木造の方杖に取り付ける構成としました。

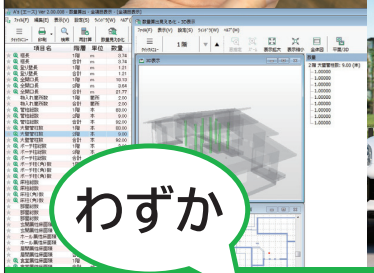
2 本組みの梁とすることで、集成材の間に照明を埋め込むことができ、シンプルでスッキリとしたアリーナを実現しています。

外観や方杖は、鶴翼をイメージし、木架構がオープンに見えるカーテンウォールにより地域に新たな賑わいを創出する施設としました。

体育館という活動の場が、新たなコミュニティの場となる施設です。

三共電気工業株式会社

本　　社　札幌市北区北6条西6丁目2番地　TEL（011）716-5121
釧路支店　釧路市北大通10丁目2番地1新釧路道銀ﾋﾞﾙ2階　TEL（0154）23-0436
千歳支店　千歳市美々987番地22 新千歳空港ﾀｰﾐﾅﾙｱﾈｯｸｽﾋﾞﾙ2階　TEL（0123）29-6577
URL　http://www.sankyo-e.co.jp



インストールや初期指導もしっかりサポート

購入前の評価で失敗・後悔なし

無料貸出

建築3次元CAD A's（エース）

*掲載のパースは全てA'sで作成しています。

＼高品位なパース／

＼WEB集客／

＼積算の効率化／

わずか

14分

A's（エース）なら
外観・内観パース、
プレゼンボードまで作成

動画で確認

＼ユーザー様も認める実力／

スマホで3Dを閲覧できる
お施主様の決断をアシスト
S社様（埼玉県）

#リモート営業 #施工後の食い違い #クレーム減少

積算作業が丸2日から3時間に
図面の精度も向上
A社様（群馬県）

#積算根拠 #利益確保 #部材3Dで見える化

製品の良さを体験していただく“パース無料作成”も実施中！

CPU
株式会社 シーピーユー
［札幌支店］〒062-0931 北海道札幌市豊平区平岸1条3丁目2番33号
エクシオ ナトラエビル4階

お申し込み・お問い合わせ
お電話 011-598-6841
WEB

ガスエンジンで発電し、
その発生熱を暖房に
有効活用する「コレモ」。

暖房の消費量が多い
北海道に適した
北ガスならではの
コージェネレーションシステムです。

コレモ
COREMO
ガスマイホーム発電

冬場の停電時も発電を継続！
もしもの時の備えになります。

**新築やリフォームの際は
コレモのご採用も
合わせてご検討ください！**

北海道ガス（株）小樽支店
小樽市入船4丁目33番1号　TEL.0134-34-0919
営業時間　平日9時～17時

垂直反復撹拌 深層混合処理工法 GBRC12-27号
S-Maxコラム工法

1 TSヘッドの使用により**垂直撹拌性能大幅アップ**
2 改良体の可視施工による**確実な改良施工**
3 全長垂直撹拌により**改良体強度の均質施工**
4 TSヘッドによる**改良不適土の排除及び良質土への置換施工**
5 未固結改良体の品質管理に**電気比抵抗試験を導入**

2014年6月
性能証明追加取得
φ1,300まで
施工可能に!

上下撹拌による均一な
高強度の改良コラムを築造

様々なシーンに確実にお応えする、東翔の地盤改良工法

ブロック状改良で
施工費の縮減

ブロック状混合処理工法 GBR第13-02号
ライジングW工法

1 ブロック状に改良するので**施工効率がアップ**
2 支持層・改良土質が目視確認でき、**確実な施工が可能**
3 ライジングテスターによる**確かな品質管理**
4 改良体寸法**0.7m以上～5.0m以下**

株式会社 東翔
http://www.tousho-jp.com/

札幌本社 〒007-0828 札幌市東区東雁来8条2丁目1番45号
TEL.011-790-5858／FAX.011-790-5392

函館営業所 〒040-0076 函館市浅野町4番8号
TEL.0138-42-0077　FAX.0138-42-0028

JFE

Fine Steel

匠の技が活きる新しいカラー鋼板

クロメートフリーカラー鋼板　**Jクラフト　和みーFIT®**

～ つやあり / つやけし / ニューたい雪 ～

クロメートフリー

＜環境規制に対応＞

卓越した耐候性・耐疵付き性

＜最先端の塗装技術＞

ガルフレックス仕様

＜加工部：穴あき・赤錆10年保証＞

JFE 鋼板 株式会社

〒060-0002 札幌市中央区北二条西四丁目1番地　札幌三井JPビルディング
〔北海道支店〕TEL. 011-219-3011　FAX. 011-219-3013
〔URL〕https://www.jfe-kouhan.co.jp

設計から製造・施工まで製販一体の取組み、
北海道を地場とした45年の実績でお応えします。

「信頼を築く」
株式会社 タカフジ
営業内容　●金属製建具工事　●硝子工事　●イスターカーテン工事

本社・工場
札幌市白石区米里1条3丁目6番8号
〒003-0871　電話代表（011）871-0666
FAX（011）871-0519
E-mail；info@takafujinet.jp
HP；http://www.takafujinet.jp/

釧路営業所
釧路市新栄町13番18号
〒085-0032 電話（0154）68-4351
FAX（0154）68-4352

新時代を拓くパイオニア ＝最先端の技術で創るフォルム＝

カラー鉄板屋根材・外装材成形加工

横葺風雅300A・ニューラムダ30・アサヒルーフ・フジサンルーフR曲げ・新型フラット420A・平成ルーフ・平成ルーフⅡ型25・各種成形エンボス加工・折板Ⅱ型・ルーフデッキ・特殊丸波・成形材に断熱材自動貼付各種・ラブウォール303・ボルトレス角波・角波W=750・アサヒ式自然棟換気・軒天換気・雨樋（うけますくん）・本丸・その他一般12種類

環境商品・太陽光発電システム・光触媒の空気清浄機・除菌・消臭

Asahi 株式会社 アサヒ金物

北海道帯広市西23条北1丁目1番3号　TEL（0155）37−9552　FAX（0155）37−9551
http://www.asahi-kanamono.jp/

緑の持つ力を、空間に、心に。

オフィスグリーンを中心に商業施設、一般住宅、ガーデニングから観葉植物販売まで。
グリーンのある生活、その魅力をより多様なアプローチでデザインし、ご提供していきます。緑の持つ力を存分に活かすことができる、植物のプロフェッショナルチームを目指します。

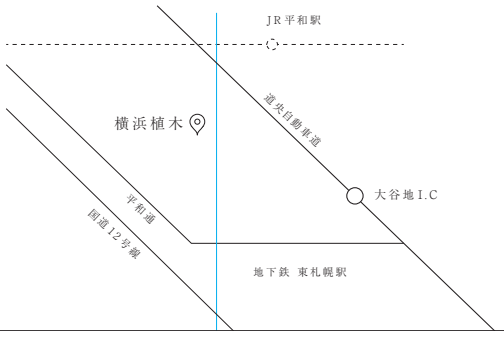
UEKI

www.yokohamaueki.co.jp

Greening　新事業内容

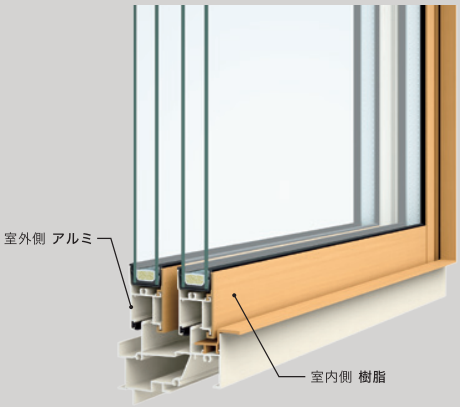
- オフィスグリーン
- 壁面や空間緑化のデザイン設計・施工・保守管理
- 壁面緑化デザイン設計・施工・メンテナンス
- 観葉植物および関連資材の販売・コーディネート・レンタル

横浜植木株式会社 北海道支店
003-0029 札幌市白石区平和通14丁目北2番16号
tel.011 862 3561



高い断熱性と防露性。マンション選びの新基準です。

高い断熱性・防露性をもつアルミ樹脂複合窓です。
室外側にアルミ、室内側に樹脂を組合せた複合構造です。
豊富なカラーバリエーションを取り揃え、
室外側・室内側でお好みのカラーが選択できるので、
インテリアコーディネイトの自由度が広がります。



非木造住宅向け アルミ樹脂複合窓

エピソード NEO（ネオ）-LB

YKK AP株式会社　https://www.ykkap.co.jp/business/building/

令和3年版
公共建築工事積算基準
◎監修/国土交通省大臣官房官庁営繕部
◎編集・発行/(一財)建築コスト管理システム研究所
定価9,130円(税込)
令和2年3月並びに令和3年3月の改定を反映

平成31年基準
公共建築工事積算基準の解説
(建築工事編)
◎監修/国土交通省大臣官房官庁営繕部
◎編集・発行/(一財)建築コスト管理システム研究所　定価11,000円(税込)
公共建築工事の積算業務に携わる方々の必携の書!!

宅地建物取引業者による人の死の告知に関するガイドラインの解説
◎著/宇仁 美咲
◎編/(一財)不動産適正取引推進機構　定価1,430円(税込)
宅地建物取引業者の人の死の告知の方法について、
宅地建物取引業法上の判断基準を整理・解説

改訂3版
建物賃貸借
―建物賃貸借に関する法律と判例―
◎著/渡辺　晋　定価12,100円(税込)
令和3年11月までの判例を含め改訂した最新版!

改訂版
土地賃貸借
―土地賃貸借に関する法律と判例―
◎著/渡辺 晋　山本幸太郎　定価7,480円(税込)
土地の賃貸借に関する法律や約2,200の裁判例等を網羅的に分析・解説

改訂第22版
都市計画法開発許可の実務の手引
◎監修/愛知県建築局建築指導課
◎編集/(一財)東海建築文化センター　定価5,940円(税込)
令和4年4月施行の都市計画法開発許可制度の改正を受け、
全面的に見直し、内容を充実させた最新版!!

株式会社 大成出版社
〒156-0042 東京都世田谷区羽根木 1-7-11
TEL:03-3321-4131 FAX:03-3325-1888
ホームページ
https://www.taisei-shuppan.co.jp/

スポーツ・フロアのパイオニアとして
安全で快適な床を提供しています。

北海道立総合体育館センター　きたえーる

■ 鋼製床下地材
「ジム・エース」
■ 体育館用衝撃吸収壁
「ジム・ウォールシステム」
■ 複合プール用可動床
「アクティブフロア」
「ステンレス製プール」
■ 建築用鋼製下地材(壁・天井)
■ 内装工事

株式会社　染野製作所
代表取締役　染野真一

本社・工場　茨城県牛久市猪子町 648　TEL:029-872-3151　FAX:029-873-3330
札幌営業所　札幌市白石区菊水1条1丁目　TEL:011-813-8670　FAX:011-813-8671
URL http://www.someno.co.jp

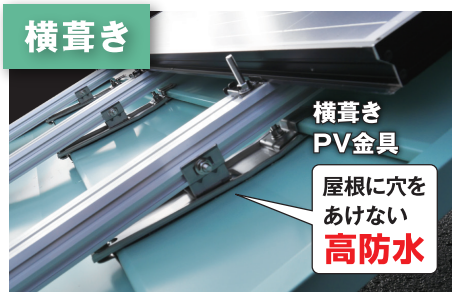
元旦 屋根に夢と技術をのせて

太陽光発電システム30年の実績

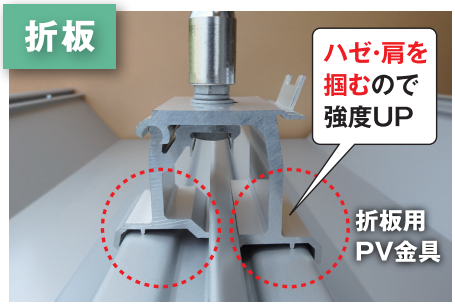
元旦の屋根材には全て 専用の太陽光パネル取付金具があります

縦葺き

横葺き



折板



サンピカM

架台兼用防水桟カバーで水の浸入を防ぐ

専用金具のない他社屋根に

サンパステム

防水機能付きアルミ製太陽光架台で屋根が長持ち

既存屋根に安心後付け

製造発売元 元旦ビューティ工業株式会社 011-792-6611
https://www.gantan.co.jp
北海道営業所／〒065-0030 北海道札幌市東区北三十条東16-3-21 アミティエ101号室

施工元旦会

全国元旦会
信頼・安心・確かな技術で責任施工
全国約8000人の施工ネットワーク

建設分野の新工法・新技術をご提案

防水・防食・外壁改修工事・塗床・スポーツ施設
アスベスト処理・コンクリート構造物補修・補強・耐震

IDF 株式会社 アイ・ディー・エフ

私たちアイ・ディー・エフは、防水工事を主とした建物改修の専門会社です。
防水の他にも外壁改修、アスベスト対策等、高度な知識と
確かな技術力でお客様のご要望にお応えします。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS　ZERO CARBON HOKKAIDO

防水工事

専門システムによる超速硬化ウレタンスプレー防水工法は従来のアスファルト防水では施工が難しかった勾配・傾斜部・複雑な形状にも対応し極めて水密性の高い防水膜を形成します。

クイックロックシステム工法（QRシステム工法）

2021年から高断熱屋根30分耐火仕様、かつ工期短縮が実現出来るノンビス断熱パネルと超速硬化ウレタンスプレー防水工法を組み合わせた画期的な金属下地断熱防水工法の取り扱いを開始、脱炭素化に貢献しています。

外壁改修

①外壁タイル剥落防止工法、エバーガードSG工法
（美しい外壁タイル仕上げを保全する）
②外壁タイルの色・柄・艶を忠実に再現する
貼り替え工法『クローンタイル』工法
③タイルをラディカル・リノベーション、
無清掃100年の輝き石材を超えた人造石百年外壁
『ハマキャスト仕上＋タイル脱落防止工法』

アスベスト対策

老朽化した建物の解体時に必要なアスベスト調査もお任せください。

本社　北海道旭川市物流団地1条1丁目4番26号
TEL.0166-57-1831　FAX.0166-57-1833

札幌支店　札幌市東区北20条東2丁目1-23
TEL.011-711-5171　FAX.011-711-5172

www.idf-inc.jp

私たちは
ヴォレアス北海道
を応援しています

ヴォレアス北海道 リーグ最終戦のぼりパートナー募集

2016年に旭川で誕生したプロバレーボールチーム。国内トップリーグであるVリーグの2部（V2）に所属。2022-2023シーズンはV2優勝をおさめるも入替戦で惜しくも得点率の差で残留が確定。悲願のV1昇格を目指しリーグを戦っている。

サポートカンパニーに加盟してヴォレアス北海道を応援しましょう！

※イメージです

のぼり掲出
御社名入りの
のぼり3本を製作！
試合会場に掲出します。
さらに 買物公園（旭川駅前の目抜き通り）に製作したのぼりを1本設置！
期間 3月10日（金）～3月26日（日）予定

＋

観戦チケット
2.25（SAT）・2.26（SUN）
3.25（SAT）・3.26（SUN）
4試合のうち5席をプレゼント！ 試合チケット（2階席）
会場 旭川市リアルター夢りんご体育館（旭川市総合体育館）

¥120,000（税抜）

応募締切
1.31（TUE）まで

お申込・お問合せはコチラ　Email: info@voreas.jp

60th anniversary
GLASS TANAKA

地域社会と共に60年

株式会社田中ガラスは、本年「創業60年」を迎えることができました。長年に渡るお客様やお取引各位の皆様方のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。
弊社では数多くの高機能ガラス・サッシ製品を取り揃えております。窓・ドアのお困りごと、窓・玄関リフォームをお考えの際はお気軽にお問合せくださいませ。

代表取締役社長　田中　浩幸

《営業品目》
- 住宅用サッシ・ガラスの販売・施工
- 玄関風除室・サンルーム等エクステリア商品の販売・施工
- ビル内外装のサッシ・ガラス施工
- 窓・玄関かんたんリフォーム
- ドア・ガラス・サッシ各種修繕

株式会社 田中ガラス　MADOショップ
本社事務所 登別市若山町１丁目１１番地２　TEL(0143)88-2371　FAX(0143)88-2372
W E B http://www.tanaka-g.jp　E-mail E-mail:tanaka-g@beige.plala.or.jp

三和シャッター

暮らしと街に、
安心と安全を。

水害に備える

防水シャッター
防水機能が付いた、
電動パネルシャッター。浸水高さ３m。

風害に備える

耐風ガード
従来より高い耐風圧強度を備え、
大開口にも対応する高強度シャッター。

火災に備える

防火シャッター
建築基準法に定められた
防火区画に対応。

地震に備える

AKUZO（あくぞー）
共用部にも対応した耐震スチールドア。
避難経路上に設置可能。

三和グループ　三和シャッター工業株式会社　北海道事業部　011-233-3011

柔軟なポリマー製でドアや開口部への衝突保護！

衝突防止製品「ボラード」

事故防止　最小限な修理　長寿命　環境にやさしい

可逆性の高さは抜群！

実際にフォークリフトと「ボラード」が、衝突している動画をご覧ください。

構造イメージ

boplan

BOPLAN®は、セフティバリアを専門に製造しているベルギーのメーカーです。ナブコシステム株式会社は、BOPLAN®の輸入元です。

FLEX IMPACT

BO IMPACT
BO SUPER

自動 NABCO 通行者の「安全」「安心」「快適」のために。

ムダ開きを減らし、快適な室内環境をお届けする自動ドア

ドアを通る人、通らない人を自動ドア自身が判断！

NATRUS+e

ナトラス プラスイー ＜JIS安全規格対応※＞

ドアを横切る人には開かない

※起動検出範囲に関して独自の方策を採用することで、JIS A 4722相当の安全性を有することを確認しています。JIS対応自動ドアとしてご使用いただくにあたっては、適切な安全方策の実施が必要となります。

NABCO ナブコシステム株式会社

札幌支店：札幌市西区八軒9条西1-1-20　TEL.011-622-0725

ほっかいどう応援団会議

「ほっかいどう応援団会議」に参加しております

新登場

世界最速※設置の
ディスク取付

※スガツネ調べ 2022年 5月時点

Q-DISC SYSTEM

世界最速設置のQ-railing 自立ガラスフェンスシステム

ガラス工事の悩みはスガツネで解決

なぜ、すぐできる？		なぜ、美しい？	なぜ、安全？
乾かす時間をカット 充填材が不要！	制作金物では無いから 既製品を即納！	支柱いらずで 景観を主役に	既製品だから 耐性基準データあり

BIMデータもご用意しています。

SUGATSUNE スガツネ工業 仙台営業所 〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町 1-11-1 HF 仙台本町ビルディング 8F TEL：022-716-1122(代)

詳しくは
こちら »

北海道アルミ建材工業株式会社

〒053-0055　北海道苫小牧市新明町4丁目21番6号
TEL　0144-55-5161　FAX　0144-55-5284
https://www.alken.co.jp

”マンション大規模修繕承ります”

空気調和・冷暖房・給排水衛生
一般建築・土木・設計施工

建装工業グループ
央幸設備工業株式会社

〒003-0811
札幌市白石区菊水上町1条4丁目1-21
TEL.011-814-9701　FAX.011-814-9707

建築・構造物の見えないところだからこそ
安全面と耐久性を確かな技術で支えます。

最新の技術と熟練した技を駆使し、お客様のニーズの多様化に対応。
工事規模の大小に関わらず、ご注文を承っております。

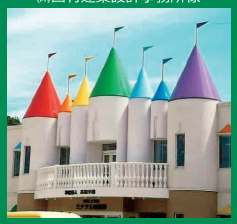
鉄筋工事業
株式会社　翔大鋼業
北海道知事許可（般－1）渡　第04467号

本　社　〒042-0915　函館市西旭岡町２丁目24番地４
事務所　〒041-0834　函館市東山町144番79
TEL　0138-83-2572　　FAX　0138-83-2749

夢のある暮らしと社会をクリエート

株式会社 アルファー造形

㈱西村建築設計事務所様



FRP装飾物　お城風

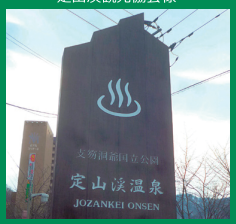
認定こども園ミナクル幼稚園
ピッコリーノ保育園
百合が原幼稚園
バンビーノこども園
手稲おおぞら幼稚園

清水建設㈱様

大通り西４ビル 1F　GRG ドーム

3200mm×3500mm
楕円形ドーム

定山渓観光協会様



定山渓温泉サイン

高さ4500mm×幅2000mm
FRP擬木

㈱竹中工務店様

温泉宿大浴場

白木風　FRP梁
太さ　450mm×300mm

南区石山　佛願寺様

阿弥陀如来立像

高さ7.5m

● 会社情報 ●

〒001-0915　札幌市北区新琴似 1031 番地 131
TEL 011-765-5306　　FAX 011-765-5308
〇メールアドレス　alphazok@alpha.ocn.ne.jp
〇ホームページ　http://www.alphazokei.com

● 製作品目 ●

〇立体像・レリーフ・モニュメント・オブジェ
〇建設物内外の装飾物
〇広告サイン造形物・模型・複製
〇擬岩【山系・水系】
〇擬木【各種樹皮丸太・古材風・白木風】
〇各種水槽

● 製品材質 ●

〇 FRP（ガラス繊維入強化プラスチック）
〇 GRC（ガラス繊維入強化モルタル）
〇 GRG（ガラス繊維入強化石膏）
〇 ブロンズ

くらしの安全を支える基礎に。

ビル、住宅、橋梁など、建築物や道路構造物にしっかりとした基礎工事は非常に重要です。
さらに昨今は、地震などの不慮の災害に強いまちづくりが急務。
弊社は地盤・地質調査から基礎工事部分の杭全般、柱状改良、住宅用の杭基礎まで幅広く対応するスペシャル企業です。
経験豊富な営業マンが自慢のフットワークで北海道全域をカバー致します。

私たちにお任せください！

クローバーシステム株式会社
CLOVER SYSTEM CORP.
地盤・地質調査／基礎工事

札幌事務所　〒065-0022　札幌市東区北22条東2丁目1番20号　ヴィラ・ポレール1Ｆ
TEL：011-741-2687　FAX：011-741-5073
旭川営業所　〒070-0032　旭川市2条通2丁目54-1 中根ビル2F
TEL：0166-23-9680　FAX：0166-23-9681
mail : eigyo@clover-sys.co.jp

2023年度 新規加入受付中
中途加入は、毎月25日までの加入手続きで翌月1日より補償開始

「消費者保護」を形にすれば・・・
建築士事務所のリスクマネジメント

〈建築家賠償責任保険〉
日事連・建築士事務所賠償責任保険

建賠保険は建築士事務所を賠償事故からお守りする保険です。

注目！

Option 1 **損害拡大防止補償**

会員 非会員 共通

建物の「瑕疵」が発覚し、滅失・破損が発生する前に対策を講じた際の修補等の費用を補償します。
※別途保険料が必要

事例 海沿いの店舗の屋根で、塩害対策用の素材を選定しなかったため耐久性に問題があり、将来、腐食するおそれがあるため、修補を行った。

さらに

オプションプランで充実した安心をご提供

会員限定

Option 2 構造設計業務ミスによる「構造基準未達」時の賠償事故を補償
Option 3 建築基準法等における「法令基準未達」時の賠償事故を補償
Option 4 建物調査業務（耐震診断等）中の賠償事故を補償
Option 5 ITユーザー行為*（含テレワーク）に起因して発生した他人の事業の休止・阻害や情報漏えい等のサイバーリスクを補償
＊ソフトウェア開発等のIT業務は対象外となります。

※別途保険料が必要

好評 **弁護士相談無料サービス** 会員限定
施主とのトラブルや従業員とのトラブル・・・
建築士事務所の**お悩み解決**をサポートします！

日事連サービス

日事連・建築士事務所賠償責任保険 取扱指定代理店
有限会社 日事連サービス
TEL.03-3551-6633(建賠保険専用ダイヤル)
〈幹事引受保険会社：東京海上日動火災保険株式会社〉

この広告は「日事連・建築士事務所賠償責任保険（建築家賠償責任保険・請負業者賠償責任保険・サイバーリスク保険）」の概要についてご紹介したものです。保険の内容は日事連・建築士事務所賠償責任保険パンフレットをご覧ください。詳細はパンフレットに記載の保険約款によりますが、ご不明点がありましたら日事連サービスにおたずねください。

22-T03782 2022年12月作成

編　集　後　記

１年を振り返ってみますと、慌しい１年でした。

私は今年から広報委員長となり、早々からほっかいどう住宅フェアの実行委員となり、準備に追われ、フェアが無事終了し一息ついたら 2022 年も終わろうとしています。本当に慌しい１年でした。

また今年も新型コロナウイルス感染症に振り回された１年となりました。いつになったら終息するのでしょうか。皆様もテレワーク、時差出勤、各種会議を WEB 会議とするなど、感染対策を行われたかと思います。

２月にはロシアのウクライナ侵攻、７月には安倍元総理の銃撃事件と旧統一教会問題、９月にはエリザベス女王の死去などがあり暗いことが多かった年でした。

一方で待望の設計会館が完成し、札幌支部、日本建築家協会北海道支部、日本構造技術者協会北海道支部、北海道設備設計事務所協会とともに移転し、各団体とも協力しあえる新たな環境の場となっています。11 月には協会の 70 周年記念式典及び祝賀会も行われました。

また、冬季オリンピック・パラリンピックでの日本人の活躍、MLB での大谷選手の活躍、村上選手の三冠王獲得など明るい話題もありました。

建築を取り巻く環境は物価高騰の影響で、工事関係資材の値上がりや納期の遅れなど多くの影響を受けました。

今年も多くの出来事・話題が有りましたが来年は良い年になることを願っています。

最後に、【hiroba】をより良い広報誌となるよう努力していきますので皆様のご協力をお願いするとともに、寄稿・投稿していただいた皆様に厚く御礼申し上げます。

（広報委員会委員長　山田　修）

一般社団法人　北海道建築士事務所協会　ひろば No.95 ／ ARC 2022 No.54 建築作品集

発　行　令和４年 12 月
発行人　専務理事・事務局長　中川　國義
編集人　広報委員会
担当副会長　三浦　　啓
委　員　長　山田　　修
副 委 員 長　畤田　淳一　　宮房　晋矢
委　　員　西島　弘志　　小林　皆礎
山田　利彦　　佐藤　徳文
髙橋　成造
事　務　局　佐藤ひとみ

発行所　一般社団法人北海道建築士事務所協会
会長　庄司　雅美
〒060-0806
札幌市北区北６条西６丁目２番地
設計会館９Ｆ
ＴＥＬ：011-788-7650
ＦＡＸ：011-788-7280
Ｈ　Ｐ　http://www.do-kjk.or.jp
E-mail　hokkaido@do-kjk.or.jp
データ製作　株式会社アイワード

mother's+

人間中心の世界観から、環境の中における持続可能な人間社会を目指すSDG'sに基づき、「産業6次化」「グリーンツーリズム」の思想にのっとった養鶏業のパイロットファームです。グリーンツーリズムは農村での自然体験や食文化を楽しむあたらしい余暇の過ごし方で、まちの産業活性化につながります。この思想を取り入れた「ヨコストランチ」では、鶏を平飼い又は屋外で放牧しています。「マザーズプラス」はここの中核施設で、採卵した卵の選別と店舗での加工販売を行っています。これにより1次産業から3次産業までを統合し経営の多角化ひいては農村の活性化を目指す産業6次化をかたちにしました。また主な構造を地元産業である木造で構成し、ここにガラススクリーンの工房棟を挿入することで、自然素材と工業製品の協奏する、それぞれの美しさの引き立つ印象的なインテリアデザインとしました。

一般社団法人 北海道建築士事務所協会

〒060-0806 札幌市北区北6条西6丁目2番地 設計会館9階　TEL 011-788-7650　　FAX 011-788-7280

http://www.do-kjk.or.jp　E-mail:hokkaido@do-kjk.or.jp